

第4期鎌倉市環境基本計画の策定に関する
市民等意識調査
～結果報告～

目 次

アンケート調査の概要	1
①市民アンケート調査結果	2
問1 性別を教えてください。(単数回答)	2
問3 お住まいのある場所を教えてください。(単数回答)	2
問4 ご世帯の人数(あなたを含めた世帯全員の人数)を教えてください。(単数回答)	2
問5 どのような家にお住まいですか。(単数回答)	3
問6 本市での居住年数を教えてください。(単数回答)	3
問7 鎌倉市の良いところはどこだと思いますか。(複数回答、最大3つまで)	3
問8 あなたは環境問題に関心がありますか。(単数回答)	4
問9 環境問題に関する情報はどこから得ることが多いですか。(複数回答)	4
問10 近年実感する、または問題だと思う気候変動の影響について教えてください。(自由回答)	5
①食への影響	5
②身体・健康への悪影響	6
③台風、洪水、土砂災害	7
④仕事や活動への影響	8
問11 あなたは下記の取組を実施していますか。(複数回答)	9
問12 環境に関する取組を行うことは難しいと思いますか。(単数回答)	9
問12-a 環境に関する取組を行うことが難しいと思う理由を教えてください。(複数回答)	9
問13 環境に関して、本市で重点的に取り組むべきだと思うことは次のうちどれですか。(複数回答、最大3つまで)	10
問14 鎌倉市は、市民や事業者のみなさまのご協力によって、リサイクル率が全国トップです。このことをご存じでしたか。(単数回答)	10
問15 鎌倉市では環境の改善に向けて以下の取組を行ってきました。知っている取組を教えてください。(複数回答)	11
問16 以下の脱炭素化に関わる設備についてご家庭で利用していますか、または利用していない場合は、今後の使用についてどう思いますか。(単数回答)	11
問17 どのような条件が整えば、脱炭素化に関わる設備の利用をより前向きに考えられますか。(複数回答)	12
問18 本市の脱炭素化やエネルギー問題とそれらの取り組みについて、関心がありますか。(単数回答)	12
問18-a 本市の脱炭素化やエネルギー問題に関心がある方にお聞きます。その理由を教えてください。(複数回答)	13
問18-b 本市の脱炭素化やエネルギー問題に関心がない方にお聞きます。その理由を教えてください。(複数回答)	13
問19 環境分野で、市が今後どのようなまちになるとよいと思いますか(自由回答)	14
問20 市の環境について日頃感じていることなど、自由にご記入ください(自由回答)	17
問21 「Liqlid」に参加して一緒に環境の未来を考えてみたいと思いますか。(単数回答)	20
②事業者アンケート	21
問1 貴事業所の業種を教えてください(単数回答)	21
問2 貴事業所の従業員数を教えてください(単数回答)	21
問3 貴事業所の建物の形態を教えてください(単数回答)	21
問4 貴事業所は環境問題に関心がありますか(単数回答)	22

問5	本市の環境保全の施策のうち、重要だと思うものを教えてください（複数回答）	22
問5	本市の環境保全の施策のうち、最も重要だと思うものを教えてください（単数回答）	23
問6	貴事業所では環境保全の取組をどのように考えていますか（複数回答）	23
問7	貴事業所で実施している環境関連の取組はどれですか（複数回答）	24
問8	環境マネジメントシステムを構築していますか（複数回答）	24
問9	本市は人口10万人以上50万人未満の自治体の中で、リサイクル率が全国トップです。このことをご存じでしたか（単数回答）	25
問10	環境保全に関する従業員教育について、貴事業所の取組状況や考え方に当てはまるものはどれですか。（単数回答）	25
問11	環境保全の取組によってどのような効果が得られましたか（複数回答）	25
問12	環境保全の取組を実施する上で課題と感じていることはありますか（複数回答）	26
問12-a	問12で「一緒に取り組める企業、機関が見あたらない」に○を付けた方にお聞きます。他企業や団体との連携に向けてどのような、行政の支援があるとよいと思いますか？（複数回答）	26
問12-b	問12で「一緒に取り組める企業、機関が見あたらない」に○を付けた方にお聞きます。どのような業種の企業や団体と一緒に取り組みたいですか？（複数回答）	27
問13	本市では、事業所向けに環境の取組を支援する制度を設けています。以下の取組についてご存じでしたか（単数回答）	27
問14	電気・ガス・水道の省資源・省エネルギーについて具体的にどのような取組をしていますか（複数回答）	28
問15	鎌倉市では、今年度から中小企業向けに太陽光発電設備(1kWあたり5万円)と蓄電池導入(太陽光発電設備と同時に蓄電池を設置する場合、蓄電池の価格の1/3)に関する重点対策事業費補助金を創設していることを知っていましたか（単数回答）	28
問16	事業所の省資源や省エネルギーを進めるためのサポートとして、専門家による省エネルギー診断制度がありますが受けてみたいと思いますか（単数回答）	29
問17	導入している再生可能エネルギー等設備・機器や省エネルギー機器等がありますか（単数回答）	29
問17-a	導入していると回答した事業者の方へ、どのような設備・機器を導入していますか（複数回答）	29
問18	貴事業所では、再エネ由来の電力プランの契約をしていますか（単数回答）	30
問19	本市では、多くの公共施設で使用する電気を再生可能エネルギー100%の電気に切替えました。このことをご存じでしたか（単数回答）	30
問20	今後導入したい再生可能エネルギー等設備・機器や省エネルギー機器等がありますか（単数回答）	30
問20-a	導入したいと回答した事業者の方へ、どのような設備・機器を導入したいですか（複数回答）	31
問20-b	予定はない・わからないと回答した事業者の方へ、導入予定のない理由を教えてください（複数回答）	31
問20-c	予定はない・わからないと回答した事業者の方へ、どのようなことがあると導入できると思いますか（複数回答）	31
問22	「Liqlid」に参加して「鎌倉市環境基本計画」の策定に関わってみたいと思いますか（単数回答）	32
問23	市の環境について日頃感じていることなど、自由にご記入ください。（自由回答）	32

③滞在者アンケート 35

問1	ご年齢を教えてください（単数回答）	35
問2	性別を教えてください（単数回答）	35
問3	あなたのお住まいの地域を教えてください（単数回答）	35
問4	最近3年間で鎌倉に来訪した回数は何回ですか（単数回答）	36
問5	鎌倉を訪れた主な目的は何ですか（複数回答）	36
問6	鎌倉市内での観光で利用している交通手段を教えてください。（複数回答）	36

問7 鎌倉の観光情報はどこで入手していますか（複数回答）	37
問8 鎌倉市の観光で困ったことで、あてはまるものはどれですか（複数回答）	37
問9 鎌倉市では、市外在住の人でも参加可能な海の清掃・美化活動を行っています。参加したいとおもいますか。 （単数回答）	37
問10 鎌倉市では、鎌倉スクールコラボファンド活用基金を設置し、鎌倉市内外の方々からの寄附金やふるさと納税を活用して、多様な企業・団体等とのコラボレーションによる学校教育活動を行っています。ご存じでしたか。（単数回答）	38
問11 鎌倉市に来訪した際に行っていることはありますか（複数回答）	38
問12 鎌倉市の観光で利用したサービスはありますか	39
鎌倉フリー環境手形の利用実績（単数回答）と利用しなかった理由（複数回答）	39
マイボトル専用の給水スポットの利用実績（単数回答）と利用しなかった理由（複数回答）	39
まちのコイン「クルッポ」の利用実績（単数回答）と利用しなかった理由（複数回答）	39
パーク＆ライドの利用実績（単数回答）と利用しなかった理由（複数回答）	40
レンタサイクル・シェアサイクルの利用実績（単数回答）と利用しなかった理由（複数回答）	40
鎌倉観光混雑マップの利用実績（単数回答）と利用しなかった理由（複数回答）	40
問13 どんなことがあると観光地で環境に良いことができると思いますか（複数回答）	41
問14 あなたは、エコツーリズムという言葉を知っていますか（単数回答）	41
問15 鎌倉市でのエコツーリズムに関心がありますか（単数回答）	41
問16 問15で鎌倉市でのエコツーリズムに関心があると回答した方にお聞きします 鎌倉市のエコツーリズムで、できるとよいと思うことは何ですか（複数回答）	42
問17 「Liqlid」に参加して新たな「鎌倉市環境基本計画」の策定に関わってみたいと思いますか（単数回答）	42
④環境団体等アンケート	43
問1 貴団体の法人格を教えてください（単数回答）	43
問2 団体の設立年を教えてください（自由回答）	43
問3 団体の会員等の人数と平均年齢を教えてください（自由回答）	43
問4 鎌倉市での主な活動場所を教えてください（自由回答）	44
問5 環境に関する活動の参加者はどのような人を対象にしていますか（単数回答）	44
問6 実施している活動の内容を教えてください（複数回答）	45
問7 最近3年間で、下記の団体等と協働・連携して活動を行ったことがありますか（複数回答）	45
問8 今後、下記の団体等と協働・連携して活動を行いたいと思いますか（複数回答）	46
問9 活動を実施する上での課題は何ですか（複数回答）	46
問10 環境分野で、市が今後どのようなまちになるとよいと思いますか（自由回答）	47
問11 貴団体として、鎌倉市の環境をより良いものにするために、今後実施したい活動はありますか。（単数回答）	48
問11-a 実施したい活動の具体的な内容を教えてください（自由回答）	48
問11-b その活動を実施する上で、期待することを教えてください（複数回答）	49
問11-c その活動において連携したい相手はいますか（複数回答）	49
問12 「Liqlid」に参加して「鎌倉市環境基本計画」の策定に関わってみたいと思いますか（単数回答）	49
参考：市民アンケートのクロス集計	50
問7 鎌倉市の良いところはどこだと思いますか。（複数回答、最大3つまで）	50
問8 あなたは環境問題に関心がありますか。（単数回答）	52
問9 環境問題に関する情報はどこから得ることが多いですか。（複数回答）	53

問 11	あなたは下記の取組を実施していますか。(複数回答)	54
問 12	環境に関する取組を行うことは難しいと思いますか。(単数回答)	56
問 12-a	環境に関する取組を行うことが難しいと思う理由を教えてください。(複数回答)	57
問 13	環境に関して、本市で重点的に取り組むべきだと思うことは次のうちどれですか。(複数回答、最大3つまで)	58
問 14	鎌倉市は、市民や事業者のみなさまのご協力によって、リサイクル率が全国トップです。このことをご存じでしたか。(単数回答)	60
問 15	鎌倉市では環境の改善に向けて以下の取組を行ってきました。知っている取組を教えてください。(複数回答)	61
問 16	以下の脱炭素化に関わる設備についてご家庭で利用していますか、または利用していない場合は、今後の使用についてどう思いますか。(単数回答)	63
問 17	どのような条件が整えば、脱炭素化に関わる設備の利用をより前向きに考えられますか。(複数回答)	69
問 18	本市の脱炭素化やエネルギー問題とそれらの取り組みについて、関心がありますか。(単数回答)	71
問 18-a	本市の脱炭素化やエネルギー問題に関心がある方にお聞きます。その理由を教えてください。(複数回答)	72
問 18-b	本市の脱炭素化やエネルギー問題に関心がない方にお聞きます。その理由を教えてください。(複数回答)	74
問 21	「Liqlid」に参加して一緒に環境の未来を考えてみたいと思いますか。(単数回答)	76
参考：事業者アンケートのクロス集計		77
問 4	貴事業所は環境問題に関心がありますか(単数回答)	77
問 5	本市の環境保全の施策のうち、重要だと思うものを教えてください(複数回答)	78
問 5	本市の環境保全の施策のうち、最も重要だと思うものを教えてください(単数回答)	80
問 6	貴事業所では環境保全の取組をどのように考えていますか(複数回答)	82
問 7	貴事業所で実施している環境関連の取組はどれですか(複数回答)	84
問 8	環境マネジメントシステムを構築していますか(複数回答)	86
問 9	本市は人口 10 万人以上 50 万人未満の自治体の中で、リサイクル率が全国トップです。このことをご存じでしたか(単数回答)	88
問 10	環境保全に関する従業員教育について、貴事業所の取組状況や考え方に当てはまるものはどれですか。(単数回答)	89
問 11	環境保全の取組によってどのような効果が得られましたか(複数回答)	91
問 12	環境保全の取組を実施する上で課題と感じていることはありますか(複数回答)	93
問 12-a	問 12 で「一緒に取り組める企業、機関が見あたらない」に○を付けた方にお聞きます。他企業や団体との連携に向けてどのような、行政の支援があるとよいと思いますか？(複数回答)	95
問 12-b	問 12 で「一緒に取り組める企業、機関が見あたらない」に○を付けた方にお聞きます。どのような業種の企業や団体と一緒に取り組みたいですか？(複数回答)	96
問 13	本市では、事業所向けに環境の取組を支援する制度を設けています。以下の取組についてご存じでしたか(単数回答)	97
問 14	電気・ガス・水道の省資源・省エネルギーについて具体的にどのような取組をしていますか(複数回答)	100
問 15	鎌倉市では、今年度から中小企業向けに太陽光発電設備(1kW あたり 5 万円)と蓄電池導入(太陽光発電設備と同時に蓄電池を設置する場合、蓄電池の価格の 1/3)に関する重点対策事業費補助金を創設していることを知っていましたか(単数回答)	101
問 16	事業所の省資源や省エネルギーを進めるためのサポートとして、専門家による省エネルギー診断制度がありますが受けてみたいと思いますか(単数回答)	102

問 17	導入している再生可能エネルギー等設備・機器や省エネルギー機器等がありますか（単数回答）	103
問 17-a	導入していると回答した事業者の方へ、どのような設備・機器を導入していますか（複数回答）	104
問 18	貴事業所では、再エネ由来の電力プランの契約をしていますか（単数回答）	105
問 19	本市では、多くの公共施設で使用する電気を再生可能エネルギー100%の電気に切替えました。このことをご存じでしたか（単数回答）	106
問 20	今後導入したい再生可能エネルギー等設備・機器や省エネルギー機器等がありますか（単数回答）	107
問 20-a	導入したいと回答した事業者の方へ、どのような設備・機器を導入したいですか（複数回答）	108
問 20-b	予定はない・わからないと回答した事業者の方へ、導入予定のない理由を教えてください（複数回答）	109
問 20-c	予定はない・わからないと回答した事業者の方へ、どのようなことがあると導入できると思いますか（複数回答）	110
問 22	「Liqlid」に参加して「鎌倉市環境基本計画」の策定に関わってみたいと思いますか（単数回答）	112

アンケート調査の概要

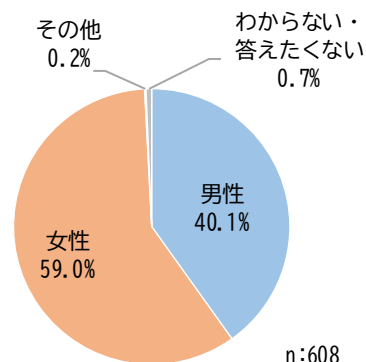
鎌倉市の環境に関わる市民・事業者・滞在者・環境団体等のそれぞれの鎌倉市の環境に関する考えや環境に関する活動への意向を把握するためにアンケート調査を実施しました。

①市民アンケート	調査対象：	市内在住、18 歳以上の市民 2,000 人を無作為抽出
	調査期間：	令和 7 年（2025 年）7 月 25 日～8 月 10 日
	調査方法：	・ 郵送によるアンケート調査票の配布 ・ 紙面での回答と郵送返信 または WEB アンケートフォームでの回答
	回収数：	610 件
	回収率：	30.5%
②事業者アンケート	調査対象：	市内の事業所から 1,000 事業所を無作為抽出
	調査期間：	令和 7 年（2025 年）7 月 25 日～8 月 10 日
	調査方法：	・ 郵送によるアンケート調査票の配布 ・ 紙面での回答と郵送返信 または WEB アンケートフォームでの回答
	回収数：	254 件
	回収率：	25.4%
③滞在者アンケート	調査対象：	最近 3 年間で鎌倉市を観光目的で訪れたことのある人
	調査期間：	令和 7 年（2025 年）7 月 25 日～8 月 10 日
	調査方法：	・ WEB モニターへのアンケート依頼文の送付 ・ WEB アンケートフォームでの回答
	回収数：	535 件
④環境団体等 アンケート	調査対象：	鎌倉市環境白書に掲載又は鎌倉市市民活動センターに登録されている環境 関連の活動を行う市民団体 90 団体
	調査期間：	令和 7 年（2025 年）7 月 25 日～8 月 10 日
	調査方法：	・ 電子メール、郵送、FAX によるアンケート調査協力依頼文の送付 ・ WEB アンケートフォームでの回答
	回収数：	16 件
	回収率：	17.8%

①市民アンケート調査結果

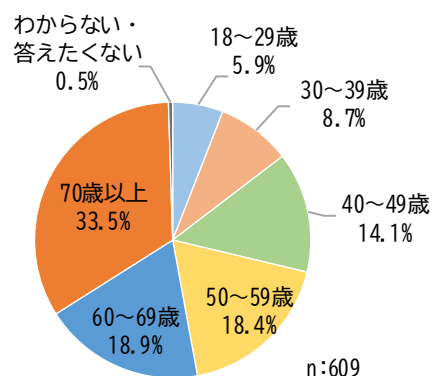
問1 性別を教えてください。(単数回答)

「男性」が40.1%、「女性」が59.0%を占めています。



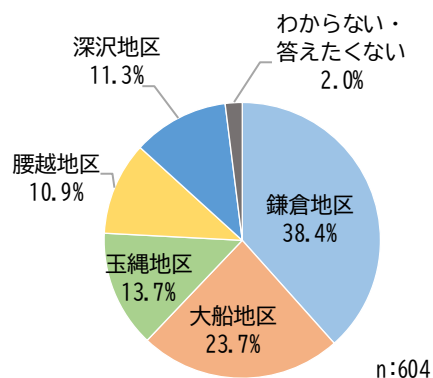
問2 年齢を教えてください。(単数回答)

年齢は「70歳以上」が33.5%と最も多く、次いで、「60～69歳」が18.9%、「50～59歳」が18.4%となっています。



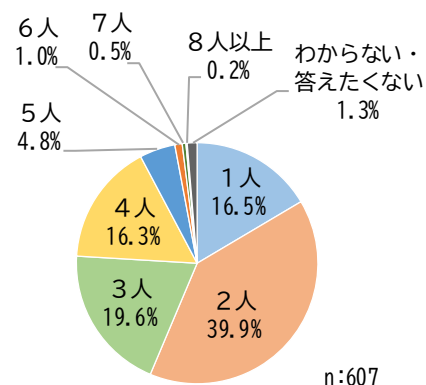
問3 お住まいのある場所を教えてください。(単数回答)

住所は「鎌倉地区」が38.4%と最も多く、次いで、「大船地区」が23.7%、「玉縄地区」が13.7%となっています。



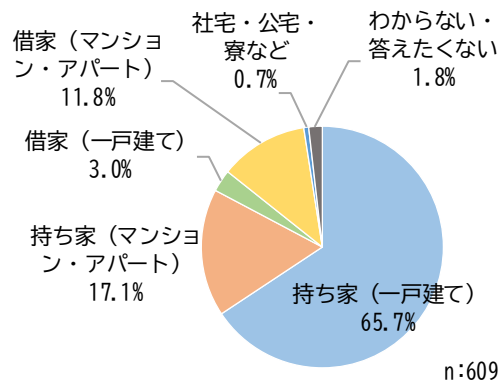
問4 ご世帯の人数（あなたを含めた世帯全員の人数）を教えてください。(単数回答)

世帯人員が「2人」の世帯が39.9%と最も多く、次いで、「3人」が19.6%、「4人」が16.3%となっています。



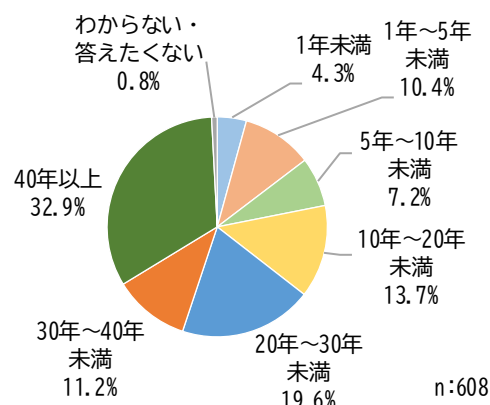
問5 どのような家にお住まいですか。(単数回答)

「持ち家（一戸建て）」にお住まいの人が 65.7%と最も大きな割合を占めています。



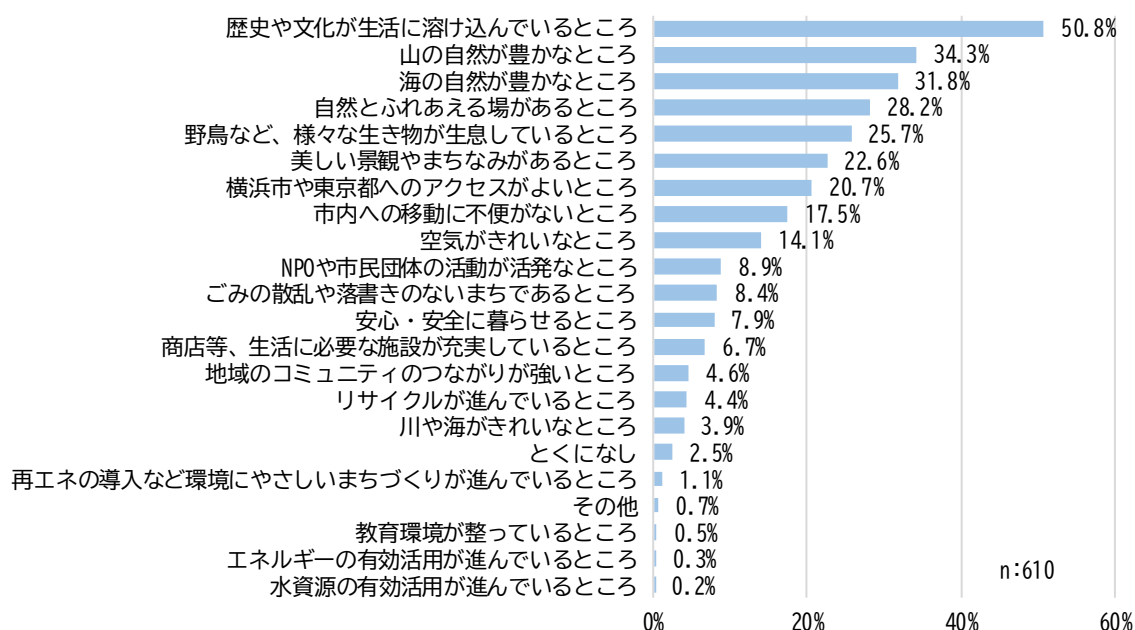
問6 本市での居住年数を教えてください。(単数回答)

居住年数は「40 年以上」が 32.9%と最も多く、次いで「20 年～30 年未満」が 19.6%となっています。



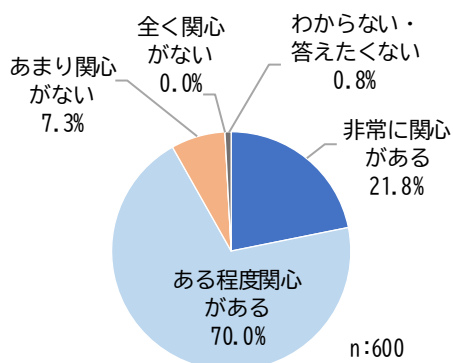
問7 鎌倉市の良いところはどこだと思いますか。(複数回答、最大3つまで)

鎌倉市の良いところとして、「歴史や文化が生活に溶け込んでいるところ」が 50.8%と最も多く、次いで、「山の自然が豊かなところ」が 34.3%、「海の自然が豊かなところ」が 31.8%となっています。



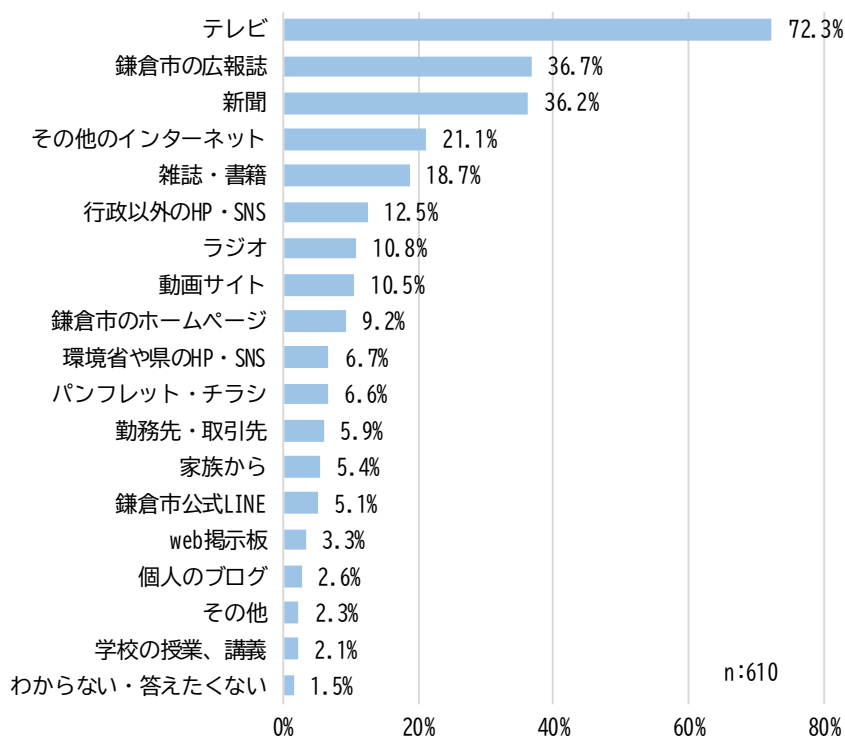
問8 あなたは環境問題に関心がありますか。(単数回答)

「非常に関心がある」が21.8%、「ある程度関心がある」が70.0%と、合わせて91.8%が関心を持っています。



問9 環境問題に関する情報はどこから得ることが多いですか。(複数回答)

環境問題に関する情報の入手先では「テレビ」が72.3%と他のメディアに比べて、突出して多く回答されています。「鎌倉市の広報誌」は36.7%、「新聞」は36.2%から回答されています。



問 10 近年実感する、または問題だと思う気候変動の影響について教えてください。
(自由回答)

自由回答の意見の中から、回答の多かった意見種別を抽出し、主な意見の概要として示します。

①食への影響

【食品価格の上昇に関する意見の抜粋】

- 天候不順で食物の値段が毎年高かったり安かったりする。変化が激しい。
- 近年の異常気象により、野菜や魚介類など食品の価格が高騰し、品質のばらつきも増えたと感じます。
- 自然に左右される野菜や米の価格上昇が生活を脅かす。
- 猛暑にくわえ、降水量も安定しないことから、米や野菜の価格が不安。
- 野菜や米など天候によって品質や価格に大きく影響されていることに不安がある。

【農作物の不作に関する意見の抜粋】

- 家庭菜園で作物を育てているが、トマトやゴーヤが暑さ負けと思われる現象で、実のなり方が少なかったり、病気も多い。
- 気温上昇による不作。
- 豪雨だったり少雨だったりする。振れ幅の大きな気候のため作物が安定して育たない。
- 旬の果物、野菜も暑さや雨不足などにより生育不順になっている。
- 温暖化による作物の不作、また環境の変化により作る作物の種類を変えなくてはならなくなる。

【水産業への影響に関する意見の抜粋】

- 魚の漁獲量減少や魚種の変化。
- 旬の時期のずれ。魚などの生息地域の変化。
- 海水温の変化で魚の種類、捕れる量の変化。
- 海水温の上昇によりとれる魚の種類に変化が見られる。
- サンマの不漁に代表される収穫減少や、収穫場所の変化。

【気候変動による食への影響についての意見の概要】

農業では、気候変動による作物の不作の実感や懸念を訴える回答が多くみられました。

水産業では、とれる魚の種類や時期、漁獲量の変化についての実感や懸念を訴える意見が多くみられました。

こうした農林水産業への影響による、食品価格の上昇を問題視し、不安に思う意見が、特に多くみられました

②身体・健康への悪影響

【熱中症に関する意見の抜粋】

- ・ 気温上昇に伴う熱中症リスクの増加。
- ・ 熱中症が日常のこととなる事態だが、通勤必須など追いついていない。
- ・ 四季が無くなり夏と冬が長い1年のサイクルとなってきた。家の中でも熱中症と診断される人が多くなり、健康への不安が増してきている。
- ・ 気候温暖化で夏の気温が高くなり（6月から）熱中症の人が増えている。
- ・ 熱中症による救急搬送が増加している。

【感染症に関する意見の抜粋】

- ・ 温帯から亜熱帯になると思う。デング熱、マラリアなど罹るのではないか。
- ・ デング熱など熱帯地域の病気や感染症の流行が心配。
- ・ 気温上昇が激しく、季節が感じられず、固有種も減り、外来種や熱帯のように蚊による感染症が心配です。
- ・ 公衆衛生の観点で、気温が上がると蚊などが増殖するため、虫による感染症リスクが高まる。
- ・ 気候変動による今までなかったマラリアの様な病気への感染。

【暑熱による健康への影響に関する意見の抜粋】

- ・ 寒暖の差が大きく、体に負担になっている。
- ・ 熱中症や未知の感染症も心配ですが、現在既に、実際の気温と建物内の気温差に、身体がついていけ不調を感じるので、今後が気がかりです。
- ・ 体力をかなり消耗すると免疫力が低下するので普段は掛からない病気などにもなってしまう。
- ・ 異常な高温に身体がついていけない。熱中症にかかったり、あらゆる病気への抵抗力が下がっているようだ。
- ・ 今まで経験したことのない暑さのため、身体にいろいろ影響があります。

【外出機会等の減少による健康への影響に関する意見の抜粋】

- ・ 熱中症警戒アラートは良いと思いますが、高齢者が外出を控え、体力が落ち、要介護が増えることになるのでは？
- ・ 体を動かすことは大切だが、気温上昇のため難しく、健康維持が大変である。
- ・ 熱中症が不安で外出が減り、体力が落ちる悪循環。

【気候変動による身体・健康への悪影響についての意見の概要】

熱中症や暑熱による体調不良等、気温上昇による健康への悪影響の実感を訴える意見が多くみられました。

デング熱、マラリアなどの感染症への不安も回答されています。

暑さで外出や運動の機会が減少することによる体力低下を心配する意見もみられました。

③台風、洪水、土砂災害

【大雨や集中豪雨等に関する意見の抜粋】

- ・ 台風の大型化、線状降水帯など、今までと変わってきている。
- ・ ゲリラ豪雨の頻度が上昇。
- ・ ゲリラ豪雨が多く予測不能で困る。
- ・ 線状降水帯の発生頻度の増加。日本で竜巻が観測されるようになったこと。
- ・ 極端な雨の降り方、線状降水帯などが増加している。

【災害リスクの上昇に関する意見の抜粋】

- ・ 台風、洪水、河川の氾濫、土砂災害頻度の上昇等、山火事の多発
- ・ 台風、洪水、土砂災害、ゲリラ豪雨の増加。
- ・ 近年大雨で土砂災害、洪水が怖い。急な増水で浸水しそう。電車やバスの遅延も珍しくない。帰宅困難が不安だ。
- ・ 気温が高くなり、台風も大きくなり洪水、災害が増えている。
- ・ 洪水が心配。内水が心配。

【防災対策に関する意見の抜粋】

- ・ 災害発生時の避難場所の環境。
- ・ 海に近い鎌倉避難場所、避難訓練、もっと日常的にあってほしいです。
- ・ 今までの常識とは異なる災害も多く、それらから身を守る方法の関心が大事。
- ・ 自然にはさからえないので、自身の備えを十分にできるよう市でも取り組んで欲しい。
- ・ 防災無線が聞こえない。避難場所が海に近づく方にあるため、避難を躊躇してしまう。

【気候変動による台風、洪水、土砂災害についての意見の概要】

台風の大型化やゲリラ豪雨、線状降水帯など気象の変化を実感として訴える回答が多くみられました。

気象の変化による台風や洪水などの風水害、及び土砂災害についての不安や懸念を訴える回答も多くみられました。

こうした災害リスクの上昇に対する、防災対策の重要性や要望についての回答もありました。

④仕事や活動への影響

【仕事への影響に関する意見の抜粋】

- 夏の高気温により屋外業務に支障がある。
- いわゆるブルーカラーの方々に対する負担が大きい。ただでさえ労働者が減っている中、口の支える人たちが減るのは非常に危機的と思う。
- 外での活動や通勤も危険なレベルになっている。社会全体が大きく意識を変える事を求められる。
- 屋外作業が夏は危険すぎる。
- あまりの暑さに仕事に影響あり。

【スポーツやイベントへの影響に関する意見の抜粋】

- 子どもが野球チームに所属していますが、熱中症にならないか体調不良にならないか？常に気になる。
- 予測出来ぬ気候による屋外スポーツの危機。
- 花火などのイベント中止、屋外スポーツ、屋台などが困難。
- 夏のイベントが屋外で開催しにくくなってきている。
- 異常な猛暑で従来のようなスポーツ大会が開けない。

【子どもの活動への影響に関する意見の抜粋】

- 自分が子供の頃と比べ外で遊ぶ子供をあまり見かけない。
- 教員として働いているが、外で体育が難しいことが増えた。
- 学校で屋外活動に制限があること。
- 昼間子供が屋外で遊ぶ機会が減っている。
- 子供と外で遊べない程の暑さ。

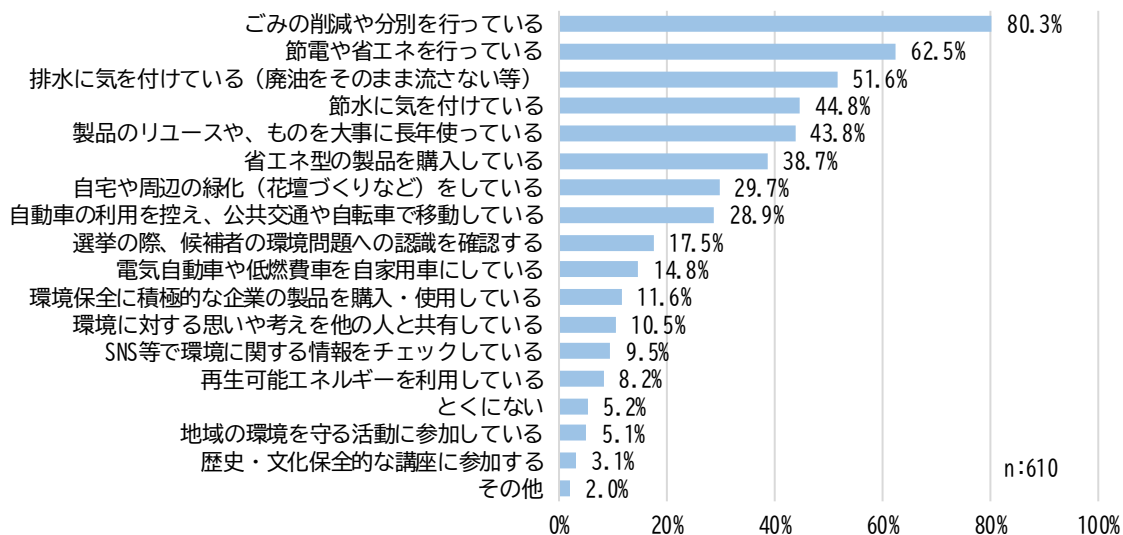
【気候変動による台風、洪水、土砂災害についての意見の概要】

暑熱による仕事、特に屋外作業が困難になっていることを訴える回答が多くみられました。
夏季のスポーツやイベントの実施も難しくなっているという回答も多くみられました。
子どもの屋外活動や体育がしにくくなっているという意見もみられました。

問 11 あなたは下記の取組を実施していますか。(複数回答)

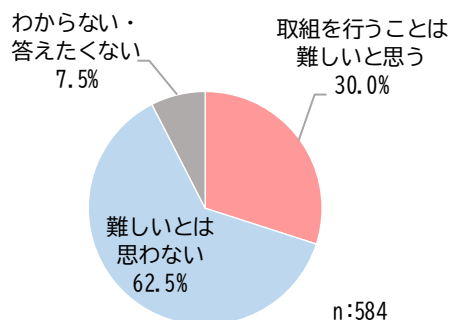
「ごみの削減や分別を行っている」が 80.3%と最も多く、次いで「節電や省エネを行っている」が 62.5%となっています。

「地域の環境を守る活動に参加している」や「歴史・文化保全的な講座に参加する」といった取組は 10%未満となっています。



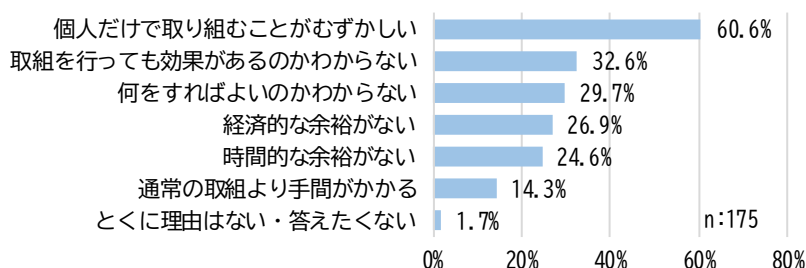
問 12 環境に関する取組を行うことは難しいと思いますか。(単数回答)

「取組を行うことは難しいと思う」が 30.0%を占めています。



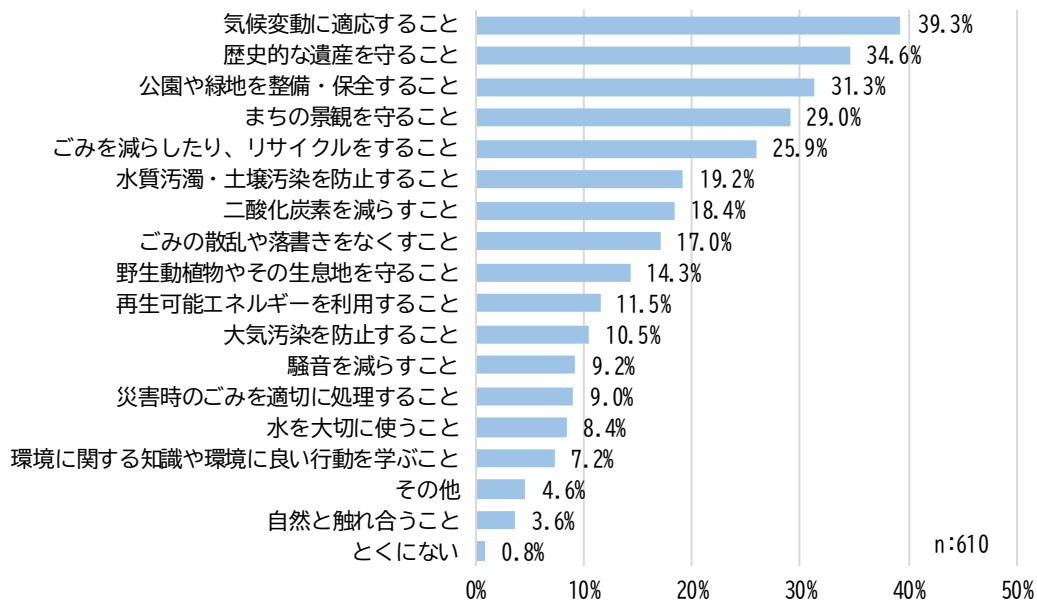
問 12-a 環境に関する取組を行うことが難しいと思う理由を教えてください。(複数回答)

取組を行うことは難しいと思う利用では、「個人だけで取り組むことがむずかしい」が 60.6%と最も多く回答されています。



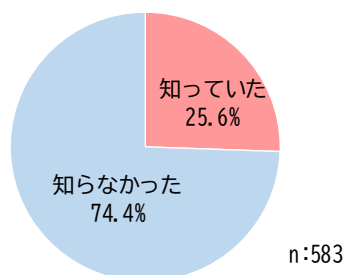
問 13 環境に関して、本市で重点的に取り組むべきだと思うことは次のうちどれですか。
(複数回答、最大3つまで)

「気候変動に適応すること」が39.3%と最も多く、次いで「歴史的な遺産を守ること」が34.6%、「公園や緑地を整備保全すること」が31.3%から回答されています。



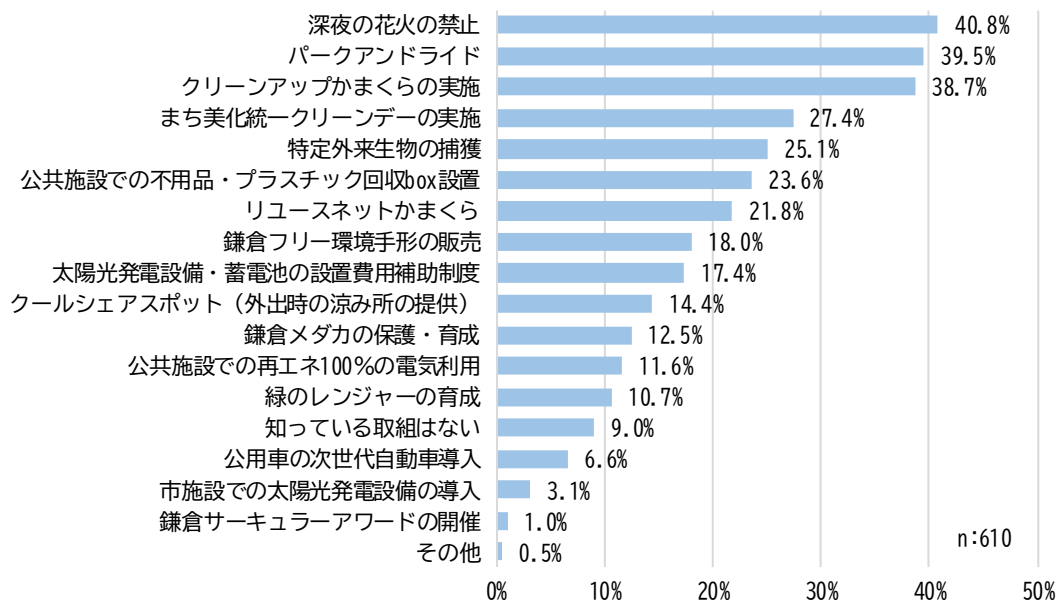
問 14 鎌倉市は、市民や事業者のみなさまのご協力によって、リサイクル率が全国トップです。このことをご存じでしたか。(単数回答)

鎌倉市が人口10万人以上50万人未満の自治体でリサイクル率がトップであることを「知っていた」人は25.6%でした。



問 15 鎌倉市では環境の改善に向けて以下の取組を行ってきました。知っている取組を教えてください。(複数回答)

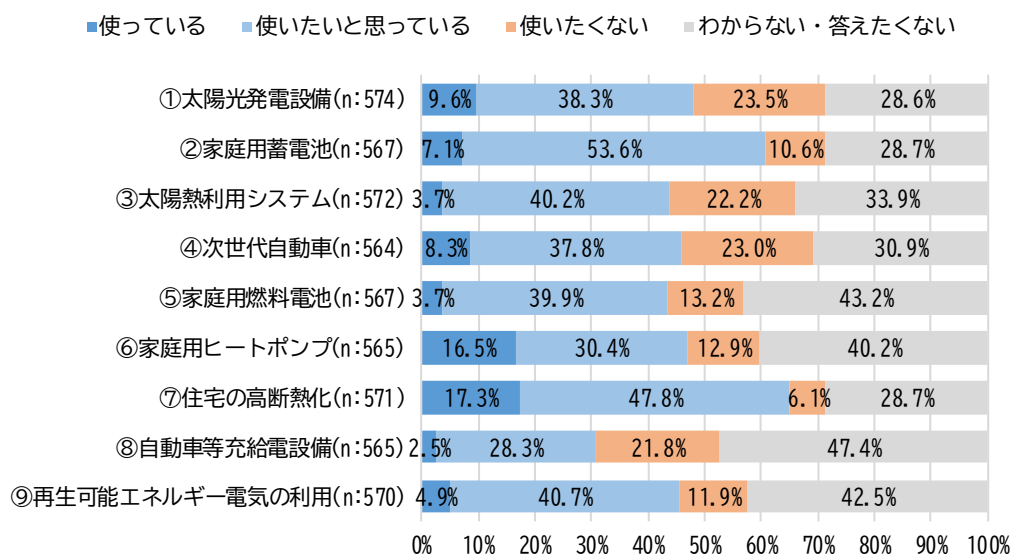
鎌倉市の環境の改善に向けた取組では「深夜の花火の禁止」や「パークアンドライド」、「クリーンアップかまぐらの実施」の認知度が高いものの、約 40%の認知率にとどまっています。



問 16 以下の脱炭素化に関わる設備についてご家庭で利用していますか、または利用していない場合は、今後の使用についてどう思いますか。(単数回答)

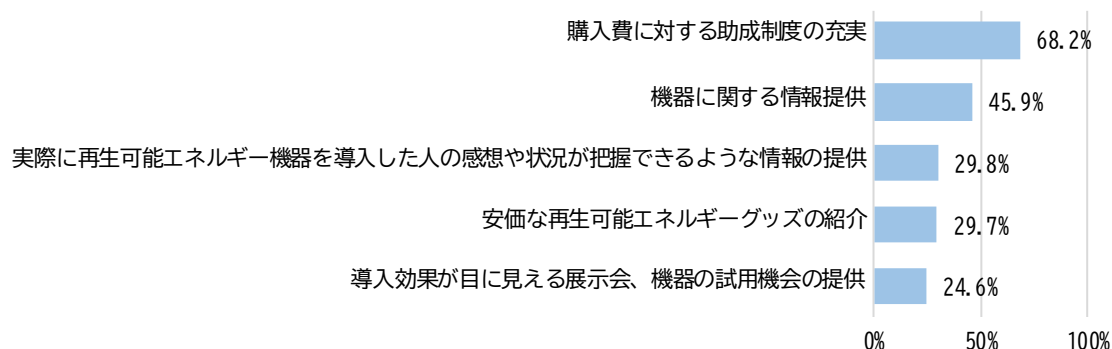
「⑥家庭用ヒートポンプ（エコキュートなど）」や「⑦住宅の高断熱化」は 2 割程度で導入・利用されています。

「①太陽光発電設備」や「④次世代自動車（プラグインハイブリッド車、電気自動車、燃料電池車）」は 10%未満の導入・利用率にとどまっていますが、約 4 割が「使いたいと思っている」と回答しています。



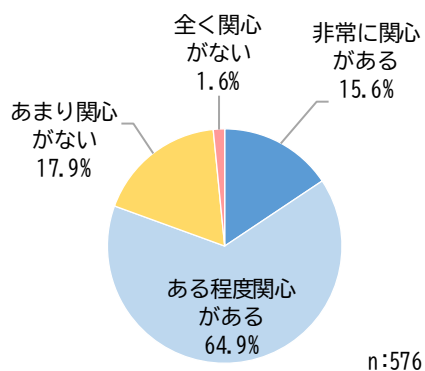
問 17 どのような条件が整えば、脱炭素化に関わる設備の利用をより前向きに考えられますか。（複数回答）

「購入費に対する助成制度の充実」が 68.2%と最も多く、次いで「機器に関する情報提供」が 45.9%となっています。



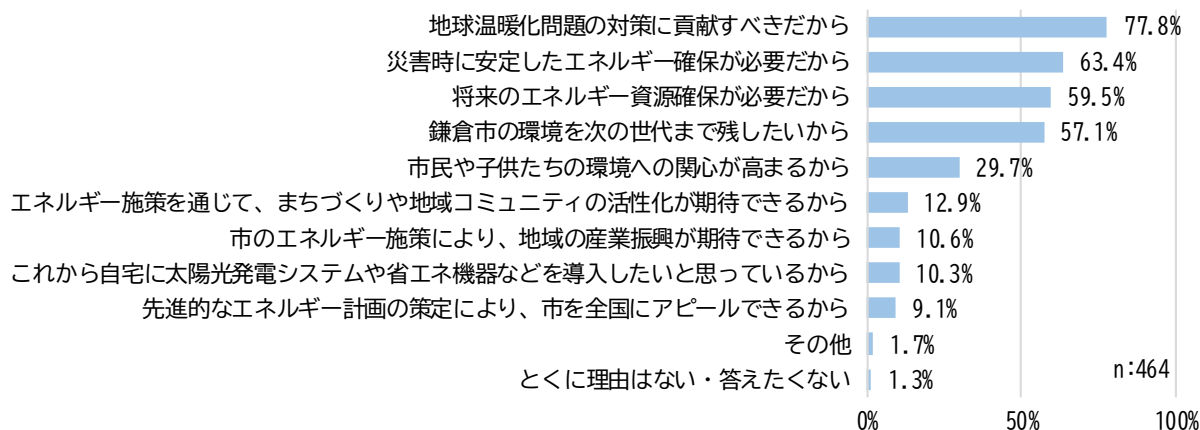
問 18 本市の脱炭素化やエネルギー問題とそれらの取り組みについて、関心がありますか。（単数回答）

脱炭素化やエネルギー問題とそれらの取り組みに「非常に関心がある」が 15.6%、「ある程度関心がある」が 64.9%と、合わせて 80.5%が関心を持っています。



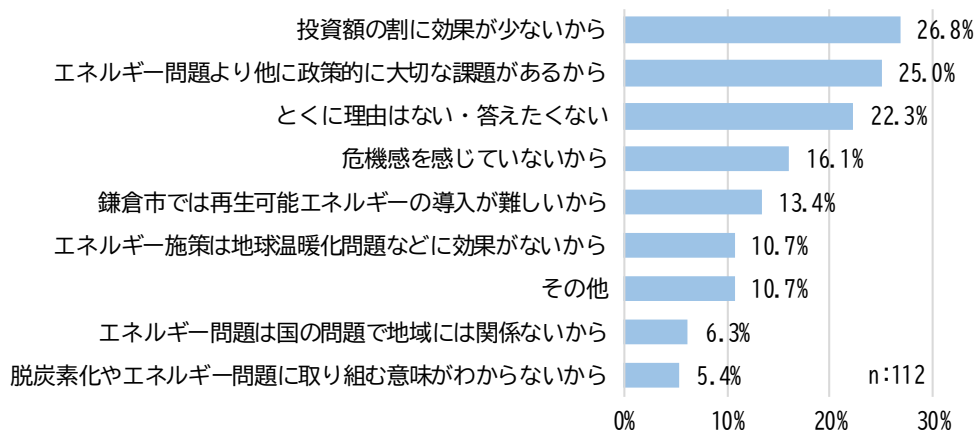
問 18-a 本市の脱炭素化やエネルギー問題に関心がある方にお聞きします。その理由を教えてください。（複数回答）

「地球温暖化問題の対策に貢献すべきだから」が77.8%と最も多く、次いで「災害時に安定したエネルギー確保が必要だから」が63.4%となっています。



問 18-b 本市の脱炭素化やエネルギー問題に関心がない方にお聞きします。その理由を教えてください。（複数回答）

「投資額の割に効果が少ないから」が26.8%、「エネルギー問題より他に政策的に大切な課題があるから」が25.0%と多く回答されています。



問 19 環境分野で、市が今後どのようなまちになるとよいと思いますか（自由回答）

自由回答の意見の中から、環境のテーマごとに抽出を行い、主な意見の概要として示します。

【脱炭素化や気候変動への適応を望む意見の抜粋】

- 全国に知られた鎌倉というかけがえのない市。是非清潔さを皆で守りたい。太陽光発電や蓄電、また、冬季の室温を保つため二重窓にする際の補助金を提供してほしい
- リサイクルだけでなく、エネルギー生成に関しても存在感を示せるような市になってほしいです。災害時に市内が停電になったときにも、再生可能エネルギーによって生活への影響が最小限で済むとか、復旧が早まるということになったら、安心して住みやすくなるなどと思います。もし、市内のエリアごとに適した再生可能エネルギー手段があるなら、それを使っていくのもよいと思います（すべてを太陽光にするのではなく、海岸沿いなら風力、など、事前に何がよいかを選定できるとよいように思います）
- 太陽光エネルギー、風力発電を住民が手軽に利用できるように促して頂きたい。具体的には助成金や説明会等。
- 公共施設や商業施設などの屋根を使って太陽光発電のパネルを作ってほしい。小中学校の屋根なども利用できないのか？新しく建てる家にも推奨して補助も行ってほしい。我が家は築 25 年、安価で太陽光発電をできる方法があればいいと思います。これから借金して取り付けるのは難しいので。
- 各家庭で発電・蓄電ができるようなまちになってほしい。その為の補助金にも期待したい。
- 市内の公共施設、及び公共的施設（福祉施設など）の屋根で、条件の良い施設は 100%太陽光発電設備を設置するようにして欲しい。そのための、制度を考案すべきだと思う。景観に影響がないように配慮して、中型、小型の風力発電の設置を検討すべき。小水力発電の適地がないかどうか、可能性を追求して欲しい。
- 夏の温度が年々高くなっているので、日中はエアコン設備が整っている図書館のような設備を増やしてほしい。
- 災害時の交通機関の整備。観光客に向けた暑さ対策。
- 災害に強いまちにしてほしい（したい）。
- 夏が暑いので植樹などの対策をすすめてほしい。（由比ヶ浜海浜公園など日影がなく、夏場（6 月～9 月）は遊びに行けません。市役所や学校の屋根、駐車場の日除けも兼ねて、小規模分散型ソーラーパネルを効率よく導入してほしい。一般家庭への導入の助成も検討してほしい。（災害が増えているが分散することで長期停電のリスクが防げる。）今後も自然環境を保護して行ってほしい。

【豊かな自然環境を望む意見の抜粋】

- 鎌倉市でも海に近い地域、横浜藤沢に隣接している地域で異なるが、以前に比べて山を切り崩して住宅地を作っているところが多く緑の自然がなくなっているように感じる。鎌倉の「海と緑の自然」を大事にきれいな鎌倉市を保ってほしい。
- 人と文化と自然が共存し、今まで以上に発展していく、そんな街。
- 今ある三方緑の山に囲まれ、早朝うぐいすなどの鳥が鳴き、一方を海がある自然豊かな鎌倉を保持してほしい。将来の子供達、次世代の人のため今より、よりよい鎌倉、行ってみたい、住んでみたいと思われる環境を作ってほしい。そのためには市民一人一人の意識が大切だと思います。
- 鎌倉の良いところは文化と歴史、自然豊かなところなので、良いところをずっと残していけるよう

なまちであるといいなと思う。

- これ以上緑のある地域の開発はしないでほしい。緑豊かな街になってほしい。
- 自然豊かで海が綺麗で町も綺麗な鎌倉市になると良いです。
- 野生動物の生息環境保護と歴史保全を両立する都市になるといいと思います。
- 生態系を壊すことなく、不必要な開発をとりやめ、自然と共有する。
- 台湾リスの増加を止めてほしい。外来種なので病原菌を持っていると思います。絶対に台湾リスを退治してほしい。捕獲のためのかごを設置する事を宣伝してほしい。

【安全快適な生活環境を望む意見の抜粋】

- インバウンドを含めた観光客の増加は一般住民の生活環境に悪影響を与えることがあるが、現在の落ち着いた環境がしっかり維持されるよう努めてもらいたい。
- 観光客がごった返しゴミのポイ捨てやルール違反が多いが市も警察も何も出来ないしない状況。全国に先駆けて厳しい取り締まりをし、クリーンな鎌倉を取り戻して欲しいと強く願う。
- インバウンド混雑の抑制。深夜のバイク騒音の監視。航空機騒音の低減。鎌倉らしい静かで落ち着いた街の雰囲気を取り戻す。
- 観光客の多い鎌倉市はオーバーツーリズムと市民生活との関係において、環境面（特に県外ナンバー車の違法駐停車や交通マナー）からの視点も必要だと思います。今後の改善を望みます。
- 外国人観光客のオーバーツーリズムを緩和するため、観光税を取り入れ、市に還元するべき。市民からの補填に頼らないこと。少なからず外国人によって環境は悪くなっている。ゴミのポイ捨て、渋滞、排気ガス、交通インフラの混乱、治安の悪化、トラブルなど。もっと制限を加えるべき。市民が生きづらくなっているのは本末転倒。

【循環型社会の形成を望む意見の抜粋】

- 市民がゴミの分別、リサイクルに詳しいまち。
- 引き続き、ゴミの少ない景観の良い鎌倉市であり続けて欲しいと思う。
- 粗大ゴミに出されて使えそうなものはメンテナンスやアップサイクルをして、Web 掲載。もっと気楽に良い価格で手に入れやすくすべきだと思う。またその収入の一部を環境保全に使ってほしい。また、ネットが苦手な方も気軽に売買できる定期的なフリーマーケット開催してほしい。
- 歴史のある街だからこそ、現代の大量生産、大量消費、大量ゴミ排出を考えなおす発信をしていったら良いと思う。
- 子供や若者が当たり前で 3R と共に生活出来ること。

【歴史・文化的環境の保護・活用を望む意見の抜粋】

- 鎌倉と言う歴史ある街だからこそ、その景観を保ちつつ、現代社会の問題も解決できたら良い。
- 美しく歴史の趣を残した環境保全都市。
- 自然に恵まれ歴史・文化史跡の有る立地条件の揃った鎌倉市が未来にわたって崩れる事の無いように環境面で様々な施策を立てる事が大切だと思います。
- 町の景観や古い建物等、大事にしてほしい。
- 歴史のある建物を有効活用したまち。

- 歴史の表舞台に立ったこともある貴重な場所なので、史料の保全は是非していただき、未来の人たちが過去を振り返る時に、当時の空気感が伝わるようにしてほしい。
- もっと景観保護に努めるべきだ。大規模開発を認めない新たな条例をつくる。古都の景観を守り、歴史的建造物を保存・利活用する仕組みを作るべき。

【環境保全での連携を望む意見の抜粋】

- 豊富な自然を生かしながら、住民の環境に関する意識を醸成し、官民双方で環境に対する先進的な取り組みを行うまち。
- もっと情報を発信してほしい。発信しているのかもしれませんが、届いていません。補助金など、こちらから情報を得ようと思っても、どこにあるのか分かりづらく、調べるのに時間がかかるし、内容も分かりづらいため、途中で断念することばかりです。
- 鎌倉の豊かな自然環境を次世代にも継承していけるよう、一人一人が意識を持って取り組む必要があると思う。そのためには、広報誌、SMSなどで広報活動を引き続きお願いしたい。学校教育でも、取り上げて伝えてほしい。
- 高齢者や若い世代、ファミリーなど世代別に市の取り組みや参加協力の呼びかけなどを行って、住人が安心して満足して住み続けることのできるまちになるといいなと思います。
- 鎌倉市民はとても環境に意識が高いと思うが、外から遊びにきた方々にも伝えられると良い。

【環境の将来像に関する意見の概要】

歴史・文化と結びついた自然環境や景観の保存を望む意見が特に多くみられました。

近年の観光客の増加による生活環境の悪化への対策を望む意見も多くみられました。

環境教育や市民参加等の推進を望む意見もありました。

ごみの削減やリサイクル、脱炭素化の促進等の近年の環境問題に対する市の取組に期待する意見もみられました。

問 20 市の環境について日頃感じていることなど、自由にご記入ください（自由回答）

自由回答の意見の中から、環境のテーマごとに抽出を行い、主な意見の概要として示します。

【脱炭素化や気候変動への適応に関する意見の抜粋】

- 最近 PHEV の車を購入したが、充電箇所がほとんどない。EV 車のクイック充電はスーパーなどに増えてきているが、もっと充電箇所を増やして欲しい。
- 太陽光発電は 20 年過ぎると修理補修が必要となるがその費用補助をして欲しい。電気自動車の充電スポットを増やして充電速度を速くしないと安心して乗れない。
- 省エネ再エネの普及促進にはまだまだ費用負担が生じてしまうのが現状であろう。それがハードルとなって、なかなか進まないものと思われますので、手厚い助成制度を実施していただけますと幸いです。また助成制度の実施にあたっては、国や県の助成制度との連携も意識してください。
- 脱炭素化は必ず進めていくべきだが、鎌倉のような税収の少ない自治体がどこまで出来るのか？県や国からの補助を期待したい。
- 沢山の意見があると思うが、災害時の事は最大の関心事です。鎌倉市では議会でこの事について、少しも進捗しないように感じます。先送りしては間に合わないでしょう。
- 災害時の拠点として、深沢地区の開発をいち早く進めてほしい。進捗の遅れに不満が募る声も聞こえる。

【自然環境に関する意見の抜粋】

- 緑の維持が行われていない。ただ緑を残すのではなく、綺麗に残すほうが良いと思う。
- 歴史と緑を基本残す方向で取り組んでほしいと思います。北鎌倉駅近くの緑の同門など、使用できないままほぼ 10 年が経過している。住民が不便なのを理解しつつ、市として解決できない事に不信感は拭えない。
- 古都保存法を全国に先駆けて策定して以降、何もしていない。新たな開発を認めない全国でも一番厳しい自然保護条例を作るべきだ。歴史的景観の保全にもっと積極的に取り組む必要がある。
- 山は崩したら、元には戻らないのに宅地や開発許可を出し過ぎている。放置されている古い家屋がある土地を再整備して活用できる仕組みを全国に先駆けて、歴史の町として動いてほしい。様々な手続きがあって困難だとは思いますが、一歩進んで森林、水を守ってほしい。
- 駅周辺にも自然（街路樹など）があるといいと思います。すぐに山に行けるのは良いところ。

【生活環境に関する意見の抜粋】

- 観光優先の政策ばかりで、市民や環境が軽視されているように感じます。路上駐車や踏切での混雑、騒音、排ガス、ゴミの放置など、生活の質が明らかに落ちています。「風情あるまち」の看板に甘えず、現実を直視した対応を早急にとってほしいです。
- オーバーツーリズムによる市民生活への悪影響（江ノ電の混雑、鎌倉高校前駅の踏切、ゴミの放置など）。
- 観光客のゴミのポイ捨て問題や、公共トイレの汚染を対策して欲しい。
- 緑地等が保全されており、緑と気軽に親しめる環境がある。一方、街中や歩道などにゴミが捨てられている事もあることから、より清潔で住み良い街づくりが進むとよいと考える。

- 環境公害の低減、各種の対策はコストがかかる、合理的な目標を定めて実施すべき。
- 歩道に犬の糞、海岸のゴミが気になる。鎌倉市にお金がおとされることなく、環境の悪化だけを引き受けている。歩道に人が溢れ、突然車道に降りられると、自転車や車の走行が困難。
- 鎌倉市ではクリーンなイメージがある一方で、まだまだ海のゴミは多い状況。制度や導入も大切だが、まだまだ観光客マナーや利用者マナーがなくゴミがビーチに多い。監視についても増やすべきかつある程度のペナルティも検討してほしい。逆にルールが守られれば自由に利用できる自由さもほしい。
- 外国人観光客の増加によって住民が交通機関を利用出来なかったり、ゴミ問題に発展する。小町通りなど地域限定で分別ゴミ箱の設置など個人ではなく行政として取り組んではどうか？鎌倉花火もその後の掃除料を徴収すべきでボランティアだけに頼らない仕組みが必要ではないか。

【循環型社会に関する意見の抜粋】

- リサイクルを徹底しているところが誇りです。
- リサイクル率が全国 1 位とは初めて知った。もっとアピールすべきである。
- ごみ収集に関して、個別収集、ゴミ分別アプリ、リチウムイオン充電電池製品の回収開始など良い取り組みをしていると思います。特にリチウムイオン充電電池製品の処理は困っていたので大変ありがたい。使用者の視点からも、ゴミ処理の現場も安全性が増し良いことだと思う。
- 焼却炉を無くして他市にごみ処理を委託していることにとっても不安を感じている。災害時には、受け入れてもらえないのではないかと懸念している。やはり、ごみは自分の住んでいるところで処理するべきではないかと思います。
- ゴミ収集所、ボックスを均一に設置して貰いたい。ネット、手作りの箇所はカラス被害で荒らされる事が多いので景観と言う観点から全部をボックスに出来たらと。
- ゴミの分別収集が定着している事は良い事と思います。今後も市と市民が努力して継続していくことが重要と考えます。
- ゴミの分別など他市に比べると大変だが、こらからも積極的に行っていきたい。時間外に市の電話が繋がらないのは困る事がある。
- まだゴミの分別が徹底していないように思います。ゴミステーションに積み残しとなった場合とても困っています。
- ゴミ処理機の援助等は良い事と思っています。植木ゴミで作った腐葉土等も助かっています。粗大ごみの処理費用はもう少し安くして欲しい。

【歴史や文化に関する意見の抜粋】

- 近年、土地の再開発や古い家屋・住宅の再建で昔の歴史ある街並みや情緒ある鎌倉の雰囲気破壊されているように思えます。新しく街が変わって行くのも良いですが緑の保全・保護等にはある程度の規制を設けて鎌倉らしさを維持して欲しい。
- 武家政権発祥の地と言う鎌倉の出自を、目に見える形で示すモニュメントが全くない。埋蔵文化財として地下に眠っている。今年は宇津宮幕府開設 800 年にあたる。この記念すべき年を環境首都-鎌倉づくりの起点として活かして欲しい。幕府跡史跡公園整備と環境施策(紹介のあった 9 つの取り組み)のハイブリッドで大胆な進展を期待したい。

【環境保全での連携に関する意見の抜粋】

- 鎌倉市の持続可能な未来に向かって地球環境及び地域環境の向上に繋がっていく課題には地域の自治体などと一体となり、協働の輪をもって積極的に取組んでもらうことを要望いたします。
- 長年の市民活動に関わってきた者として、特に環境問題への取り組みは縦割り行政では有効的なものは生まれないと思います。町作り、景観、防災、観光などの各部門が横並びで横断的に取り組み、専門家、企業、一般市民と共働で共生共創することが肝要。まず現状の問題点を整理して、一つ一つ解決策を究めるべき！
- 鎌倉市がエネルギー問題取り組みは分かりますが、神奈川県、国、他の市町村との活動連動を期待します。
- 鎌倉市の環境施設は「意識的に取り組もうとする市民」に依存していると考えます。特別な意識を持たずとも、市民でも観光客でも「その方が便利だから」「その方が得だから」という仕組みを作ることで勝手に機能するような施策を打ってほしいです。
- まだ市の環境に対する政策で知らないことが多かったので市民に知る機会や再生エネルギーを活用する機械に触れ合える機会をもっと与えて欲しい。
- 様々なイベントをやっているのかもしれませんが、なかなか地域や観光客へは伝わっていないように感じます。より実践できるようなイベントを開催すべきだと思います。
- リサイクル率が全国1位とは初めて知った。もっとアピールすべきである。
- 市の環境改善にむけての取り組みを殆ど知らなかった。適切な情報宣伝をしてほしい。

【市の環境に日ごろ感じていることに関する意見の概要】

観光客の増加による生活環境の悪化とその対策を訴える意見が多く見られました。

歴史的な自然を保全することを希望する意見が多くみられました。

脱炭素化については次世代自動車の充電器の整備や太陽光発電等への補助を求める意見がみられました。

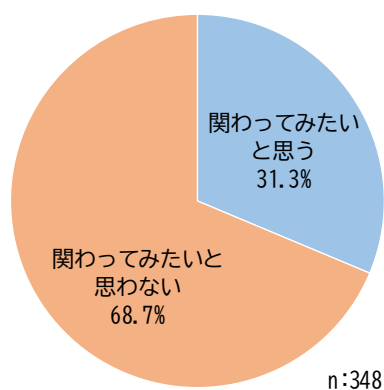
ごみ処理について、リサイクル率の高さを誇る意見や処理体制への要望を訴える意見がみられました。

歴史的な遺産の保護や活用、景観の保全を求める意見もありました。

環境保全活動での市民や他自治体との連携を求める意見がある一方で、市の取組があまり知られていないため PR すべきという意見もみられました。

問 21 「Liqlid」に参加して一緒に環境の未来を考えてみたいと思いますか。(単数回答)

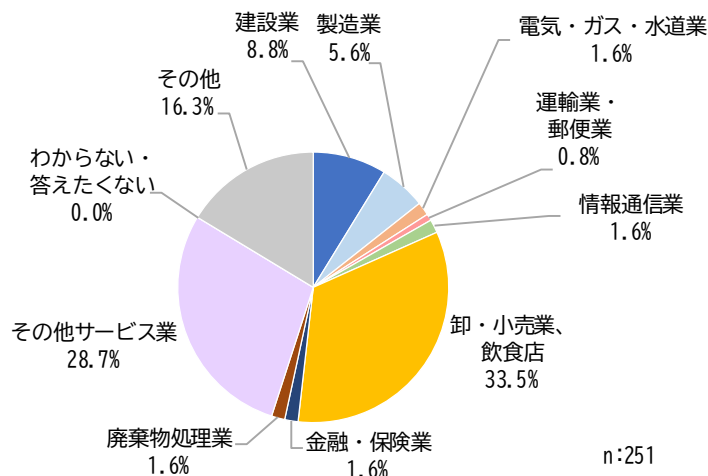
「Liqlid」に参加して、環境基本計画の策定に「関わってみたいと思う」人は31.3%でした。



②事業者アンケート

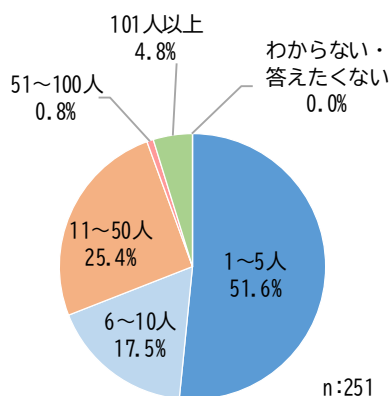
問1 貴事業所の業種を教えてください（単数回答）

「卸・小売業、飲食店」が33.5%と最も大きな割合を占め、次いで「その他サービス業」が28.7%となっています。



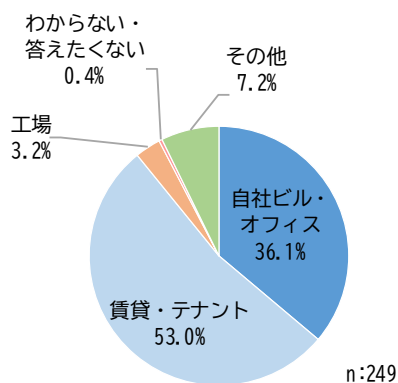
問2 貴事業所の従業員数を教えてください（単数回答）

従業員数が「1～5人の事業所」が51.6%を占めています。



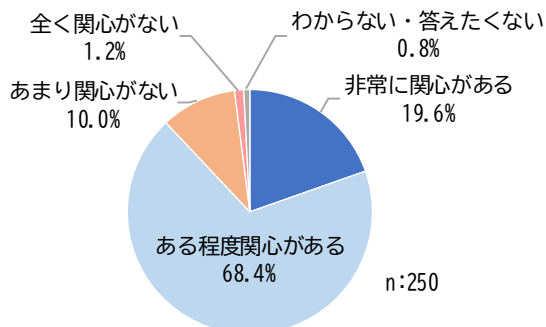
問3 貴事業所の建物の形態を教えてください（単数回答）

「賃貸・テナント」が53.0%と最も大きな割合を占め、次いで「自社ビル・オフィス」が36.1%となっています。



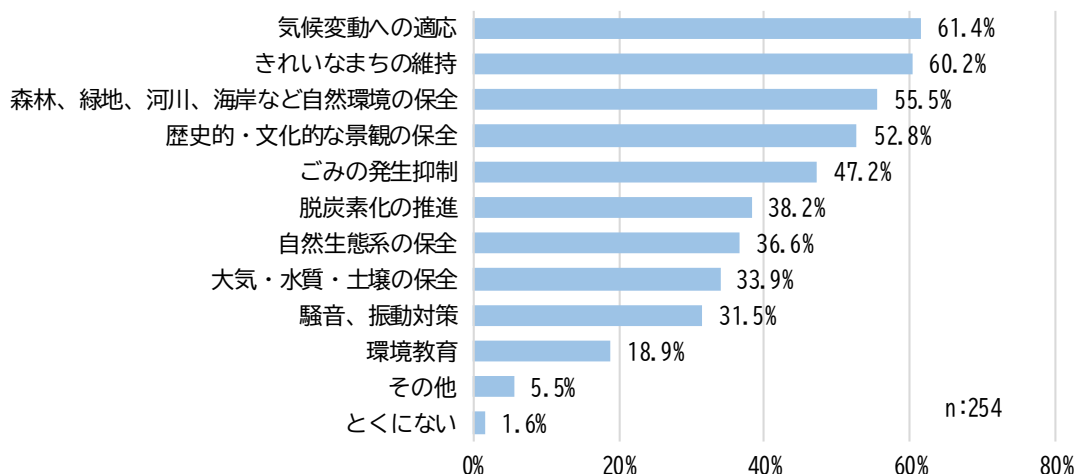
問4 貴事業所は環境問題に関心がありますか（単数回答）

「非常に関心がある」が19.6%、「ある程度関心がある」が68.4%と、合わせて88.0%が環境問題に関心を持っています。



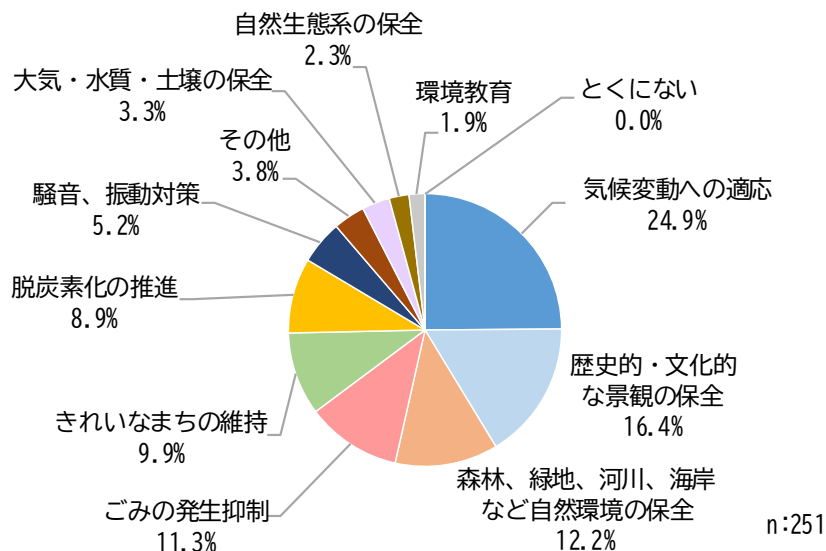
問5 本市の環境保全の施策のうち、重要だと思うものを教えてください（複数回答）

重要だと思う施策では「気候変動への適応」と「きれいなまちの維持」が約6割から回答されています。



問5 本市の環境保全の施策のうち、最も重要だと思うものを教えてください
(単数回答)

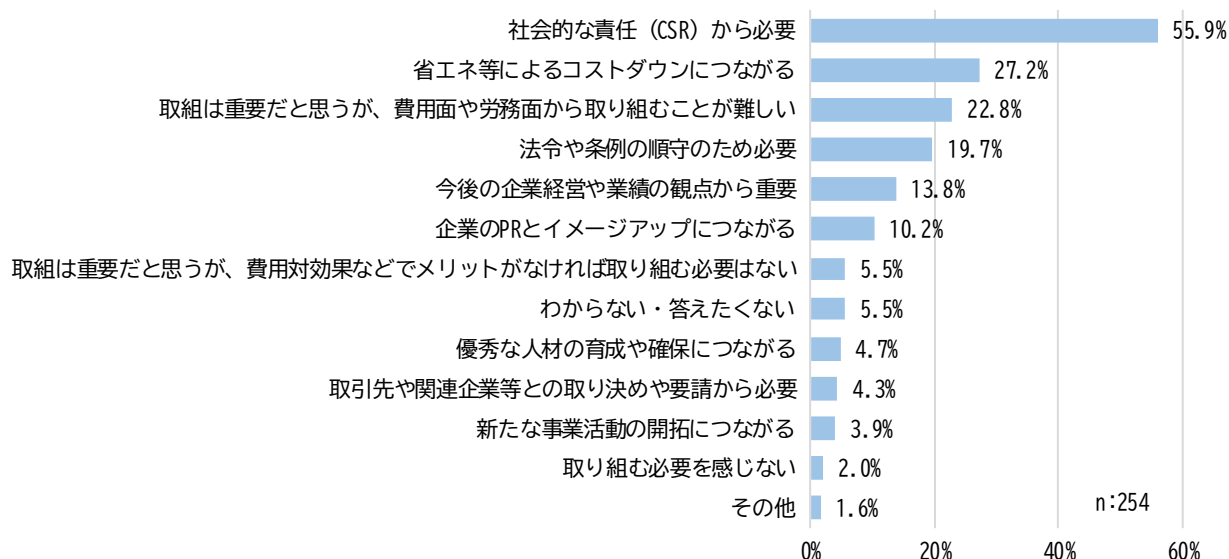
最も重要だと思う施策では「気候変動への適応」が最も多く、次いで「歴史的・文化的な景観の保全」や「森林、緑地、河川、海岸など自然環境の保全」の順に多くなっています。



問6 貴事業所では環境保全の取組をどのように考えていますか（複数回答）

環境保全の取組を「社会的な責任（CSR）から必要」と考える事業者が55.9%となっています。

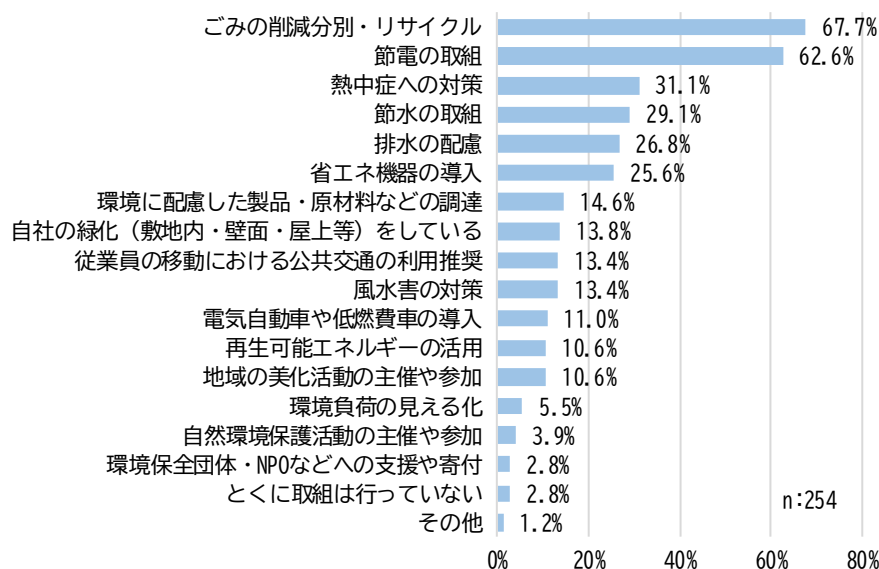
「企業のPRとイメージアップにつながる」や「今後の企業経営や業績の観点から重要」といった考えは1割程度です。



問7 貴事業所で実施している環境関連の取組はどれですか（複数回答）

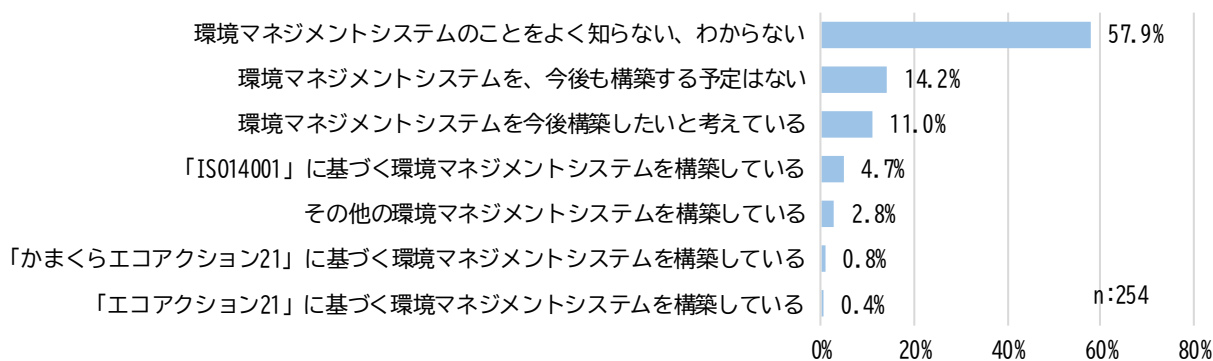
「ごみの削減分別・リサイクル」が67.7%、「節電の取組」が62.6%の事業者で行われています。

「電気自動車や低燃費車の導入」や「地域の美化活動の主催や参加」などはごみの削減や節電に比べて、あまり実施されていません。



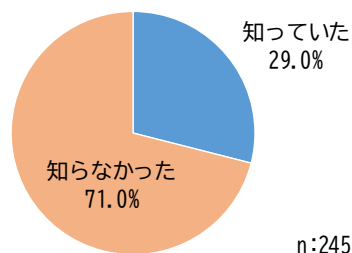
問8 環境マネジメントシステムを構築していますか（複数回答）

「環境マネジメントシステムのことをよく知らない、わからない」と回答した事業者が57.9%であり、環境マネジメントシステムを構築している事業者は10%未満です。



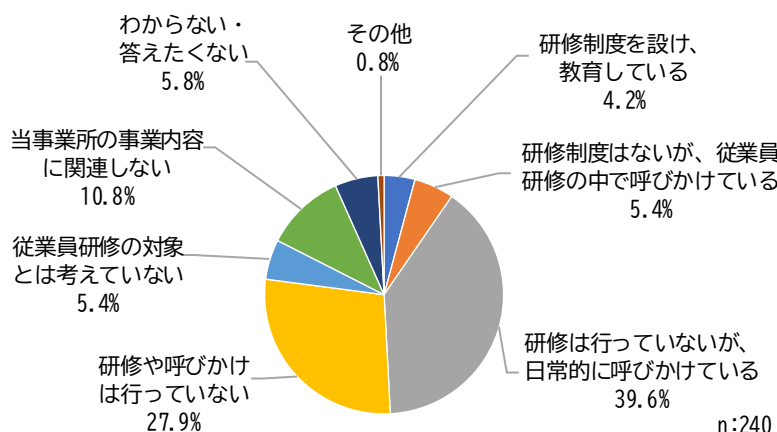
問9 本市は人口 10 万人以上 50 万人未満の自治体の中で、リサイクル率が全国トップです。このことをご存じでしたか（単数回答）

鎌倉市が人口 10 万人以上 50 万人未満の自治体でリサイクル率がトップであることを「知っていた」事業者は 29.0%でした。



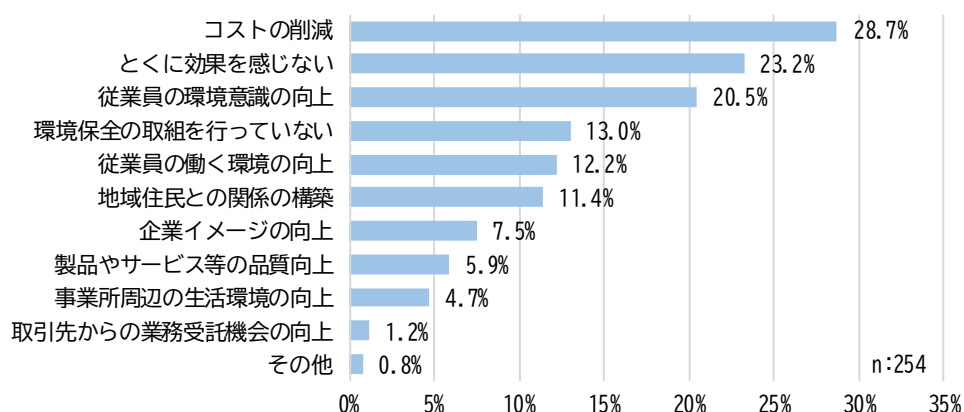
問10 環境保全に関する従業員教育について、貴事業所の取組状況や考え方に当てはまるものはどれですか。（単数回答）

環境保全に関する従業員教育について「研修は行っていないが、日常的に呼びかけている」事業所は 39.6%あるものの、研修制度や従業員研修の中で行っている事業者は 10%程度にとどまります。



問11 環境保全の取組によってどのような効果が得られましたか（複数回答）

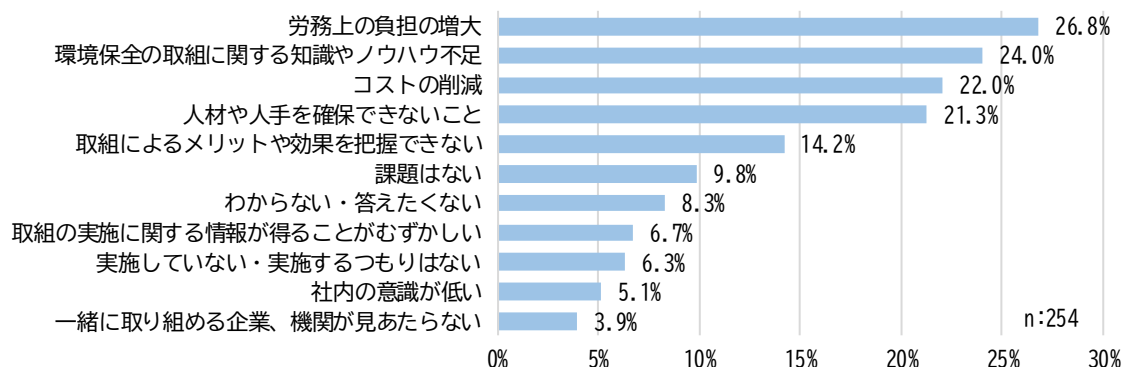
「コストの削減」が 28.7%と最も多く回答されています。次いで、「とくに効果を感じない」が 23.2%となっています。



問 12 環境保全の取組を実施する上で課題と感じていることはありますか（複数回答）

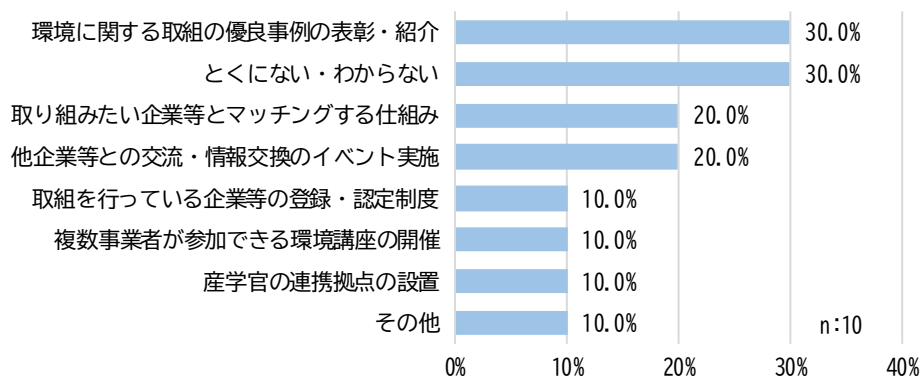
「労務上の負担の増大」や「環境保全の取組に関する知識やノウハウ不足」を課題と感じている事業者が20%以上みられます。

「一緒に取り組める企業、機関が見あたらない」という回答は3.9%と最も回答率が低くなっています。



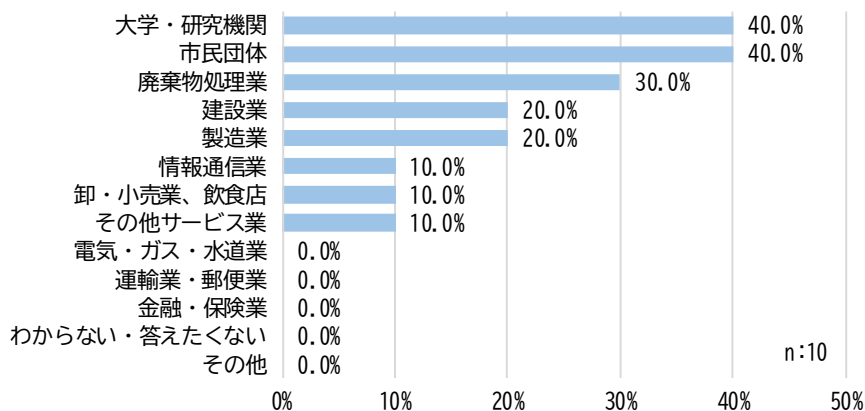
問 12-a 問 12 で「一緒に取り組める企業、機関が見あたらない」に○を付けた方にお聞きます。他企業や団体との連携に向けてどのような、行政の支援があるとよいと思いますか？（複数回答）

「環境に関する取組の優良事例の表彰・紹介」が30.0%と最も多く回答されています。



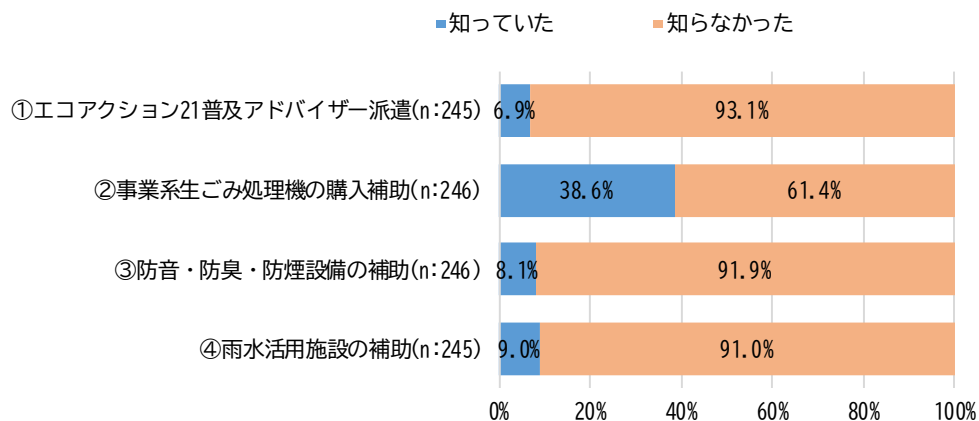
問 12-b 問 12 で「一緒に取り組める企業、機関が見あたらない」に○を付けた方にお聞きます。どのような業種の企業や団体と一緒に取り組みたいですか？
(複数回答)

「大学・研究機関」や「市民団体」との連携が 40.0%と最も求められています。



問 13 本市では、事業所向けに環境の取組を支援する制度を設けています。以下の取組についてご存じでしたか（単数回答）

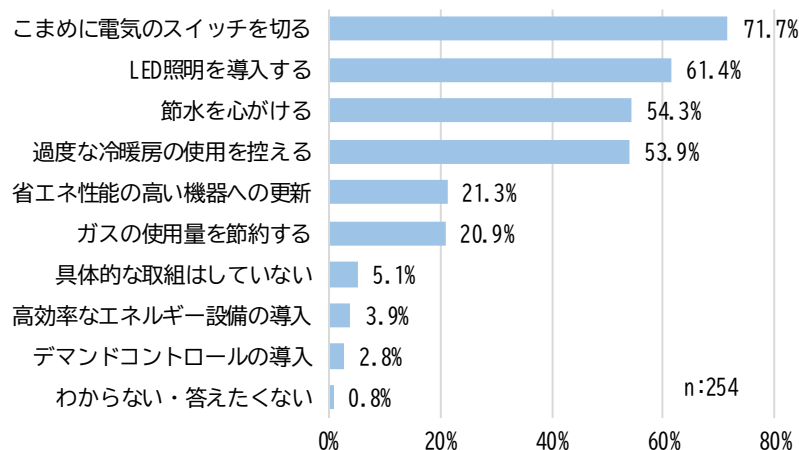
最も認知度の高い「②事業系生ごみ処理機の購入補助」でも認知率は 38.6%であり、それ以外の支援制度は 10%未満の認知率となっています。



問 14 電気・ガス・水道の省資源・省エネルギーについて具体的にどのような取組をしていますか（複数回答）

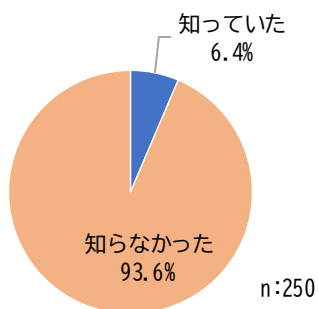
「こまめに電気のスイッチを切る」が 71.7%、「LED 照明を導入する」が 61.4%の事業者で行われています。

一方で、「高効率なエネルギー設備の導入」や「デマンドコントロールの導入」などの費用負担の大きな取組はあまり行われていません。



問 15 鎌倉市では、今年度から中小企業向けに太陽光発電設備(1kW あたり 5 万円)と蓄電池導入(太陽光発電設備と同時に蓄電池を設置する場合、蓄電池の価格の 1/3)に関する重点対策事業費補助金を創設していることを知っていましたか（単数回答）

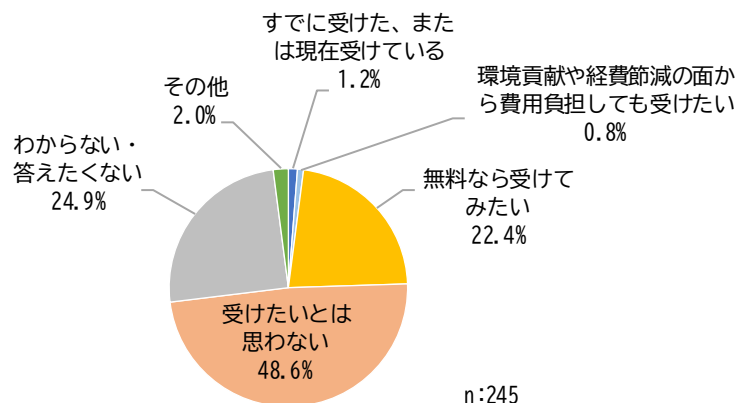
「知っていた」が 6.4%と認知度は非常に低い状況です。



問 16 事業所の省資源や省エネルギーを進めるためのサポートとして、専門家による省エネルギー診断制度がありますが受けてみたいと思いますか（単数回答）

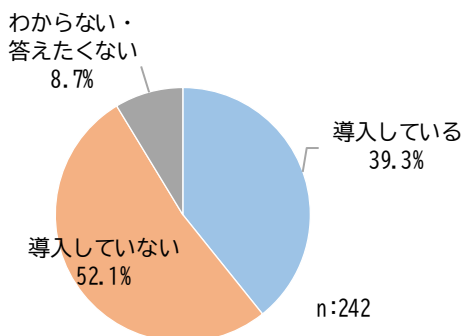
「すでに受けた、または現在受けている」が1.2%と利用率は低い状況です。

「環境貢献や経費節減の面から費用負担しても受けたい」が0.8%、「無料なら受けてみたい」が22.4%と合わせて23.2%が省エネルギー診断の受診の意向があります。



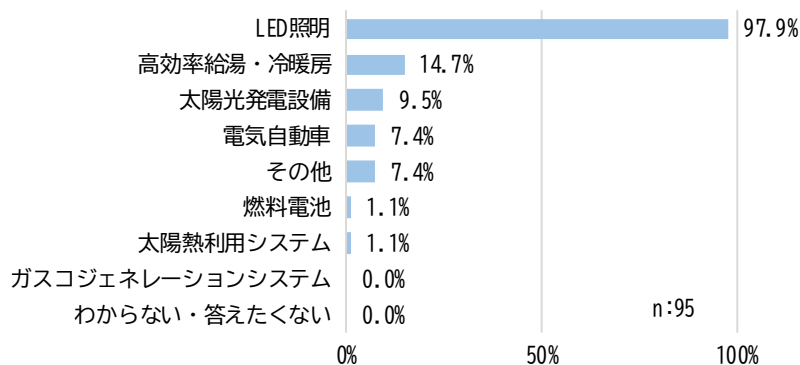
問 17 導入している再生可能エネルギー等設備・機器や省エネルギー機器等がありますか（単数回答）

LED 照明や高効率給湯等の何らかの設備を「導入している」事業者が39.3%となっています。



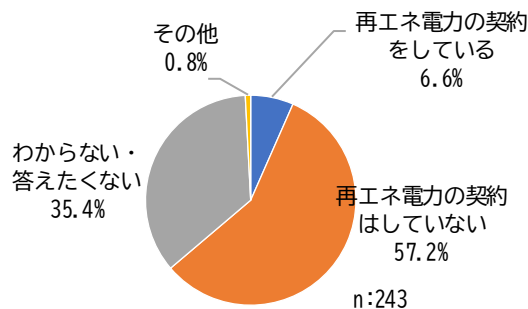
問 17-a 導入していると回答した事業者の方へ、どのような設備・機器を導入していますか（複数回答）

「LED 照明」が97.9%と最も多い一方で、「太陽光発電設備」や「電気自動車」は10%未満となっています。



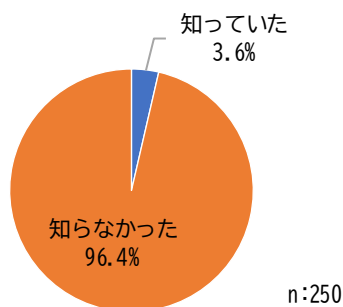
問 18 貴事業所では、再エネ由来の電力プランの契約をしていますか（単数回答）

「再エネ電力の契約をしている」事業者が6.6%となっています。



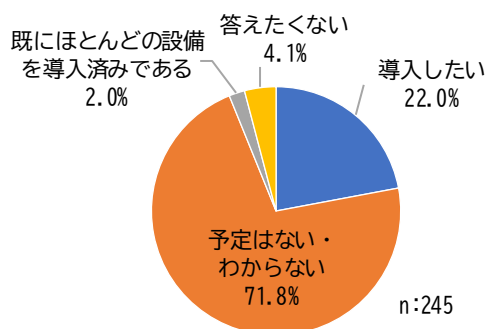
問 19 本市では、多くの公共施設で使用する電気を再生可能エネルギー100%の電気に切替えました。このことをご存じでしたか（単数回答）

公共施設で使用する電気を再生可能エネルギー100%の電気に切替えていることを「知っている」事業者は3.6%と、あまり知られていません。



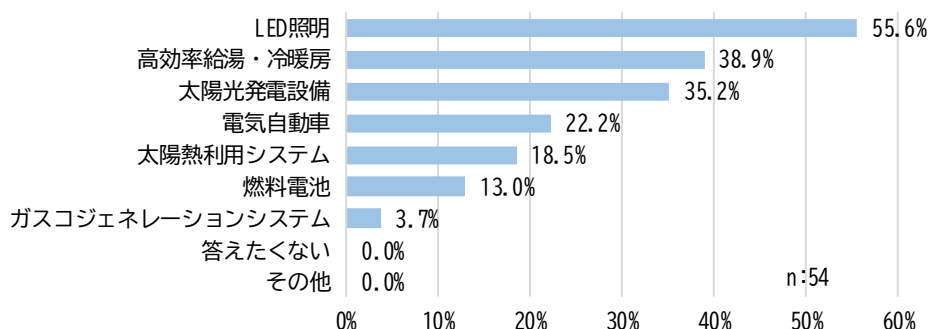
問 20 今後導入したい再生可能エネルギー等設備・機器や省エネルギー機器等がありますか（単数回答）

再生可能エネルギー等設備・機器や省エネルギー機器を今後「導入したい」と考えている事業者は22.0%となっています。



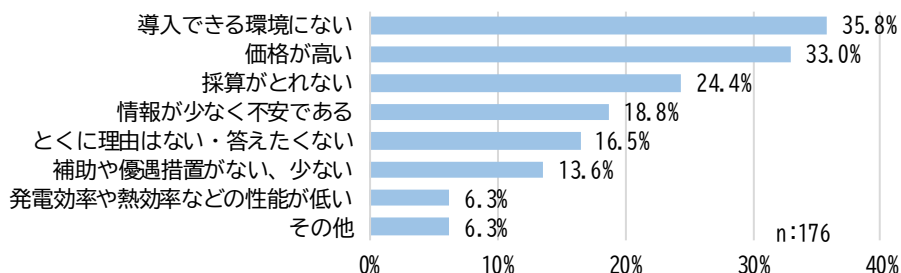
問 20-a 導入したいと回答した事業者の方へ、どのような設備・機器を導入したいですか
(複数回答)

再生可能エネルギー等設備・機器や省エネルギー機器を今後導入したいと考えている事業者の導入したい設備・機器では「LED 照明」が 55.6%、「高効率給湯・冷暖房」が 38.9%、「太陽光発電設備」が 35.2%と多く回答されています。



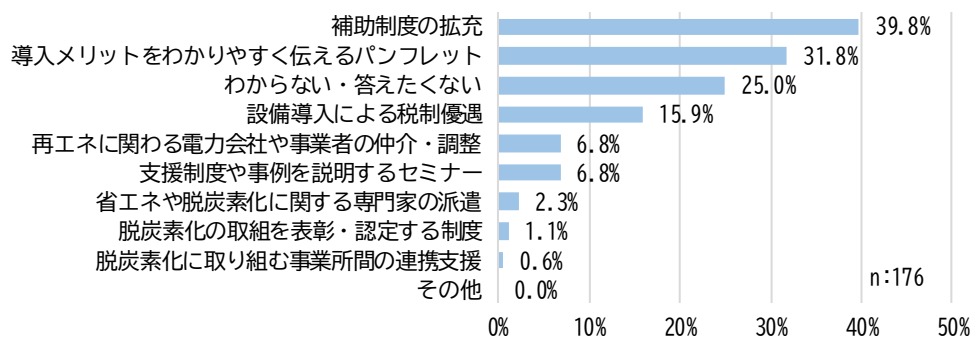
問 20-b 予定はない・わからないと回答した事業者の方へ、導入予定のない理由を教えてください
(複数回答)

「導入できる環境にない」が 35.8%、「価格が高い」が 33.0%の事業者から導入予定のない理由として回答されています。



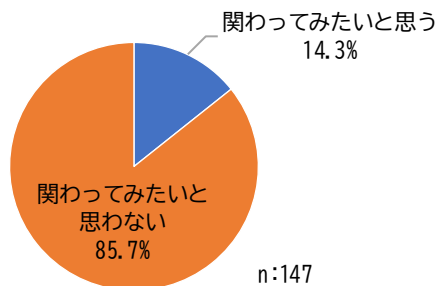
問 20-c 予定はない・わからないと回答した事業者の方へ、どのようなことがあると導入できると思いますか (複数回答)

「補助制度の拡充」が 39.8%、「導入メリットをわかりやすく伝えるパンフレット」が 31.8%から回答されています。



問 22 「Liqlid」に参加して「鎌倉市環境基本計画」の策定に関わってみたいと思いますか（単数回答）

Liqlid に参加して鎌倉市環境基本計画の策定に「関わってみたいと思う」事業者が 14.3%となっています。



問 23 市の環境について日頃感じていることなど、自由にご記入ください。（自由回答）

自由回答の意見の中から、環境のテーマごとに抽出を行い、主な意見の概要として示します。

【脱炭素化や気候変動への適応に関する意見の抜粋】

- 鎌倉市の場合住宅部門、家庭部門の省エネ化、高気密、高断熱化の方が重要で東京都や川崎市、北九州市のような先進的な取組を行っている自治体のような取組を検討すべき。
- 環境問題で重要なのは交通のコントロール。①365 日一般車両の旧市街地への乗り入れを禁止し時間貸駐車場の廃止。②市内の自家用車、営業車、バス等を 10 年以内に電気又は水素燃料化。そして全戸太陽光パネル設置の義務化とその為の補助強化。
- 慢性的な道路渋滞を考えると電気自動車の普及は重要と考えます。充電スタンドを市内に沢山作る事を市として対策できないもののでしょうか？
- 脱炭素に向けて先鋭的な取り組みをしてもらいたいです。
- 脱炭素への行動変容を促す各種取組を鎌倉市環境政策課は積極的に取組まれており、いつも参考にさせて頂いています。これからも情報提供宜しくお願い致します。
- 梅雨末期、台風時の際の滑川氾濫の対策が皆無である。海水浴場、海浜のシャンプー等洗剤の汚れを砂浜に吸い込ませているので永年の蓄積と海水汚染。

【自然環境に関する意見の抜粋】

- 古い建築物が壊され緑地が減少することを残念に思っています。
- 緑地の多く残すことで、まち全体の気温上昇にも貢献できると考えています。ただし、整備が追いついていない場所もみうけられ自然環境の保全、生態系の保全、特に関心があるので、こちらについて脱炭素化が逆影響を受けるような、取り組みについて慎重に検討をお願いしたいと思っています。他県でみかける山がソーラーパネルだらけとか。
- 必要な場所には様々なシステム導入も良いと思いますが山林の多い自然豊かに残る環境の手入れも小まめに取り組んで欲しい。
- 住宅地の緑化の保全、推進、沿道緑化の推進（自然素材の堀含む）。

【生活環境に関する意見の抜粋】

- ①食べ歩きのお店が多いのにゴミ箱の設置が無いのが不満。町を綺麗にするには当然必要だと感じている。②東口、西口ともに喫煙所を作って欲しい。裏道で喫煙してそのままポイ捨てしている姿をよく目にしている。大船駅にあるような物なら煙も気にならず良いかと思う。歩きタバコも多いし灰皿の無い事の方がデメリットが大きい。③狭い道での路上駐車をもっと厳しく取締まって欲しい。
- 街にゴミ箱がなく、観光客のポイ捨てに繋がったり、買ったお店ではなく違うお店に捨てるなど、鎌倉市民、鎌倉で働く人の負担になっていると常々感じます。有料でも良いと思うのでゴミ箱を複数設置した方が良いと思います。
- 日々観光客が増加していますがマナーの悪さが目立ちます。ゴミ箱の設置、有料トイレの設置、喫煙場所の設置。観光客に観光ルールの注意等のパンフレットや掲示板などの設置を考えて貰いたいです。
- 小町通り近くの為、日常的に観光客の弊害に遭遇します。観光都市、環境保護を唱えるなら、それなりの自覚を持ち、市が主導的立場に立つべきと思っています。特にゴミとトイレ問題。
- 観光都市として駅周りのトイレの増設、島森書店前の観光案内版の整備、ゴミポイ捨ての回収など周辺ビルの負担に任せず市で対策をすべきだと思います。
- 環境をトータルで取組む事を前提とした上でもっと身近なゴミ分別や商業地区でのゴミ問題と路上喫煙の徹底禁止対策と共に食べ歩きでなくマナーをしっかりと整えた観光を見据えて行かないとどんなに整備しても鎌倉は生きにくく暮らしにくいと感じています。飲食だけがメリットの有る環境でなく生活に対するサービス業にも確りと目を向けて欲しいと切に切に思っています。

【循環型社会に関する意見の抜粋】

- リサイクル率 100%は素晴らしい取組と思います。
- ゴミ処理場が市内に無くなった事は問題が有ると思っている。最新のゴミ処理施設は発生した熱などを利用して色々な事が出来る。周辺住民の反対等有る事は理解しているがそれを纏めるのが市の役割。今迄有った名越、今泉の住民は問題なく生活していた。外国人資本により開発や既存ビルの買収が行われ街が良くない方向に向かっている。市、県、国として対策を講じる事を求めます。
- ゴミの焼却炉を今泉台に作ることは出来ないものか。事業所のゴミ処理代が高過ぎて困っている。
- ゴミの戸別収集は本当に必要なのでしょうか？市内に焼却場の建設をした方が良いのではないのでしょうか。
- 以前は「土」を回収する場所が有ったが今は無くなっているように思います。不要な土を回収する場所が有れば良いと思う。例えば演芸用や鉢植え用の土等。

【歴史や文化に関する意見の抜粋】

- 小町通りですが、建物の規制しないのですか？街並み揃ってないです。三重のおかげ横丁とか、街並みが揃っていて綺麗です。こんな有名な商店街なのに、建物バラバラで公衆トイレもない。

【環境保全での連携に関する意見の抜粋】

- 4年近くアダプトプログラムに参加しており、毎月事業所周辺の清掃業務を行っていますが、この

ところ、タバコの吸い殻がかなり減少してきているように感じます。環境意識の変化、喫煙者数の減少など様々な理由があるかとは思いますが、アダプトプログラムの活動も一助になっているとの自負があります。

- 鎌倉市の恵まれた自然環境を保全し次世代に引き継ぐと共にその環境を生かして環境保全に依る効果を目に見える形で示す事が今後益々重要になる。行政、市民、事業者が連携して施策を実行して行く事が必要と感じる。
- 良い取組をされていると今回のアンケートで少し理解しましたが日々の生活の中では全くと言って良い程伝わっていません。

【市の環境に日ごろ感じていることに関する意見の概要】

観光業の振興と生活環境の保全を両立させることを求める意見が多くありました。

脱炭素化について、住宅の省エネ化や太陽光発電の導入、次世代自動車の導入を進めるべきとする意見がありました。

また、脱炭素化関連の設備導入において、自然環境の保全に配慮すべきという意見がありました。

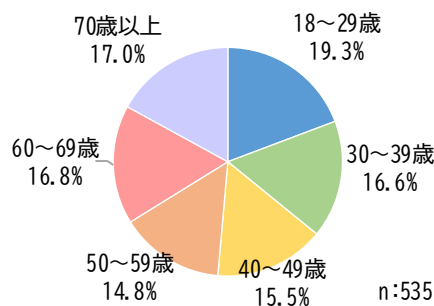
循環型社会については、現状の処理体制についての不満や要望がみられました。

その他、景観の保全や連携に関する意見もありました。

③滞在者アンケート

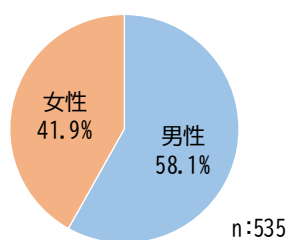
問1 ご年齢を教えてください（単数回答）

年齢層は年齢層ごとに15～20%を占める形となっています。



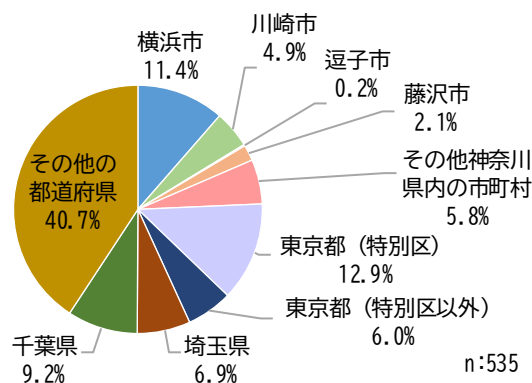
問2 性別を教えてください（単数回答）

「男性」が58.1%、「女性」が41.9%を占めています。



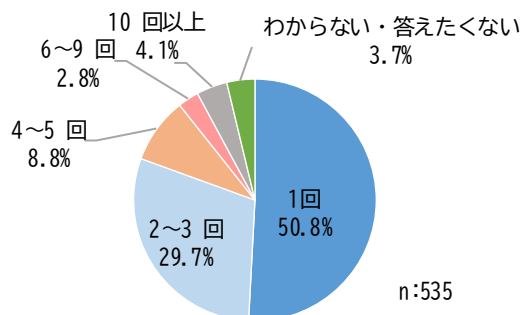
問3 あなたのお住まいの地域を教えてください（単数回答）

「横浜市」をはじめとする神奈川県内の市町村が24.4%、東京都（特別区）が12.9%となっており、神奈川県、東京都、埼玉県、千葉県で約6割を占めています。



問4 最近3年間で鎌倉に来訪した回数は何回ですか（単数回答）

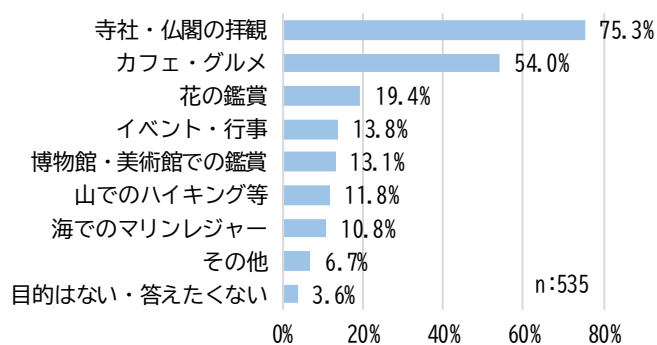
来訪回数では「1回」が50.8%を占めています。



問5 鎌倉を訪れた主な目的は何ですか（複数回答）

来訪目的では「寺社・仏閣の拝観」が75.3%と最も多く、次いで「カフェ・グルメ」が54.0%となっています。

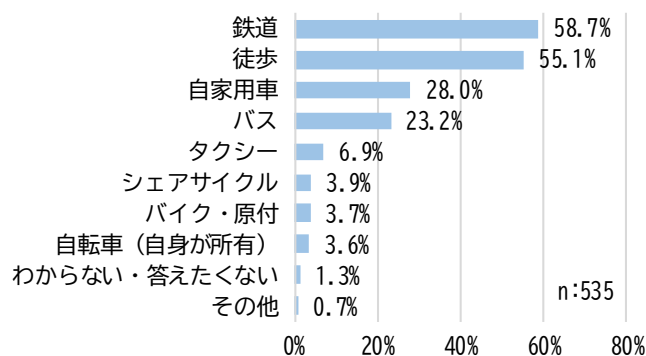
「山でのハイキング等」や「海でのマリンレジャー」を目的とする人も10%程度みられます。



問6 鎌倉市内での観光で利用している交通手段を教えてください。（複数回答）

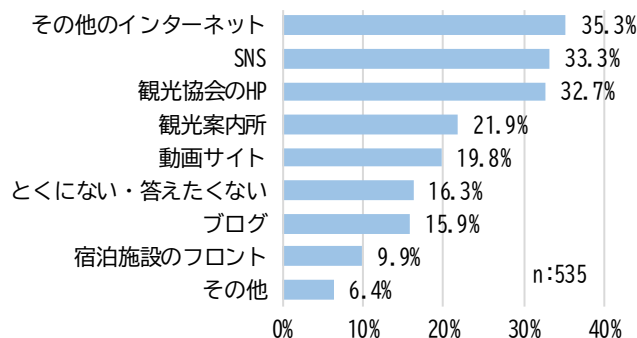
交通手段では「鉄道」が58.7%と最も多く利用されており、次いで「徒歩」が55.1%となっています。

「自家用車」で移動する観光客も28.0%います。



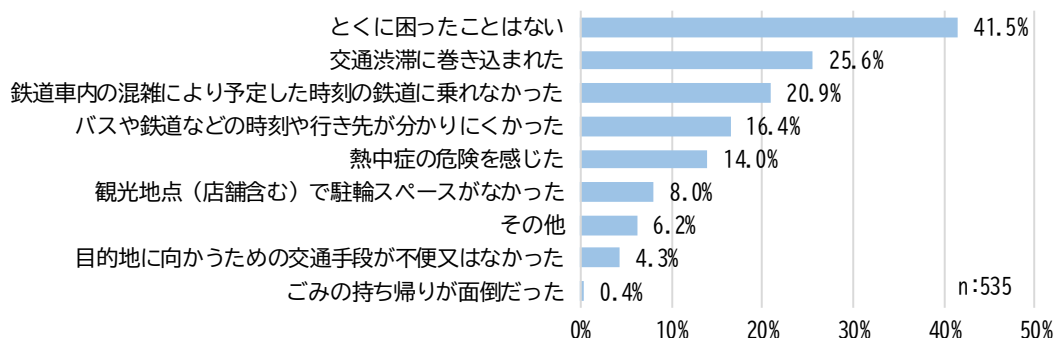
問7 鎌倉の観光情報はどこで入手していますか（複数回答）

観光情報は SNS、観光協会 HP などの WEB サイトで入手する人が 3 割以上となっています。



問8 鎌倉市の観光で困ったことで、あてはまるものはどれですか（複数回答）

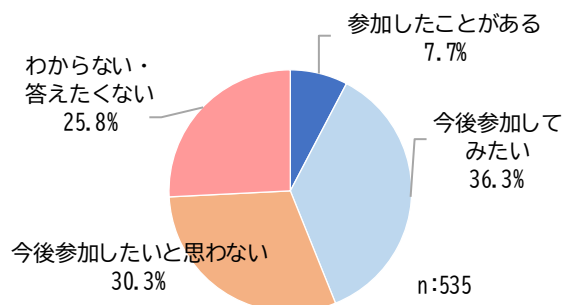
「交通渋滞に巻き込まれた」や「鉄道車内の混雑により予定した時刻の鉄道に乗れなかった」が 20% 以上から回答されています。



問9 鎌倉市では、市外在住の人でも参加可能な海の清掃・美化活動を行っています。参加したいとおもいますか。（単数回答）

クリーンアップかまくらなどの海の清掃・美化活動に「参加したことがある」人は 7.7% となっています。

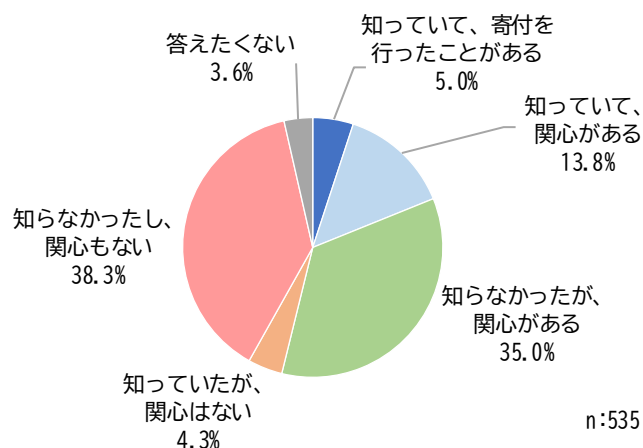
「今後参加してみたい」と回答した人が 36.3% います。



問 10 鎌倉市では、鎌倉スクールコラボファンド活用基金を設置し、鎌倉市内外の方々からの寄附金やふるさと納税を活用して、多様な企業・団体等とのコラボレーションによる学校教育活動を行っています。ご存じでしたか。(単数回答)

「知っていて、寄付を行ったことがある」人が5.0%います。

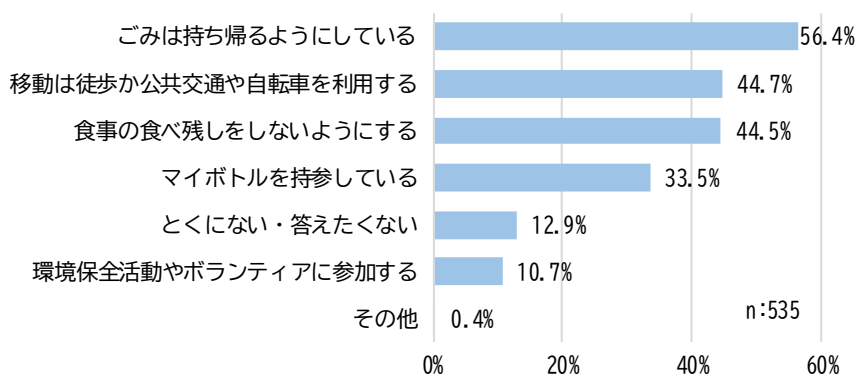
「知っていて、関心がある」が13.8%、「知らなかったが、関心がある」が35.0%と合わせて48.8%が関心を持っています。



問 11 鎌倉市に来訪した際に行っていることはありますか (複数回答)

「ごみは持ち帰るようにしている」が56.4%、「移動は徒歩か公共交通や自転車を利用する」が44.7%、「食事の食べ残しをしないようにする」が44.5%と半数近くが何らかの環境に配慮した行動を行っている状況です。

「環境保全活動やボランティアに参加する」は10.7%にとどまります。

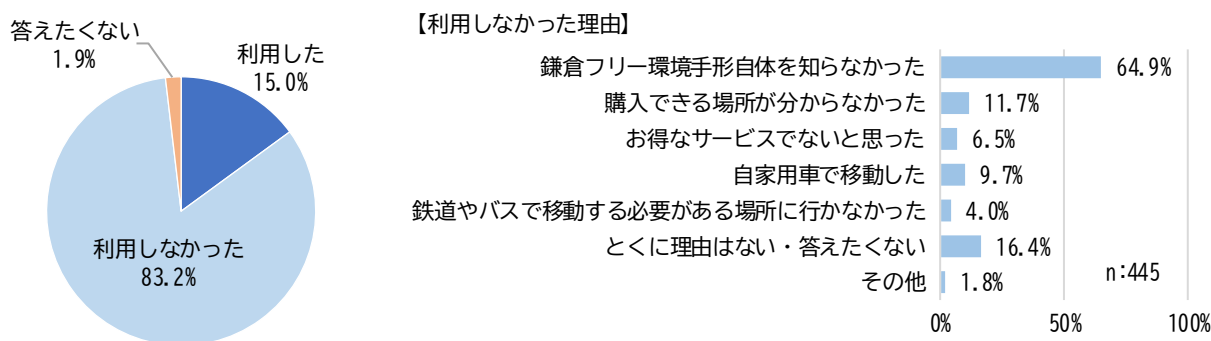


問 12 鎌倉市の観光で利用したサービスはありますか

鎌倉フリー環境手形の利用実績（単数回答）と利用しなかった理由（複数回答）

鎌倉フリー環境手形を「利用した」人が15.0%にとどまっています。

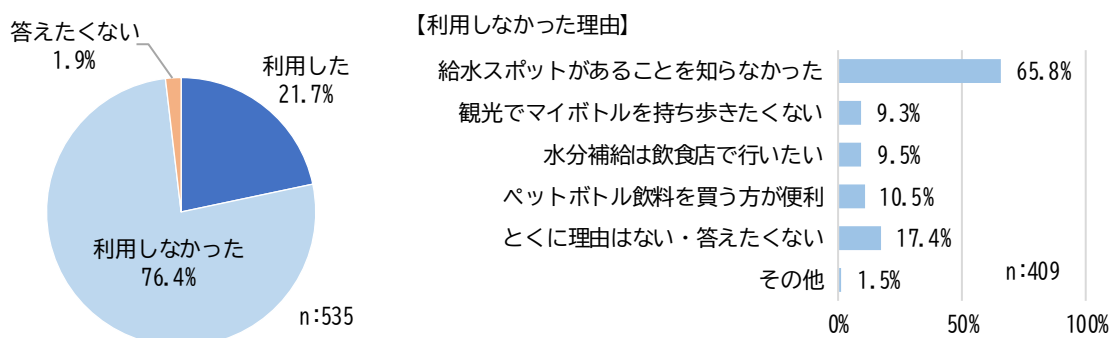
利用しなかった理由では「鎌倉フリー環境手形自体を知らなかった」が64.9%と最も多く回答されています。



マイボトル専用の給水スポットの利用実績（単数回答）と利用しなかった理由（複数回答）

マイボトル専用の給水スポットを「利用した」人は21.7%となっています。

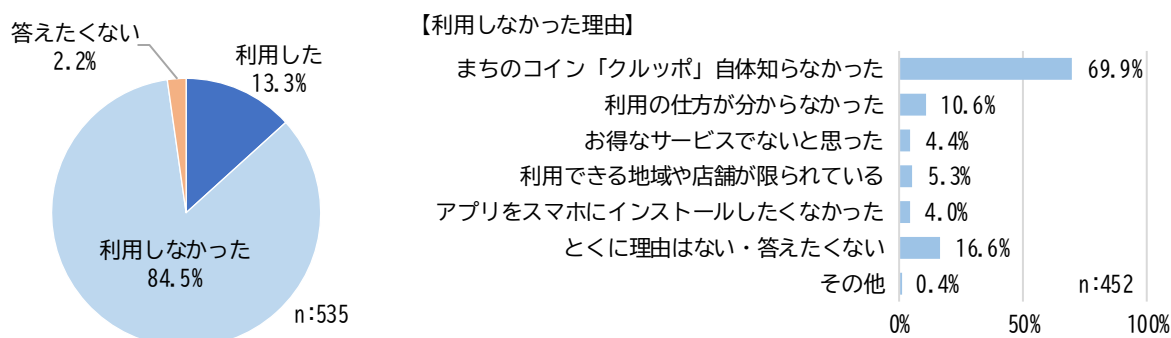
利用しなかった理由では「給水スポットがあることを知らなかった」が65.8%と最も多く回答されています。



まちのコイン「クルッポ」の利用実績（単数回答）と利用しなかった理由（複数回答）

まちのコイン「クルッポ」を「利用した」人は13.3%にとどまっています。

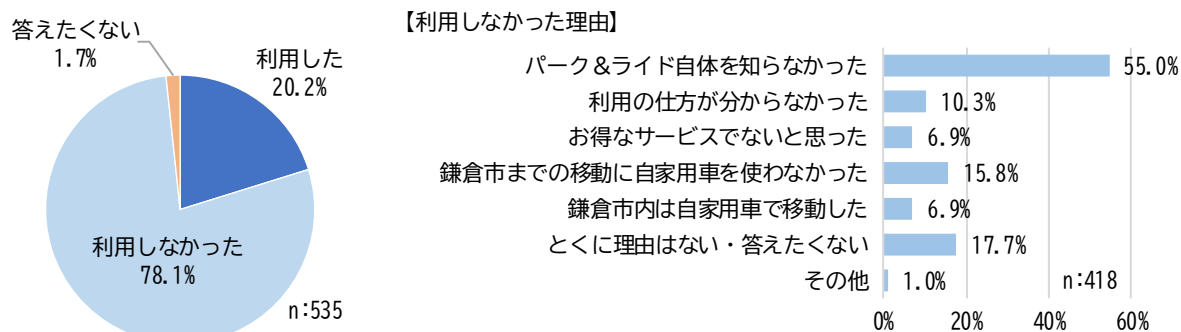
利用しなかった理由では「まちのコイン「クルッポ」自体知らなかった」が69.9%と最も多く回答されており、「利用の仕方が分からなかった」も10.6%から回答されています。



パーク＆ライドの利用実績（単数回答）と利用しなかった理由（複数回答）

パーク＆ライドを「利用した」人は20.2%となっています。

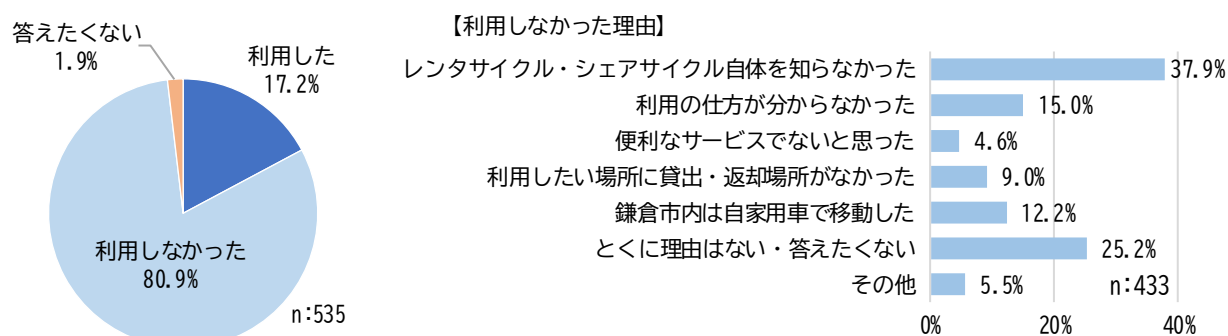
利用しなかった理由では「パーク＆ライド自体を知らなかった」が55.0%と最も多く回答されており、「利用の仕方が分からなかった」も10.3%から回答されています。



レンタサイクル・シェアサイクルの利用実績（単数回答）と利用しなかった理由（複数回答）

レンタサイクル・シェアサイクルを「利用した」人は17.2%となっています。

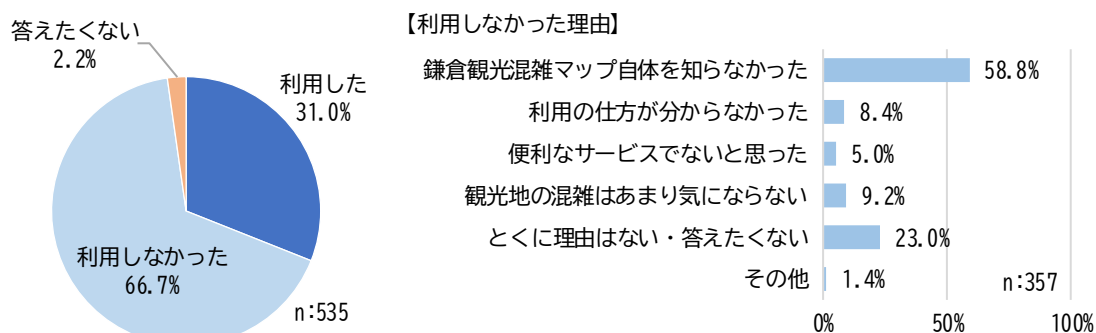
利用しなかった理由では「レンタサイクル・シェアサイクル自体を知らなかった」が37.9%と最も多く回答されており、「利用の仕方が分からなかった」も15.0%から回答されています。



鎌倉観光混雑マップの利用実績（単数回答）と利用しなかった理由（複数回答）

鎌倉観光混雑マップを「利用した」人は31.0%となっています。

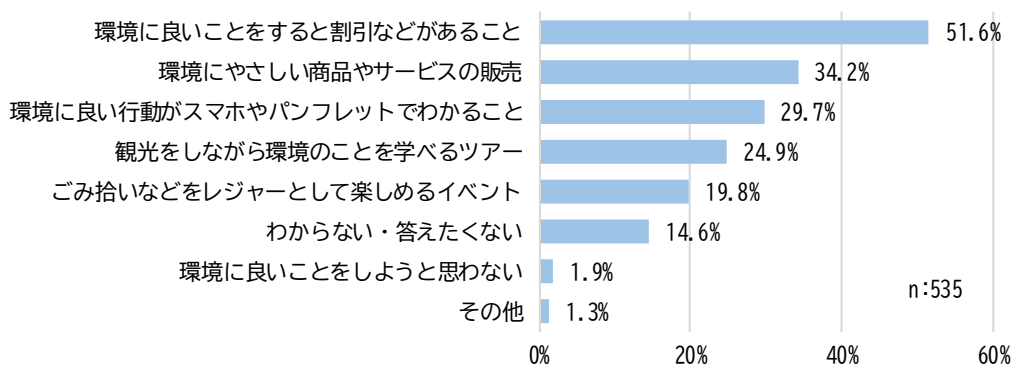
利用しなかった理由では「鎌倉観光混雑マップ自体を知らなかった」が58.8%と最も多く回答されており、「利用の仕方が分からなかった」も8.4%から回答されています。



問 13 どんなことがあると観光地で環境に良いことができますか（複数回答）

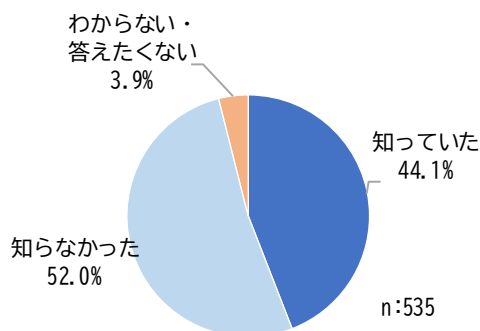
「環境に良いことをすると割引などがあること」が51.6%と最も多く回答されています。

「環境に良い行動がスマホやパンフレットでわかること」は29.7%から回答されています。



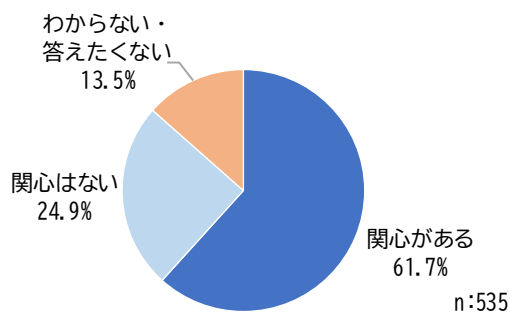
問 14 あなたは、エコツーリズムという言葉を知っていますか（単数回答）

エコツーリズムを「知っていた」人は44.1%でした。



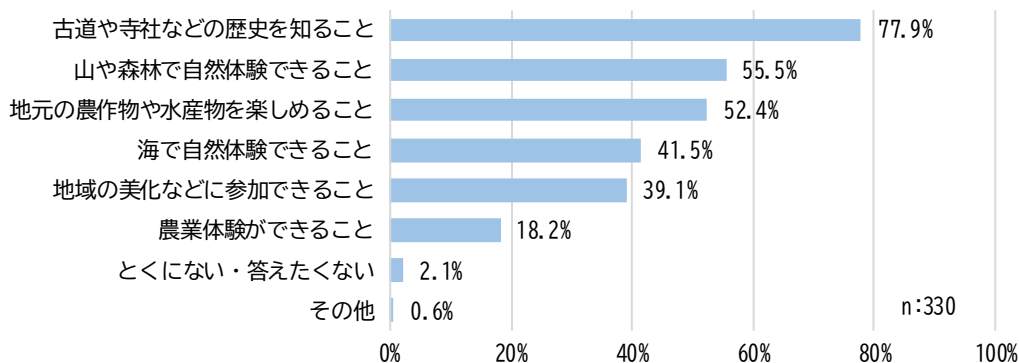
問 15 鎌倉市でのエコツーリズムに関心がありますか（単数回答）

鎌倉市でのエコツーリズムに「関心がある」人は61.7%でした。



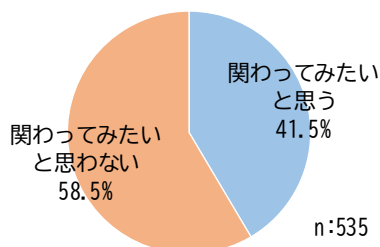
問 16 問 15 で鎌倉市でのエコツーリズムに関心があると回答した方にお聞きします
鎌倉市でのエコツーリズムで、できるとよいと思うことは何ですか（複数回答）

鎌倉市でのエコツーリズムに関心がある人が考える鎌倉市でのエコツーリズムで、できるとよいと思うことでは、「古道や寺社などの歴史を知ること」が 77.9%、「山や森林で自然体験できること」が 55.5%、「地元の農作物や水産物を楽しめること」が 52.4%となっています。



問 17 「Liqlid」に参加して新たな「鎌倉市環境基本計画」の策定に関わってみたいと思いますか（単数回答）

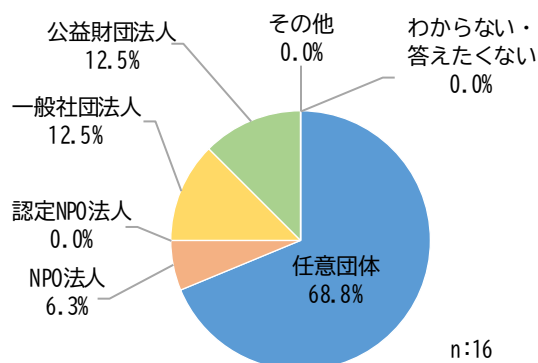
Liqlid に参加して鎌倉市環境基本計画の策定に「関わってみたいと思う」人が 41.5%となっています。



④環境団体等アンケート

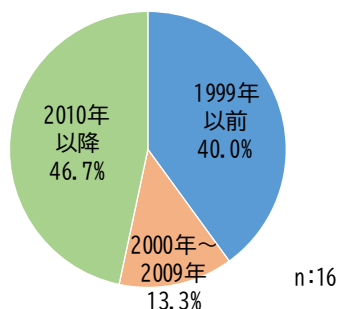
問1 貴団体の法人格を教えてください（単数回答）

68.8%が「任意団体」となっています。



問2 団体の設立年を教えてください（自由回答）

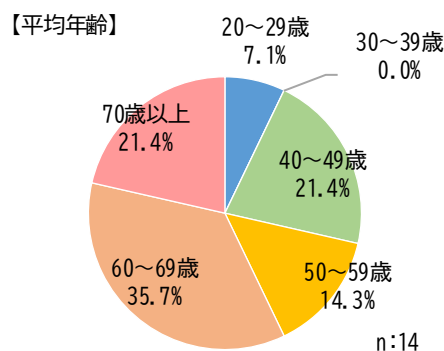
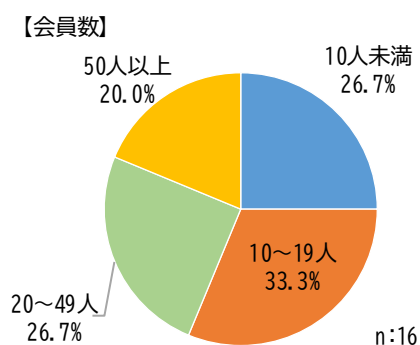
「2010年以降」設立の団体が46.7%、「1999年以前」設立の団体が40.0%となっています。



問3 団体の会員等の人数と平均年齢を教えてください（自由回答）

会員数では「10～19人」が33.3%、「20～49人」と「10人未満」が26.7%となっています。

会員の平均年齢では「60～69歳」が35.7%と最も大きな割合を占め、次いで「40～49歳」と「70歳以上」が21.4%となっています。



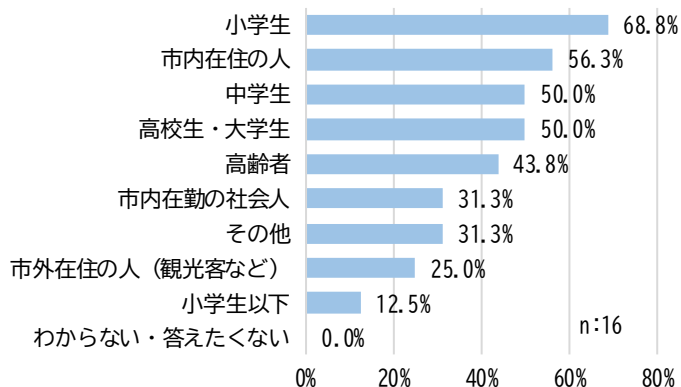
問4 鎌倉市での主な活動場所を教えてください（自由回答）

鎌倉市全域を活動場所に行っている団体や、特定の地区で活動している団体など様々です。

団体	活動場所
A	扇ガ谷
B	六国見山、台峯、岩瀬今泉の市境尾根など
C	NP0 センター大船
D	小中学校 各自治体
E	梶原山町内会
F	野村総研跡地 山ノ内台峯緑地
G	鎌倉市内の都市公園等
H	腰越地区
I	山崎
J	自治会や学校
K	十二所果樹園、御谷山林、建長寺回春院、東勝寺跡、大仏切通、朝夷奈切通、光則寺、浄光明寺、内藤家墓地及び材木座海岸
L	鎌倉市全域
M	全域
N	寺分周辺
O	大町
P	旧鎌倉地域の山・川・海

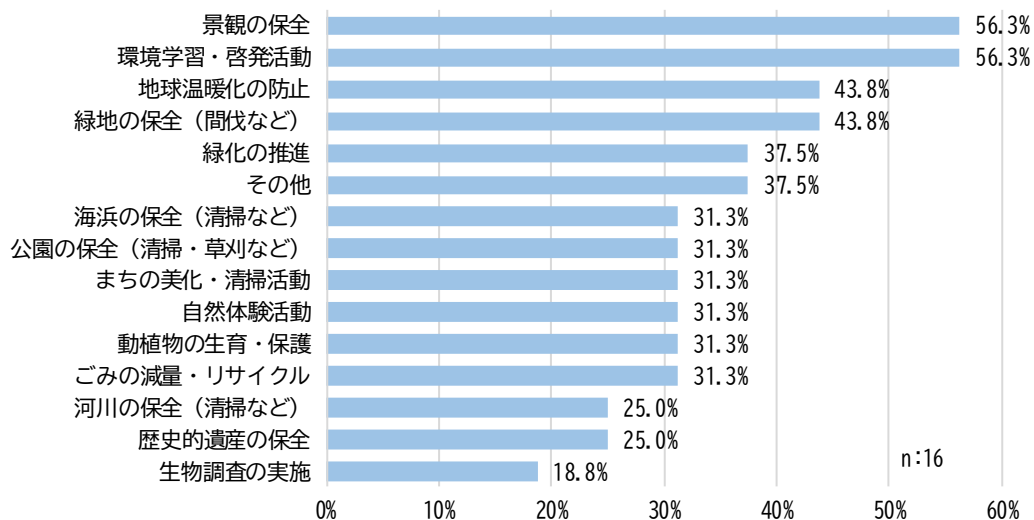
問5 環境に関する活動の参加者はどのような人を対象にしていますか（単数回答）

参加者の対象としては「小学生」が68.8%と最も多くなっています。



問6 実施している活動の内容を教えてください（複数回答）

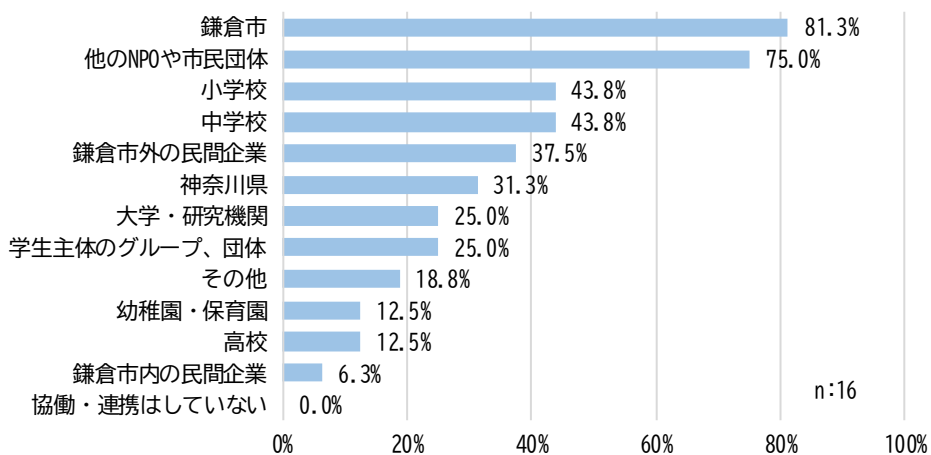
活動内容は「景観の保全」と「環境学習・啓発活動」が56.3%、「地球温暖化の防止」と「緑地の保全（間伐など）」が43.8%と様々なテーマの活動が行われています。



問7 最近3年間で、下記の団体等と協働・連携して活動を行ったことがありますか（複数回答）

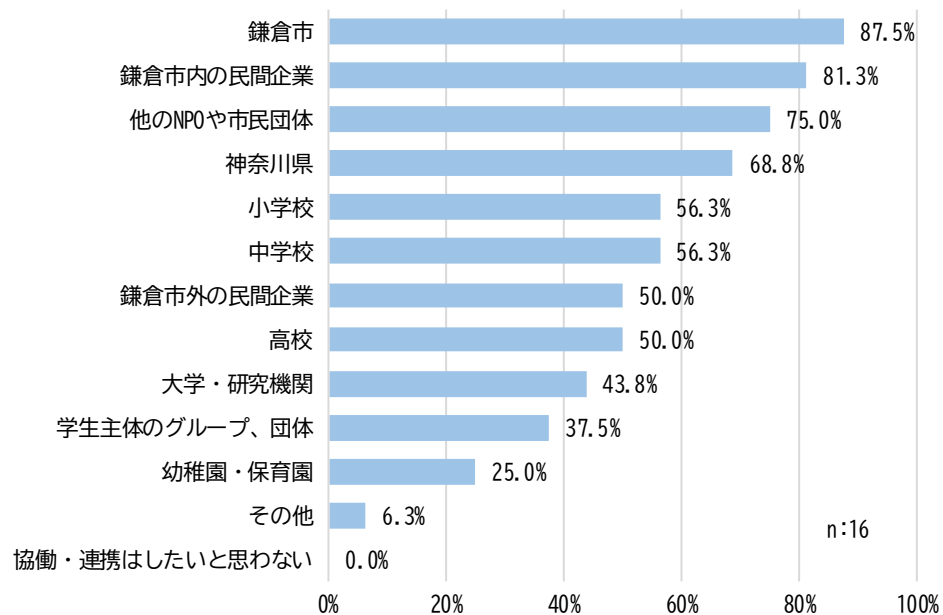
団体等との協働・連携の実績では「鎌倉市」が81.3%、「他のNPOや市民団体」が75.0%の環境団体で協働・連携したことがあります。

「鎌倉市内の民間企業」との連携・協働の実績は他の団体等に比べてあまり実績がありません。



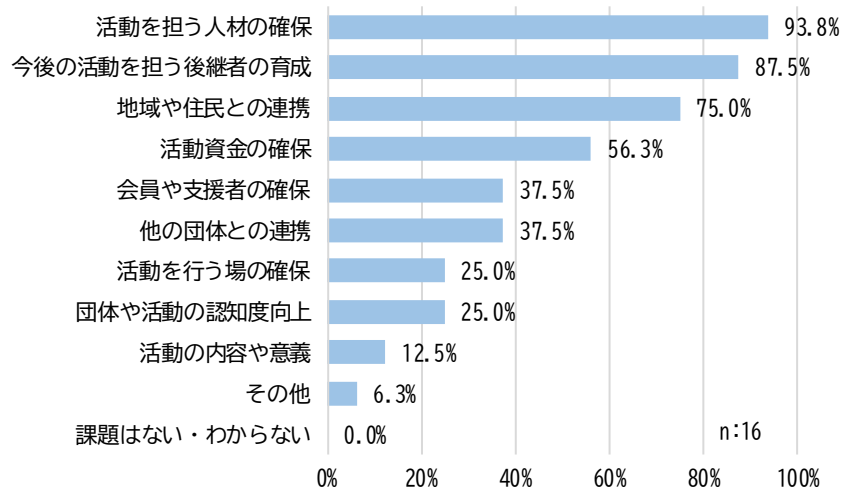
問8 今後、下記の団体等と協働・連携して活動を行いたいと思いますか（複数回答）

「鎌倉市」や「鎌倉市内の民間企業」との連携・協働についての希望が多く回答されています。



問9 活動を実施する上での課題は何ですか（複数回答）

「活動を担う人材の確保」が93.8%と最も多く、次いで「今後の活動を担う後継者の育成」が87.5%と人員不足や後継者の問題が課題となっています。



問 10 環境分野で、市が今後どのようなまちになるとよいと思いますか（自由回答）

自由回答の意見の中から、環境のテーマごとに抽出を行い、主な意見の概要として示します。

【脱炭素化や気候変動への適応に関する意見の抜粋】

- 市民の実践的な取組による実効性確保：脱炭素の暮らしを実現する為に、市民が家庭で省エネおよび再エネなどについて取組む上での普及啓発・広報活動に一層注力して、インセンティブを付与して実践活動に実効性を確保するようにして下さい。
- オール鎌倉での多面的な連携強化：脱炭素都市を実現する為に、産学官による企業・団体および教育機関等との連携および提携を一層強化して、鎌倉らしさのある独創的な取組を新たに創出して下さい。
- 新たなテーマおよび取組へのチャレンジ：脱炭素社会の到来に向けて、気候変動アクション、カーボンニュートラルおよびデコ活、RE100（再エネ 100%）、排出量取引、カーボンプライシング制度、グリーンボンド、GX、森林吸収など新たなテーマへの取組にチャレンジして下さい。
- 温暖化による気候の変化が著しく、台風の大型化や豪雨災害が頻繁に起こっています。鎌倉の知名度を活かして、全国だけでなく全世界に温暖化対策を訴える取組みを推進してほしい。
- 大規模自然災害に対応する備え（人的対応能力と体制）への不安。

【循環型社会に関する意見の抜粋】

- 環境について唱えるだけでなく、行動に移せる対策を本気で実施して欲しい。特に出たごみに処理でなく、ごみ問題の出口を少なくしたい。

【環境保全での連携に関する意見の抜粋】

- 新たな条例や政策立案について、パブリックコメントを実施する仕組みはありますが、せっかくの市民意見が活かされていないと感じます。市民団体と協働で政策立案をする仕組みを作してほしい。
- 鎌倉市は「御谷騒動」をはじめ、自然環境保全に関わる市民活動が日本でも最初期から始めていた土地柄なのですから、これからも自然環境保全関連の活動で日本各地をリードして欲しいものです。そしてこのようなアンケートを取るくらいには市内の市民活動団体が多いわけですから、その協力を得られれば、一つ一つからの協力は微々たるものでも、それをまとめあげれば大きな力となるはずです。もちろんそれにはまとめ役たる鎌倉市に頑張ってもらわないといけないわけですが、それだけの手間を掛ける価値はあろうかと考えます。わたしたちも弱小団体ながら、できる範囲での協力は惜しまないつもりです。

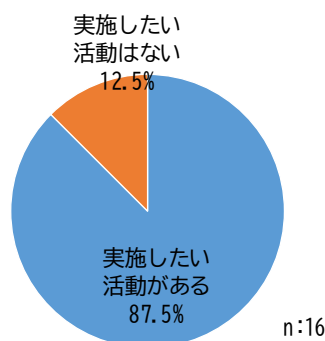
【鎌倉市の環境の将来像に関する意見の概要】

脱炭素化や気候変動適応に関連する災害対策、ごみ処理など各分野で実効性のある取組を推進することが求められています。

市民団体等との連携の強化を求める意見もありました。

問 11 貴団体として、鎌倉市の環境をより良いものにするために、今後実施したい活動はありますか。(単数回答)

今後実施したい活動がある団体が 87.5%となっています。



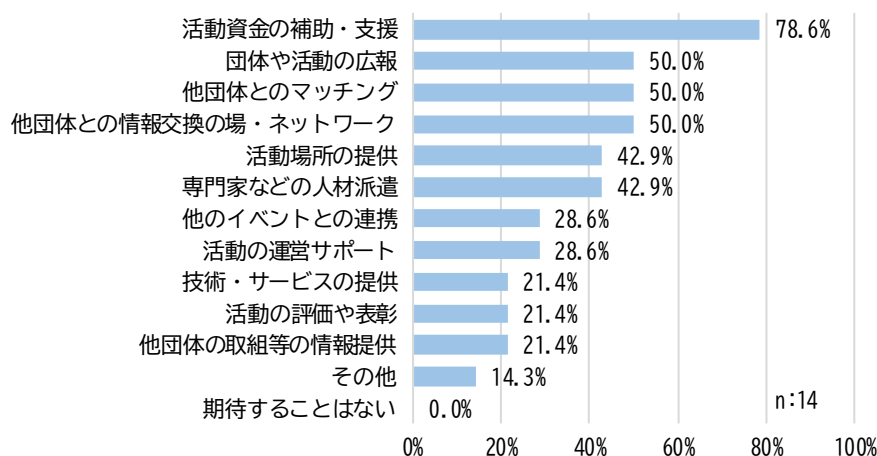
問 11-a 実施したい活動の具体的な内容を教えてください (自由回答)

今後実施したい活動の内容は以下のとおりです。

団体	実施したい活動の概要
A	他の自治体や環境団体を招いてのシンポジウムの開催、政策立案をするシンクタンクの設立、環境団体への寄付金を集める新たな仕組み作り
B	山道・里山の保全、広報・啓発活動、他の団体や地域との協働・連携
C	脱炭素社会の実現に向けたロードマップづくりと市民への普及啓発
D	先ずはごみの分別をパソコンで出来るゲームを鎌倉市全学校に配布したい、生ごみ処理機キー口を全学校への設置
F	他のエリアにおける竹林整備や外来植物、外来生物の除去
H	鎌倉の緑の保全を訴え続けたい
I	独自の活動の実施
J	鎌倉市の全小中学校と町内会へのごみ分別ゲームのソフト配布、電気を使わない生ごみ処理機を家庭に1台設置
K	材木座海岸における海岸清掃を行った後のマイクロプラスチックを採取する体験活動の拡大
L	ドローンを活用した市や各団体の活動のサポート、防災や災害時に市民の安全に寄与する活動。
M	責任ある消費
N	泣塔を中心とした歴史を次に繋げるための活動としての美化清掃活動、子どもたちに愛着をもってもらえるように努力したいです。
O	各自治会区域に小中高生で構成する子供たちのネットワーク「少年減災クラブ」の創設、自己目的化した従来の防災訓練を住民参加型（能動型）にシフト、防災訓練に「昼食を伴う対話機会を設ける」ことによる住民間に顔見知りの関係性の醸成
P	竹林の間伐材の活用に関する活動、市・県の竹林の間伐材の活用、川・海岸での環境、生態系の改善に向けた活動、市民サイドからの興味を広げていくためのリテラシー活動・エコツアーなどの展開

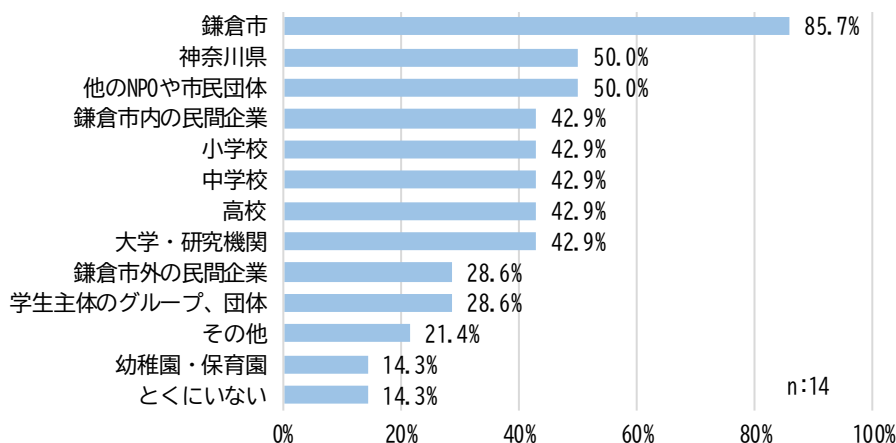
問 11-b その活動を実施する上で、期待することを教えてください（複数回答）

「活動資金の補助・支援」が最も多いほか、半数から「団体や活動の広報」、「他団体とのマッチング」、「他団体との情報交換の場・ネットワーク」が回答されました。



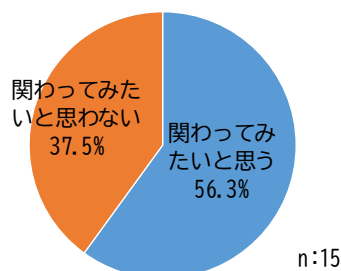
問 11-c その活動において連携したい相手はいますか（複数回答）

連携したい相手として「鎌倉市」が 85.7%と突出して多くなっています。



問 12 「Liqlid」に参加して「鎌倉市環境基本計画」の策定に関わってみたいと思いますか（単数回答）

Liqlid に参加して鎌倉市環境基本計画の策定に「関わってみたいと思う」団体が 56.3%となっています。



参考：市民アンケートのクロス集計

問7 鎌倉市の良いところはどこだと思いますか。(複数回答、最大3つまで)

【年齢階層別】

年齢によらず「歴史や文化が生活に溶け込んでいるところ」が最も多く回答されています。

「山の自然が豊かなところ」や「海の自然が豊かなところ」、「自然とふれあえる場があるところ」、「野鳥など、様々な生き物が生息しているところ」といった自然に関することも多く回答されています。

	18～29歳 (n:36)	30～39歳 (n:53)	40～49歳 (n:86)	50～59歳 (n:112)	60～69歳 (n:115)	70歳以上 (n:204)
歴史や文化が生活に溶け込んでいるところ	52.8%	47.2%	48.8%	55.4%	53.9%	48.5%
山の自然が豊かなところ	38.9%	45.3%	47.7%	38.4%	28.7%	26.5%
海の自然が豊かなところ	33.3%	35.8%	38.4%	37.5%	32.2%	24.5%
自然とふれあえる場があるところ	22.2%	17.0%	27.9%	23.2%	33.0%	31.9%
野鳥など、様々な生き物が生息しているところ	13.9%	13.2%	20.9%	15.2%	33.0%	34.8%
美しい景観やまちなみがあるところ	33.3%	24.5%	24.4%	29.5%	27.0%	13.2%
横浜市や東京都へのアクセスがよいところ	22.2%	17.0%	15.1%	27.7%	19.1%	21.1%
市内への移動に不便がないところ	19.4%	15.1%	8.1%	13.4%	19.1%	22.5%
空気がきれいなところ	5.6%	9.4%	11.6%	8.9%	14.8%	20.1%
NPOや市民団体の活動が活発なところ	5.6%	9.4%	5.8%	8.9%	5.2%	12.3%
ごみの散乱や落書きのないまちであるところ	5.6%	7.5%	7.0%	6.3%	7.8%	11.3%
安心・安全に暮らせるところ	5.6%	9.4%	11.6%	7.1%	7.8%	6.9%
商店等、生活に必要な施設が充実しているところ	8.3%	11.3%	1.2%	3.6%	5.2%	10.3%
地域のコミュニティのつながりが強いところ	8.3%	5.7%	7.0%	3.6%	0.9%	5.4%
リサイクルが進んでいるところ	2.8%	3.8%	2.3%	1.8%	4.3%	7.4%
川や海がきれいなところ	8.3%	3.8%	2.3%	1.8%	5.2%	4.4%
とくになし	2.8%	3.8%	4.7%	2.7%	0.9%	2.0%
再エネの導入など環境にやさしいまちづくりが進んでいるところ	0.0%	3.8%	2.3%	0.0%	0.9%	1.0%
その他	0.0%	1.9%	0.0%	1.8%	0.9%	0.0%
教育環境が整っているところ	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.9%	0.5%
エネルギーの有効活用が進んでいるところ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%
水資源の有効活用が進んでいるところ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%

【居住地別】

居住地によらず「歴史や文化が生活に溶け込んでいるところ」が最も多く回答されています。

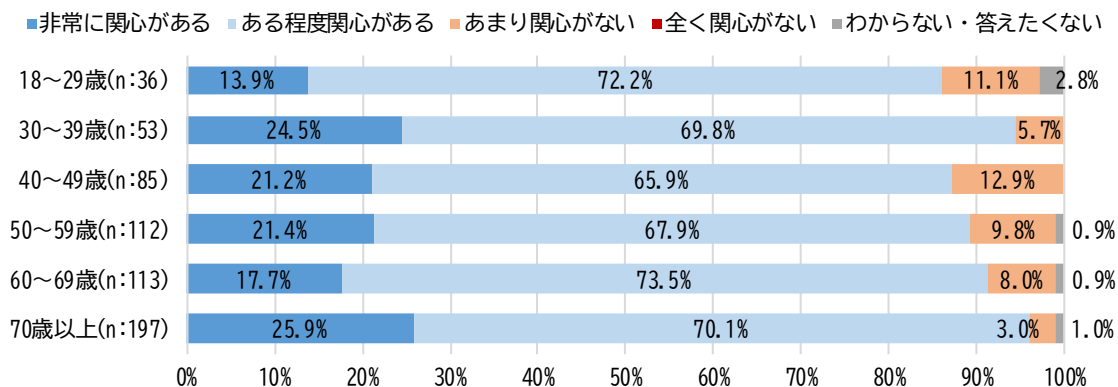
大船地区では「海の自然が豊かなところ」の回答率が他の地域に比べて低く、腰越地区では「山の自然が豊かなところ」の回答率が低いなど、地区による違いもあります。

	鎌倉地区 (n:232)	大船地区 (n:143)	玉縄地区 (n:83)	腰越地区 (n:66)	深沢地区 (n:68)
歴史や文化が生活に溶け込んでいるところ	56.5%	49.0%	50.6%	47.0%	47.1%
山の自然が豊かなところ	36.2%	32.2%	34.9%	22.7%	42.6%
海の自然が豊かなところ	39.2%	16.8%	31.3%	42.4%	30.9%
自然とふれあえる場があるところ	27.6%	30.1%	24.1%	31.8%	29.4%
野鳥など、様々な生き物が生息しているところ	32.3%	17.5%	18.1%	31.8%	25.0%
美しい景観やまちなみがあるところ	23.7%	21.7%	22.9%	25.8%	19.1%
横浜市や東京都へのアクセスがよいところ	18.1%	21.7%	31.3%	19.7%	16.2%
市内への移動に不便がないところ	10.8%	26.6%	24.1%	6.1%	19.1%
空気がきれいなところ	15.9%	11.2%	9.6%	19.7%	11.8%
NP0や市民団体の活動が活発なところ	4.3%	14.7%	14.5%	3.0%	10.3%
ごみの散乱や落書きのないまちであるところ	4.7%	11.2%	9.6%	10.6%	8.8%
安心・安全に暮らせるところ	8.6%	9.8%	6.0%	4.5%	5.9%
商店等、生活に必要な施設が充実しているところ	4.7%	12.6%	6.0%	1.5%	5.9%
地域のコミュニティのつながりが強いところ	6.0%	2.8%	6.0%	4.5%	2.9%
リサイクルが進んでいるところ	3.4%	3.5%	4.8%	9.1%	5.9%
川や海がきれいなところ	3.9%	2.8%	4.8%	6.1%	2.9%
とくになし	3.0%	1.4%	3.6%	1.5%	2.9%
再エネの導入など環境にやさしいまちづくりが進んでいるところ	1.7%	1.4%	0.0%	0.0%	1.5%
その他	1.3%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%
教育環境が整っているところ	0.0%	1.4%	1.2%	0.0%	0.0%
エネルギーの有効活用が進んでいるところ	0.0%	0.0%	1.2%	1.5%	0.0%
水資源の有効活用が進んでいるところ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%

問8 あなたは環境問題に関心がありますか。(単数回答)

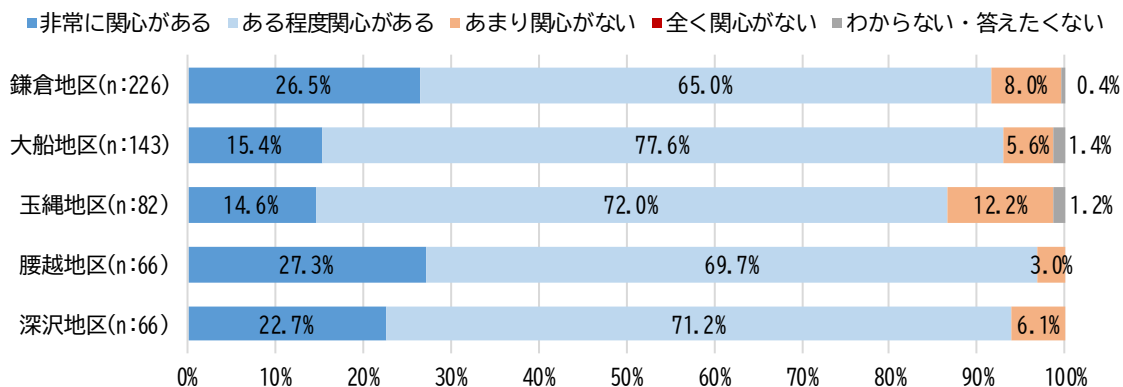
【年齢階層別】

年齢によらず「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」の合計値が8割以上となっています。



【居住地別】

居住地によらず「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」の合計値が8割以上となっています。



問9 環境問題に関する情報はどこから得ることが多いですか。(複数回答)

【年齢層別】

年齢によらず「テレビ」が最も多く回答されています。

「鎌倉市の広報誌」や「新聞」は年齢層が高いほど、回答率が高くなっています。

60歳未満の年齢層では「その他インターネット」や「行政以外のHP・SNS」と回答する人が2～3割程度います。

	18～29歳 (n:36)	30～39歳 (n:53)	40～49歳 (n:86)	50～59歳 (n:112)	60～69歳 (n:115)	70歳以上 (n:204)
テレビ	72.2%	60.4%	65.1%	73.2%	71.3%	77.9%
鎌倉市の広報誌	8.3%	20.8%	22.1%	29.5%	33.0%	57.4%
新聞	16.7%	13.2%	14.0%	29.5%	38.3%	57.4%
その他のインターネット	22.2%	32.1%	30.2%	30.4%	17.4%	11.3%
雑誌・書籍	16.7%	22.6%	15.1%	22.3%	17.4%	18.6%
行政以外のHP・SNS	19.4%	28.3%	24.4%	12.5%	8.7%	3.9%
ラジオ	0.0%	7.5%	8.1%	13.4%	8.7%	14.2%
動画サイト	16.7%	17.0%	19.8%	11.6%	8.7%	4.4%
鎌倉市のホームページ	2.8%	5.7%	3.5%	7.1%	7.8%	15.2%
環境省や県のHP・SNS	2.8%	11.3%	8.1%	5.4%	6.1%	6.9%
パンフレット・チラシ	2.8%	3.8%	4.7%	6.3%	4.3%	9.8%
勤務先・取引先	2.8%	11.3%	8.1%	13.4%	3.5%	1.5%
家族から	8.3%	7.5%	7.0%	7.1%	6.1%	2.5%
鎌倉市公式LINE	2.8%	9.4%	7.0%	3.6%	3.5%	5.4%
web掲示板	8.3%	1.9%	1.2%	4.5%	5.2%	2.0%
個人のブログ	2.8%	1.9%	2.3%	6.3%	2.6%	1.0%
その他	0.0%	1.9%	3.5%	0.9%	2.6%	2.9%
学校の授業、講義	27.8%	3.8%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない・答えたくない	0.0%	0.0%	2.3%	1.8%	0.9%	2.0%

【居住地別】

居住地によらず「テレビ」が最も多く回答されており、次いで「新聞」又は「鎌倉市の広報誌」が多く回答されています。

	鎌倉地区 (n:232)	大船地区 (n:143)	玉縄地区 (n:83)	腰越地区 (n:66)	深沢地区 (n:68)
テレビ	70.3%	78.3%	72.3%	75.8%	63.2%
鎌倉市の広報誌	38.4%	34.3%	32.5%	43.9%	35.3%
新聞	36.6%	32.2%	33.7%	48.5%	35.3%
その他のインターネット	24.1%	14.7%	18.1%	22.7%	27.9%
雑誌・書籍	23.7%	11.9%	12.0%	22.7%	19.1%
行政以外のHP・SNS	11.6%	14.0%	14.5%	15.2%	7.4%
ラジオ	11.6%	7.7%	10.8%	10.6%	13.2%
動画サイト	11.2%	6.3%	9.6%	12.1%	14.7%
鎌倉市のホームページ	11.2%	9.8%	4.8%	6.1%	11.8%
環境省や県のHP・SNS	5.2%	4.9%	6.0%	12.1%	13.2%
パンフレット・チラシ	7.8%	2.8%	3.6%	13.6%	7.4%
勤務先・取引先	5.6%	9.1%	7.2%	1.5%	2.9%
家族から	6.5%	4.9%	2.4%	9.1%	4.4%
鎌倉市公式LINE	6.0%	4.2%	6.0%	3.0%	5.9%
web掲示板	3.4%	2.8%	4.8%	3.0%	1.5%
個人のブログ	2.2%	3.5%	3.6%	1.5%	1.5%
その他	3.4%	1.4%	0.0%	3.0%	1.5%
学校の授業、講義	0.4%	1.4%	6.0%	1.5%	5.9%
わからない・答えたくない	0.9%	1.4%	1.2%	1.5%	2.9%

問 11 あなたは下記の取組を実施していますか。(複数回答)

【年齢層別】

年齢によらず「ごみの削減や分別を行っている」が最も多く回答されており、次いで「節電や省エネを行っている」が多く回答されています。

「ごみの削減や分別を行っている」などの一部の取組を除いて、18～29歳の取組の実施率は他の年齢層に比べて低い傾向があります。

18～29歳、30～39歳、40～49歳では「SNS等で環境に関する情報をチェックしている」が2割弱から回答されている一方で、50～59歳、60～69歳、70歳以上では1割未満となっています。

	18～29歳 (n:36)	30～39歳 (n:53)	40～49歳 (n:86)	50～59歳 (n:112)	60～69歳 (n:115)	70歳以上 (n:204)
ごみの削減や分別を行っている	80.6%	77.4%	72.1%	81.3%	80.9%	83.3%
節電や省エネを行っている	44.4%	54.7%	53.5%	65.2%	60.0%	71.6%
排水に気を付けている（廃油をそのまま流さない等）	22.2%	43.4%	50.0%	51.8%	51.3%	56.4%
節水に気を付けている	44.4%	37.7%	33.7%	50.9%	37.4%	50.0%
製品のリユースや、ものを大事に長年使っている	27.8%	45.3%	45.3%	42.9%	40.0%	46.6%
省エネ型の製品を購入している	22.2%	45.3%	37.2%	44.6%	40.9%	35.8%
自宅や周辺の緑化（花壇づくりなど）をしている	13.9%	26.4%	16.3%	20.5%	33.0%	42.2%
自動車の利用を控え、公共交通や自転車で移動している	16.7%	41.5%	25.6%	30.4%	25.2%	30.4%
選挙の際、候補者の環境問題への認識を確認する	16.7%	22.6%	14.0%	15.2%	15.7%	19.1%
電気自動車や低燃費車を自家用車にしている	8.3%	20.8%	15.1%	16.1%	20.0%	10.3%
環境保全に積極的な企業の製品を購入・使用している	11.1%	15.1%	14.0%	10.7%	8.7%	10.8%
環境に対する思いや考えを他の人と共有している	2.8%	5.7%	10.5%	8.0%	9.6%	14.7%
SNS等で環境に関する情報をチェックしている	16.7%	18.9%	17.4%	6.3%	7.0%	4.9%
再生可能エネルギーを利用している	2.8%	3.8%	10.5%	11.6%	9.6%	6.9%
地域の環境を守る活動に参加している	5.6%	1.9%	4.7%	0.9%	4.3%	8.8%
歴史・文化保全的な講座に参加する	2.8%	1.9%	1.2%	0.9%	2.6%	5.9%
とくにない	2.8%	3.8%	4.7%	2.7%	2.6%	2.0%
その他	0.0%	1.9%	1.2%	3.6%	0.9%	1.5%

【居住地別】

年齢によらず「ごみの削減や分別を行っている」が最も多く回答されており、次いで「節電や省エネを行っている」と「排水に気を付けている（廃油をそのまま流さない等）」が多く回答されています。

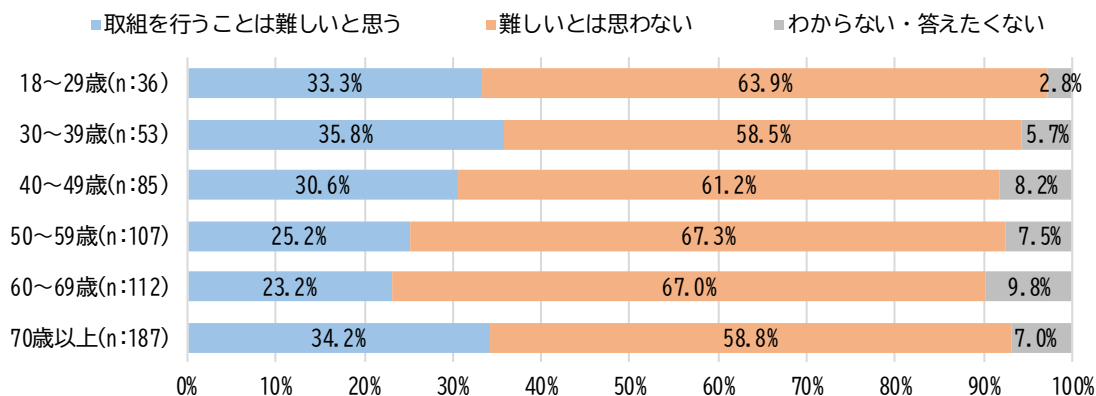
大船地区や玉縄地区では、「自宅や周辺の緑化（花壇づくりなど）をしている」が他の地区より低いといった違いもあります。

	鎌倉地区 (n:232)	大船地区 (n:143)	玉縄地区 (n:83)	腰越地区 (n:66)	深沢地区 (n:68)
ごみの削減や分別を行っている	80.2%	83.2%	77.1%	83.3%	73.5%
節電や省エネを行っている	66.8%	55.2%	63.9%	65.2%	60.3%
排水に気を付けている（廃油をそのまま流さない等）	52.6%	49.7%	44.6%	54.5%	50.0%
節水に気を付けている	46.6%	39.9%	42.2%	53.0%	41.2%
製品のリユースや、ものを大事に長年使っている	45.3%	43.4%	38.6%	51.5%	35.3%
省エネ型の製品を購入している	36.6%	42.0%	32.5%	42.4%	45.6%
自宅や周辺の緑化（花壇づくりなど）をしている	34.1%	18.2%	19.3%	45.5%	36.8%
自動車の利用を控え、公共交通や自転車移動している	31.9%	30.8%	24.1%	31.8%	22.1%
選挙の際、候補者の環境問題への認識を確認する	20.3%	13.3%	10.8%	22.7%	14.7%
電気自動車や低燃費車を自家用車にしている	11.2%	14.7%	16.9%	16.7%	23.5%
環境保全に積極的な企業の製品を購入・使用している	14.2%	7.0%	7.2%	12.1%	13.2%
環境に対する思いや考えを他の人と共有している	10.8%	8.4%	7.2%	15.2%	8.8%
SNS等で環境に関する情報をチェックしている	10.3%	6.3%	8.4%	10.6%	13.2%
再生可能エネルギーを利用している	9.9%	4.2%	7.2%	13.6%	5.9%
地域の環境を守る活動に参加している	6.5%	3.5%	2.4%	4.5%	7.4%
歴史・文化保全的な講座に参加する	2.6%	4.2%	1.2%	3.0%	4.4%
とくにない	2.6%	2.1%	2.4%	1.5%	4.4%
その他	3.0%	0.0%	2.4%	0.0%	1.5%

問 12 環境に関する取組を行うことは難しいと思いますか。(単数回答)

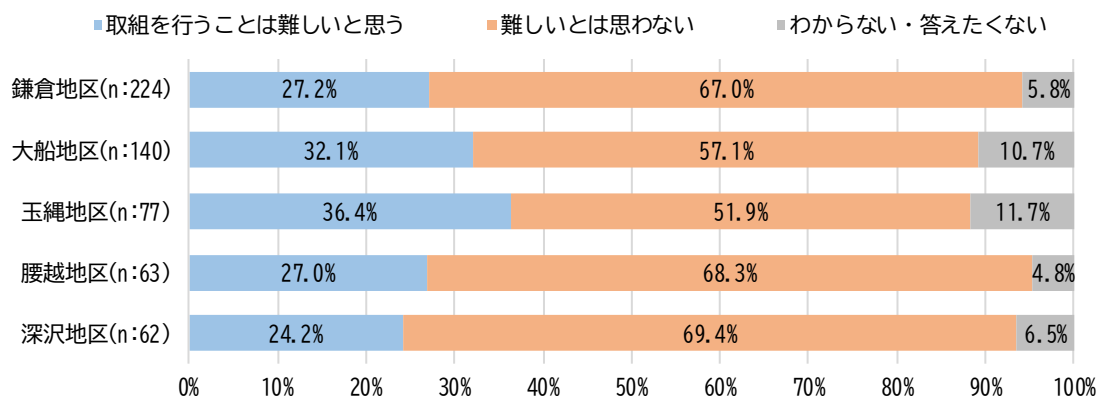
【年齢層別】

50～59 歳と 60～69 歳の年齢層は、他の年齢層に比べて環境に関する取組を行うことが「難しいとは思わない」の割合が高くなっています。



【居住地別】

玉縄地区と大船地区では、他の地区に比べて環境に関する「取組を行うことは難しいと思う」の割合が高くなっています。

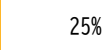
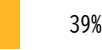
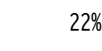
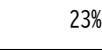


問 12-a 環境に関する取組を行うことが難しいと思う理由を教えてください。
(複数回答)

【年齢層別】

30～39 歳では、「個人だけで取り組むことがむずかしい」と「経済的な余裕がない」、「時間的な余裕がない」が同率で 1 位となっています。

それ以外の年齢層では「個人だけで取り組むことがむずかしい」が最も多く回答されています。

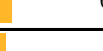
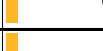
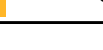
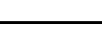
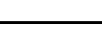
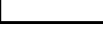
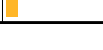
	18～29歳 (n:12)	30～39歳 (n:19)	40～49歳 (n:26)	50～59歳 (n:27)	60～69歳 (n:26)	70歳以上 (n:64)
個人だけで取り組むことがむずかしい	 67%	 42%	 54%	 48%	 85%	 63%
取組を行っても効果があるのかわからない	 33%	 26%	 46%	 37%	 35%	 25%
何をすればよいのかわからない	 42%	 37%	 27%	 19%	 12%	 39%
経済的な余裕がない	 17%	 42%	 42%	 30%	 15%	 22%
時間的な余裕がない	 25%	 42%	 27%	 22%	 15%	 23%
通常取組より手間がかかる	 17%	 21%	 19%	 19%	 8%	 9%
とくに理由はない・答えたくない	 0%	 0%	 4%	 4%	 4%	 0%

【居住地別】

地区によらず、「個人だけで取り組むことがむずかしい」が最も多く回答されています。

玉縄地区、腰越地区では「取組を行っても効果があるのかわからない」が他の地区よりも回答率が高くなっています。

腰越地区、深沢地区では「経済的な余裕がない」が他の地区よりも回答率が高くなっています。

	鎌倉地区 (n:61)	大船地区 (n:45)	玉縄地区 (n:28)	腰越地区 (n:17)	深沢地区 (n:15)
個人だけで取り組むことがむずかしい	 59.0%	 62.2%	 50.0%	 70.6%	 73.3%
取組を行っても効果があるのかわからない	 26.2%	 26.7%	 42.9%	 52.9%	 26.7%
何をすればよいのかわからない	 32.8%	 28.9%	 28.6%	 29.4%	 26.7%
経済的な余裕がない	 19.7%	 20.0%	 32.1%	 41.2%	 46.7%
時間的な余裕がない	 19.7%	 26.7%	 32.1%	 23.5%	 33.3%
通常取組より手間がかかる	 6.6%	 22.2%	 17.9%	 23.5%	 6.7%
とくに理由はない・答えたくない	 3.3%	 0.0%	 0.0%	 0.0%	 6.7%

問 13 環境に関して、本市で重点的に取り組むべきだと思うことは次のうちどれですか。
(複数回答、最大3つまで)

【年齢層別】

18～29 歳では「公園や緑地を整備・保全すること」と「まちの景観を守ること」が47.2%と最も多く回答されています。

30～39 歳では「気候変動に適応すること」と「公園や緑地を整備・保全すること」が43.4%と最も多く回答されています。

40～49 歳では「公園や緑地を整備・保全すること」が40.7%と最も多く回答されています。

50～59 歳、60～69 歳、70 歳以上では「気候変動に適応すること」が最も多く回答されています。

	18～29歳 (n:36)	30～39歳 (n:53)	40～49歳 (n:86)	50～59歳 (n:112)	60～69歳 (n:115)	70歳以上 (n:204)
気候変動に適応すること	 41.7%	 43.4%	 39.5%	 42.0%	 40.0%	 36.3%
歴史的な遺産を守ること	 41.7%	 37.7%	 40.7%	 37.5%	 32.2%	 30.4%
公園や緑地を整備・保全すること	 47.2%	 43.4%	 26.7%	 27.7%	 24.3%	 33.3%
まちの景観を守ること	 47.2%	 26.4%	 33.7%	 24.1%	 29.6%	 27.5%
ごみを減らしたり、リサイクルをすること	 8.3%	 20.8%	 18.6%	 20.5%	 33.0%	 31.9%
水質汚濁・土壌汚染を防止すること	 16.7%	 26.4%	 16.3%	 22.3%	 16.5%	 18.6%
二酸化炭素を減らすこと	 13.9%	 9.4%	 15.1%	 17.9%	 21.7%	 21.1%
ごみの散乱や落書きをなくすこと	 30.6%	 17.0%	 14.0%	 17.9%	 19.1%	 14.2%
野生動植物やその生息地を守ること	 13.9%	 15.1%	 17.4%	 17.9%	 13.0%	 11.3%
再生可能エネルギーを利用すること	 0.0%	 11.3%	 12.8%	 12.5%	 11.3%	 12.7%
大気汚染を防止すること	 8.3%	 7.5%	 10.5%	 10.7%	 8.7%	 12.3%
騒音を減らすこと	 11.1%	 9.4%	 9.3%	 8.0%	 7.8%	 10.3%
災害時のごみを適切に処理すること	 0.0%	 1.9%	 8.1%	 10.7%	 8.7%	 11.8%
水を大切に使うこと	 5.6%	 5.7%	 4.7%	 4.5%	 5.2%	 14.7%
環境に関する知識や環境に良い行動を学ぶこと	 0.0%	 1.9%	 7.0%	 8.9%	 7.0%	 9.3%
その他	 2.8%	 7.5%	 3.5%	 2.7%	 6.1%	 4.9%
自然と触れ合うこと	 0.0%	 7.5%	 3.5%	 1.8%	 2.6%	 4.9%
とくにない	 0.0%	 0.0%	 0.0%	 1.8%	 1.7%	 0.5%

【居住地別】

居住地によらず「気候変動に適応すること」、「歴史的な遺産を守ること」「公園や緑地を整備・保全すること」、「まちの景観を守ること」の回答率が高くなっています。

鎌倉地区では「ごみの散乱や落書きをなくすこと」の回答率が他の地区に比べて高くなっています。

腰越地区では「二酸化炭素を減らすこと」の回答率が他の地区に比べて高くなっています。

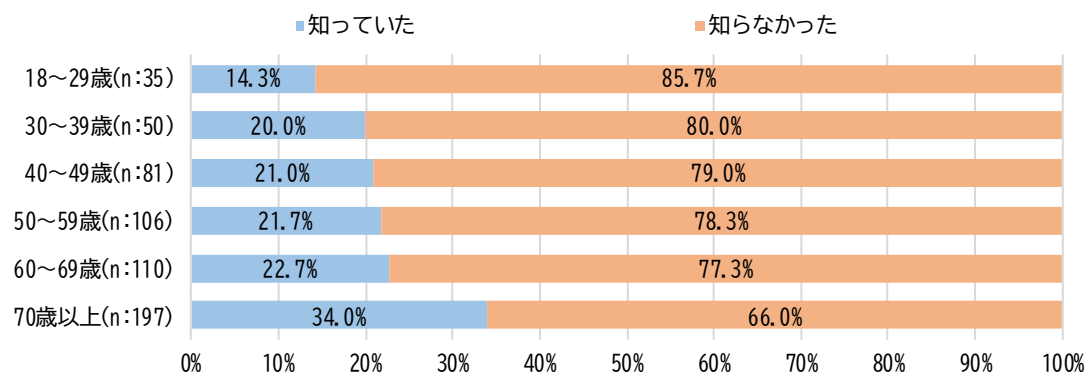
	鎌倉地区 (n:232)	大船地区 (n:143)	玉縄地区 (n:83)	腰越地区 (n:66)	深沢地区 (n:68)
気候変動に適応すること	36.6%	42.0%	43.4%	36.4%	38.2%
歴史的な遺産を守ること	37.9%	32.9%	37.3%	25.8%	36.8%
公園や緑地を整備・保全すること	32.3%	33.6%	20.5%	25.8%	39.7%
まちの景観を守ること	34.1%	25.2%	28.9%	30.3%	26.5%
ごみを減らしたり、リサイクルをすること	23.3%	31.5%	24.1%	33.3%	16.2%
水質汚濁・土壌汚染を防止すること	14.7%	25.2%	16.9%	25.8%	19.1%
二酸化炭素を減らすこと	16.8%	16.1%	19.3%	27.3%	19.1%
ごみの散乱や落書きをなくすこと	23.7%	16.8%	9.6%	9.1%	13.2%
野生動植物やその生息地を守ること	15.9%	10.5%	9.6%	21.2%	17.6%
再生可能エネルギーを利用すること	12.9%	9.1%	9.6%	15.2%	10.3%
大気汚染を防止すること	9.1%	11.2%	13.3%	10.6%	10.3%
騒音を減らすこと	10.8%	10.5%	4.8%	10.6%	5.9%
災害時のごみを適切に処理すること	8.2%	14.0%	8.4%	0.0%	10.3%
水を大切に使うこと	11.6%	5.6%	4.8%	10.6%	4.4%
環境に関する知識や環境に良い行動を学ぶこと	7.8%	9.8%	0.0%	6.1%	8.8%
その他	6.9%	2.1%	1.2%	4.5%	7.4%
自然と触れ合うこと	4.3%	1.4%	2.4%	3.0%	7.4%
とくにない	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%

問 14 鎌倉市は、市民や事業者のみなさまのご協力によって、リサイクル率が全国トップです。このことをご存じでしたか。(単数回答)

【年齢層別】

18～29 歳は「知っていた」の割合が他の年齢層に比べて特に低くなっています。

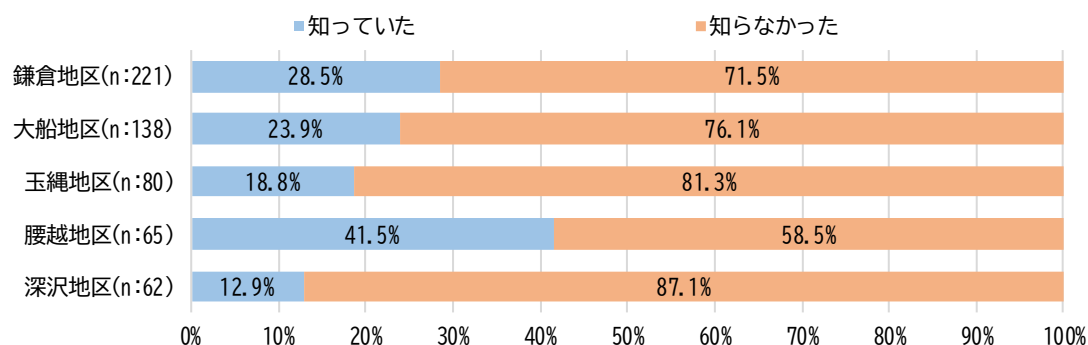
70 歳以上では「知っていた」の割合が他の年齢層に比べて高くなっています。



【居住地別】

腰越地区は「知っていた」の割合が他の地区に比べて、特に高くなっています。

深沢地区は「知っていた」の割合が他の地区に比べて、低くなっています。



問 15 鎌倉市では環境の改善に向けて以下の取組を行ってきました。知っている取組を教えてください。(複数回答)

【年齢層別】

18～29 歳、40～49 歳では「深夜の花火の禁止」が最も多く回答されています。

30～39 歳では「クリーンアップかまぐらの実施」が最も多く回答されています。

50～59 歳、60～69 歳では「パークアンドライド」が最も多く回答されています。

70 歳場では「まち美化統一クリーンデーの実施」が最も多く回答されています。

「深夜の花火の禁止」「クリーンアップかまぐらの実施」、「パークアンドライド」は年齢によらず回答率が高くなっています。

	18～29歳 (n:36)	30～39歳 (n:53)	40～49歳 (n:86)	50～59歳 (n:112)	60～69歳 (n:115)	70歳以上 (n:204)
深夜の花火の禁止	44.4%	47.2%	39.5%	47.3%	41.7%	34.8%
パークアンドライド	27.8%	26.4%	26.7%	51.8%	51.3%	36.8%
クリーンアップかまぐらの実施	19.4%	54.7%	32.6%	50.9%	43.5%	30.4%
まち美化統一クリーンデーの実施	16.7%	22.6%	18.6%	20.5%	27.0%	37.3%
特定外来生物の捕獲	13.9%	13.2%	15.1%	26.8%	28.7%	31.4%
公共施設での不用品・プラスチック 回収box設置	8.3%	28.3%	15.1%	27.7%	23.5%	26.5%
リユースネットかまぐら	2.8%	24.5%	24.4%	22.3%	27.0%	19.6%
鎌倉フリー環境手形の販売	13.9%	18.9%	3.5%	18.8%	24.3%	19.6%
太陽光発電設備・蓄電池の設置費用 補助制度	8.3%	15.1%	17.4%	25.9%	18.3%	14.2%
クールシェアスポット（外出時の涼 み所の提供）	19.4%	26.4%	14.0%	17.9%	12.2%	8.8%
鎌倉メダカの保護・育成	11.1%	17.0%	5.8%	15.2%	13.0%	11.3%
公共施設での再エネ100%の電気利 用	11.1%	3.8%	5.8%	9.8%	13.9%	15.7%
緑のレンジャーの育成	13.9%	9.4%	4.7%	9.8%	12.2%	11.8%
知っている取組はない	16.7%	9.4%	15.1%	7.1%	6.1%	7.8%
公用車の次世代自動車導入	2.8%	5.7%	5.8%	9.8%	6.1%	6.4%
市施設での太陽光発電設備の導入	2.8%	1.9%	1.2%	7.1%	3.5%	2.0%
鎌倉サーキュラーアワードの開催	0.0%	3.8%	0.0%	0.9%	0.9%	0.0%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	1.0%

【居住地別】

玉縄地区、腰越地区、深沢地区では「パークアンドライド」が最も多く回答されています。

鎌倉地区では「深夜の花火の禁止」、大船地区では「クリーンアップかまぐらの実施」が最も多く回答されています。

地区によらず「深夜の花火の禁止」「パークアンドライド」「クリーンアップかまぐらの実施」は回答率が高くなっています。

他の地区に比べて、大船地区では「クールシェアスポット（外出時の涼み所の提供）」の回答率が高いことや腰越地区では「鎌倉フリー環境手形の販売」の回答率が高いといった地区による違いもあります。

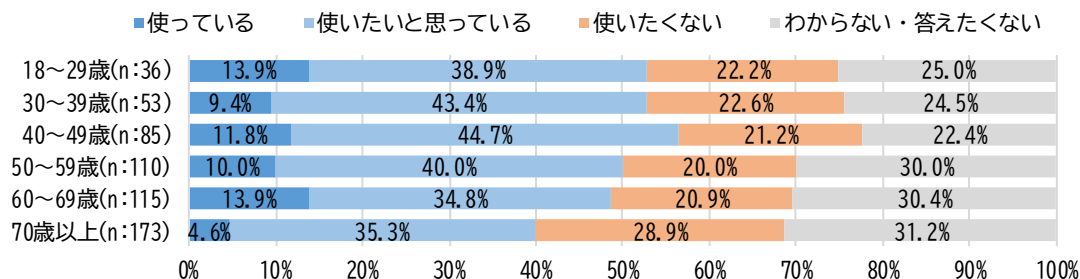
	鎌倉地区 (n:232)	大船地区 (n:143)	玉縄地区 (n:83)	腰越地区 (n:66)	深沢地区 (n:68)
深夜の花火の禁止	52.2%	28.0%	28.9%	53.0%	35.3%
パークアンドライド	40.1%	35.0%	34.9%	59.1%	36.8%
クリーンアップかまぐらの実施	42.2%	39.2%	33.7%	39.4%	32.4%
まち美化統一クリーンデーの実施	25.0%	32.2%	20.5%	25.8%	36.8%
特定外来生物の捕獲	28.4%	21.7%	16.9%	22.7%	30.9%
公共施設での不用品・プラスチック回収box設置	22.0%	29.4%	22.9%	18.2%	20.6%
リユースネットかまぐら	26.3%	20.3%	18.1%	12.1%	25.0%
鎌倉フリー環境手形の販売	17.7%	17.5%	16.9%	24.2%	16.2%
太陽光発電設備・蓄電池の設置費用補助制度	19.4%	15.4%	12.0%	19.7%	19.1%
クールシェアスポット（外出時の涼み所の提供）	10.8%	23.1%	9.6%	9.1%	17.6%
鎌倉メダカの保護・育成	12.5%	11.9%	12.0%	10.6%	11.8%
公共施設での再エネ100%の電気利用	14.2%	7.0%	12.0%	16.7%	8.8%
緑のレンジャーの育成	11.6%	9.1%	7.2%	6.1%	19.1%
知っている取組はない	6.5%	12.6%	12.0%	3.0%	11.8%
公用車の次世代自動車導入	7.8%	5.6%	4.8%	4.5%	5.9%
市施設での太陽光発電設備の導入	2.6%	3.5%	1.2%	3.0%	4.4%
鎌倉サーキュラーアワードの開催	0.4%	0.7%	1.2%	0.0%	1.5%
その他	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	2.9%

問 16 以下の脱炭素化に関わる設備についてご家庭で利用していますか、または利用していない場合は、今後の使用についてどう思いますか。(単数回答)

【年齢層別】

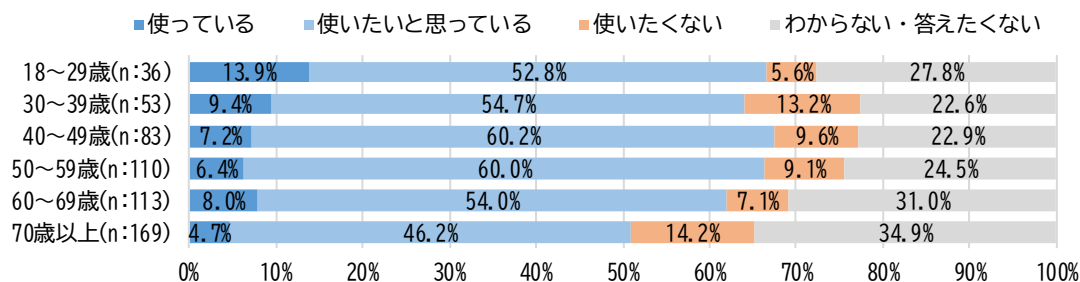
①太陽光発電設備

太陽光発電設備は 70 歳以上で「使っている」が 4.6%と他の年齢層に比べて低くなっています。



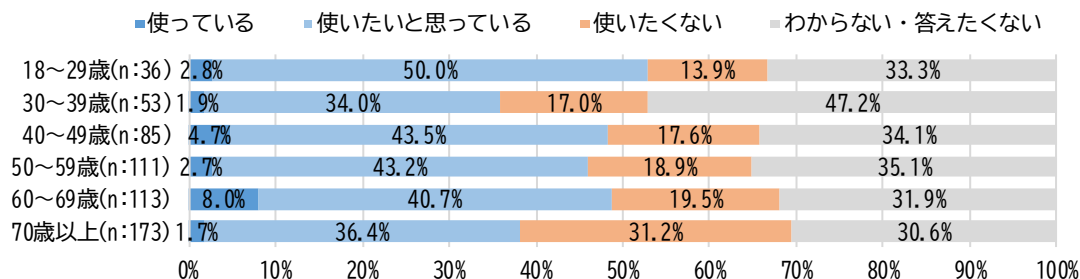
②家庭用蓄電池

家庭用蓄電池は 18～29 歳で「使っている」が 13.9%と他の年齢層に比べて高くなっています。



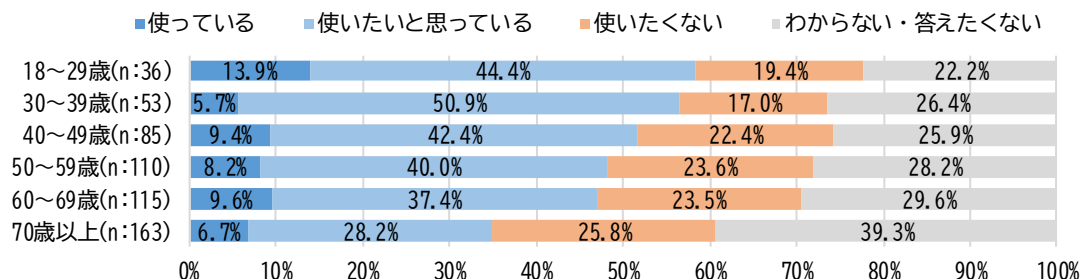
③太陽熱利用システム

太陽熱利用システムは 60～69 歳で「使っている」が 8.0%と他の年齢層に比べて高くなっています。



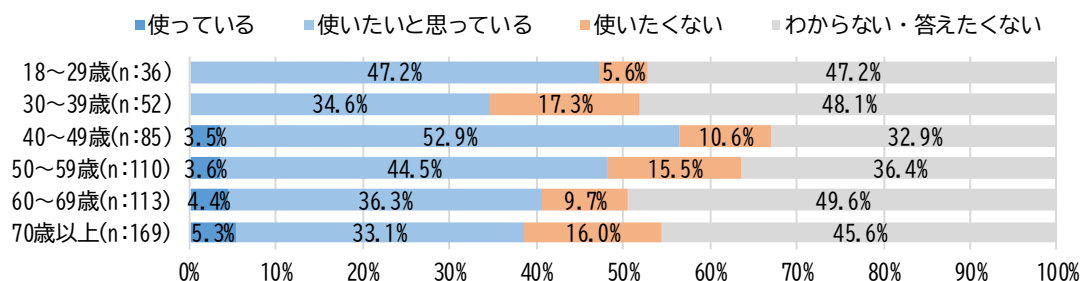
④次世代自動車

次世代自動車は18～29歳で「使っている」が13.9%と他の年齢層に比べて高くなっています。



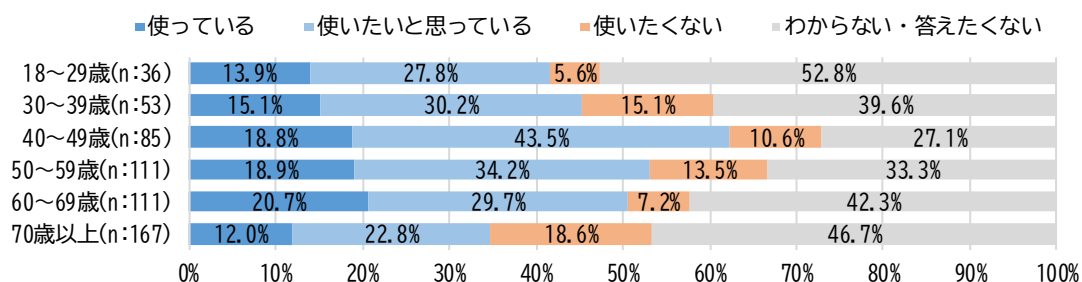
⑤家庭用燃料電池

家庭用燃料電池は年齢によらず「使っている」の回答率が低く、18～29歳、30～39歳の若い年齢層では0%となっています。



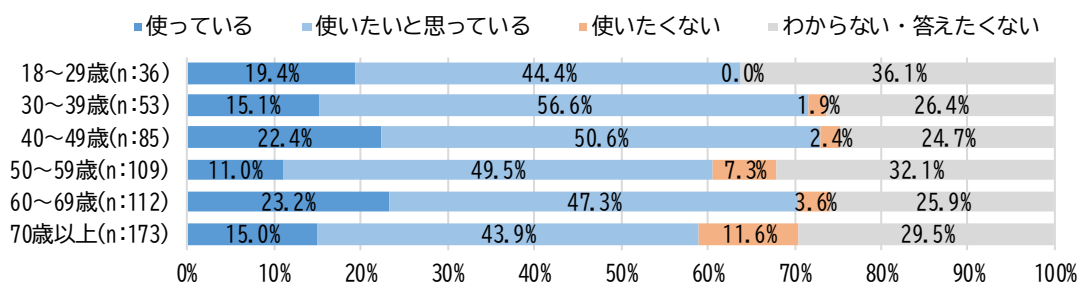
⑥家庭用ヒートポンプ

家庭用ヒートポンプは年齢によらず、「使っている」の回答率が1割以上となっており、特に40～49歳、50～59歳、60～69歳の「使っている」割合が他の年齢層に比べて高くなっています。



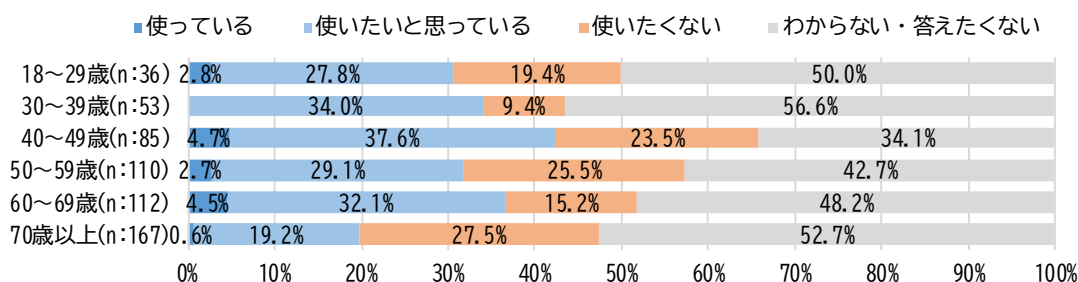
⑦住宅の高断熱化

住宅の高断熱化は年齢によらず、「使っている」の回答率が1割以上となっており、特に40～49歳、60～69歳の「使っている」割合が他の年齢層に比べて高くなっています。



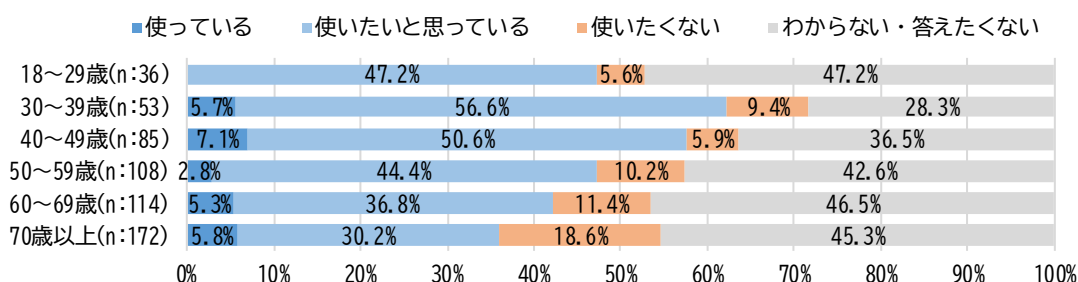
⑧自動車等充給電設備

自動車等充給電設備は年齢によらず「使っている」の回答率が5%未満と低く、30～39歳では0%となっています。



⑨再生可能エネルギー電気の利用

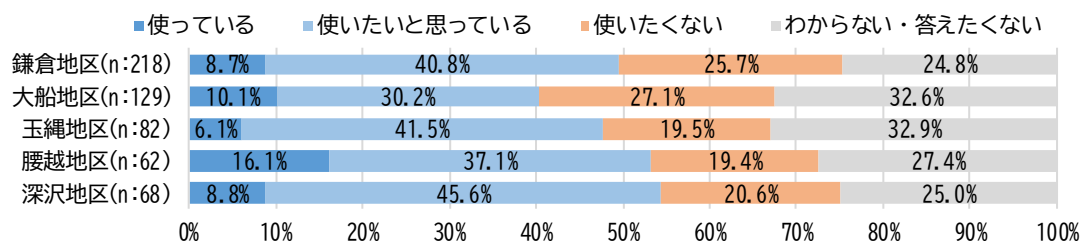
再生可能エネルギー電気の利用は年齢によらず「使っている」の回答率が1割未満と低く、10～19歳では0%となっています。



【居住地別】

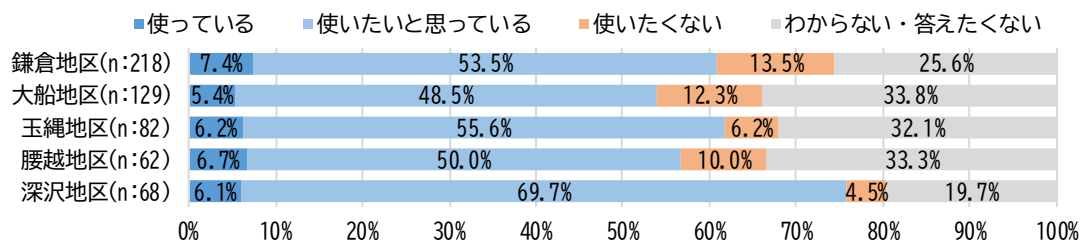
①太陽光発電設備

太陽光発電設備は腰越地区で「使っている」の回答率が他の地区に比べて高くなっています。



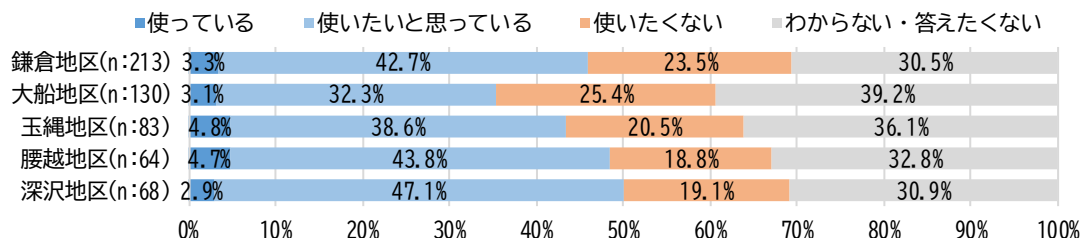
②家庭用蓄電池

家庭用蓄電池は地区によらず「使っている」の回答率が10%未満となっています。



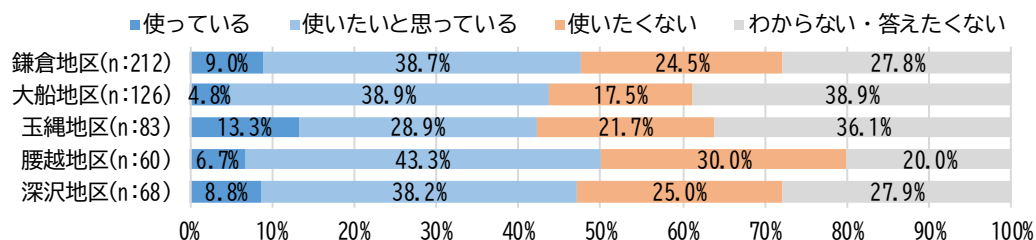
③太陽熱利用システム

太陽熱利用システムは地区によらず「使っている」の回答率が5%未満となっています。



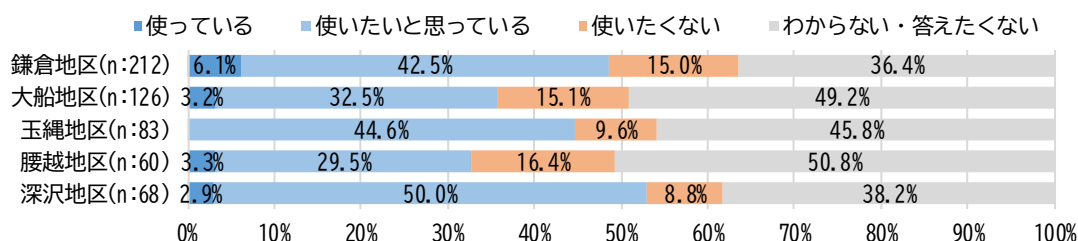
④次世代自動車

次世代自動車は玉縄地区で「使っている」の回答率が他の地区に比べて高くなっています。



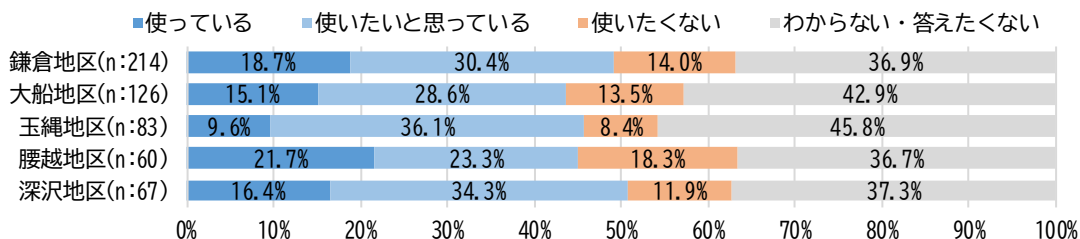
⑤家庭用燃料電池

家庭用燃料電池は地区によらず「使っている」の回答率が10%未満となっています。



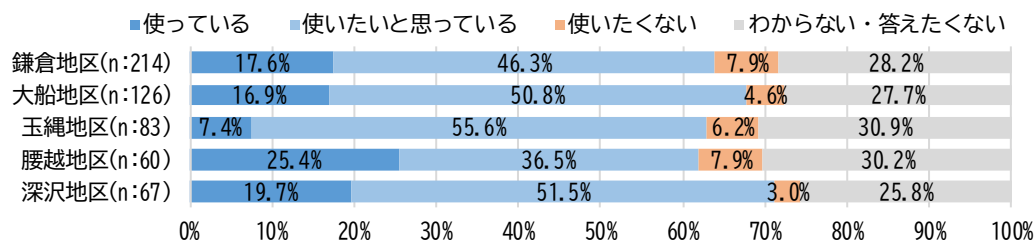
⑥家庭用ヒートポンプ

家庭用ヒートポンプは腰越地区で「使っている」の回答率が21.7%と他の地区に比べて高くなっています。



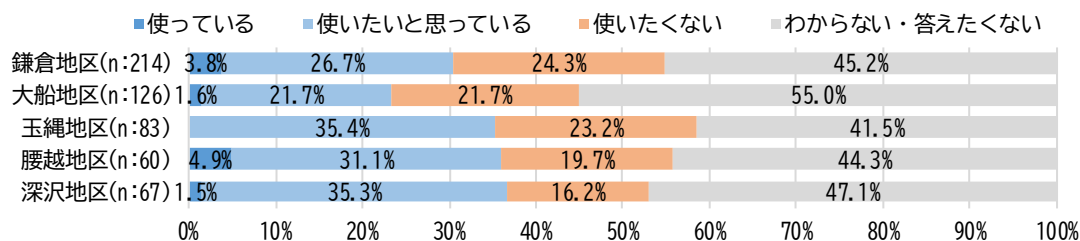
⑦住宅の高断熱化

家庭用ヒートポンプは腰越地区で「使っている」の回答率が25.4%と他の地区に比べて高くなっています。



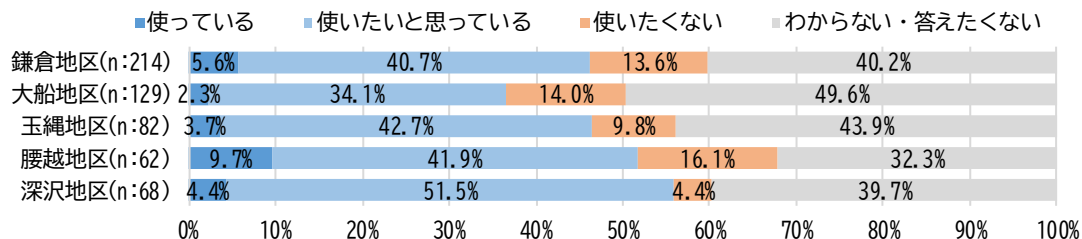
⑧自動車等充給電設備

自動車等充給電設備は地区によらず「使っている」の回答率が5%未満となっています。



⑨再生可能エネルギー電気の利用

再生可能エネルギー電気の利用は地区によらず「使っている」の回答率が10%未満となっています。



問 17 どのような条件が整えば、脱炭素化に関わる設備の利用をより前向きに考えられますか。（複数回答）

【年齢層別】

年齢によらず「購入費に対する助成制度の充実」が最も多く回答されており、次いで「機器に関する情報提供」が多く回答されています。

30～39 歳と 50～59 歳では「実際に再生可能エネルギー機器を導入した人の感想や状況が把握できるような情報の提供」の回答率が他の年齢層に比べて高くなっています。

	18～29歳 (n:36)	30～39歳 (n:53)	40～49歳 (n:86)	50～59歳 (n:112)	60～69歳 (n:115)	70歳以上 (n:204)
購入費に対する助成制度の充実	77.8%	90.6%	76.7%	78.6%	66.1%	52.9%
機器に関する情報提供	41.7%	43.4%	47.7%	48.2%	47.8%	44.1%
実際に再生可能エネルギー機器を導入した人の感想や状況が把握できるような情報の提供	27.8%	35.8%	25.6%	42.0%	27.0%	25.5%
安価な再生可能エネルギーグッズの紹介	22.2%	37.7%	30.2%	32.1%	30.4%	27.0%
導入効果が目に見える展示会、機器の試用機会の提供	16.7%	22.6%	26.7%	27.7%	25.2%	24.0%
再生可能エネルギーを活用したまちづくりに向けた勉強会、研究会などの実施	5.6%	5.7%	11.6%	13.4%	9.6%	13.2%
知らない・わからない	8.3%	3.8%	7.0%	5.4%	11.3%	10.8%
学習教材となるようなグッズの紹介	2.8%	9.4%	7.0%	8.9%	4.3%	7.4%
その他	2.8%	5.7%	7.0%	4.5%	7.8%	4.9%
脱炭素に関わる設備の利用は考えられない	0.0%	0.0%	7.0%	2.7%	1.7%	3.9%

【居住地別】

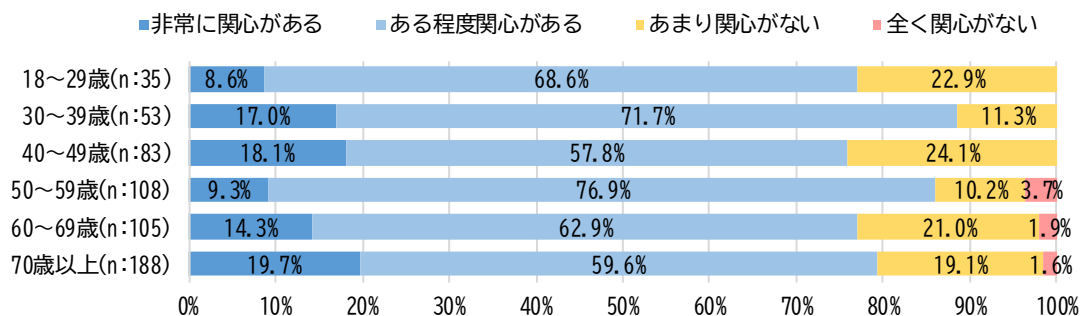
地区によらず「購入費に対する助成制度の充実」が最も多く回答されており、次いで「機器に関する情報提供」が多く回答されています。

	鎌倉地区 (n:232)	大船地区 (n:143)	玉縄地区 (n:83)	腰越地区 (n:66)	深沢地区 (n:68)
購入費に対する助成制度の充実	66.4%	67.8%	68.7%	72.7%	75.0%
機器に関する情報提供	45.3%	44.8%	45.8%	54.5%	42.6%
実際に再生可能エネルギー機器を導入した人の感想や状況が把握できるような情報の提供	29.7%	28.7%	27.7%	33.3%	29.4%
安価な再生可能エネルギーグッズの紹介	27.6%	27.3%	33.7%	30.3%	36.8%
導入効果が目に見える展示会、機器の試用機会の提供	26.7%	25.9%	22.9%	18.2%	27.9%
再生可能エネルギーを活用したまちづくりに向けた勉強会、研究会などの実施	13.8%	7.7%	10.8%	12.1%	10.3%
知らない・わからない	9.1%	6.3%	12.0%	4.5%	10.3%
学習教材となるようなグッズの紹介	6.9%	2.1%	10.8%	7.6%	11.8%
その他	6.5%	6.3%	3.6%	4.5%	4.4%
脱炭素に関わる設備の利用は考えられない	3.0%	4.9%	2.4%	1.5%	2.9%

問18 本市の脱炭素化やエネルギー問題とそれらの取り組みについて、関心がありますか。
(単数回答)

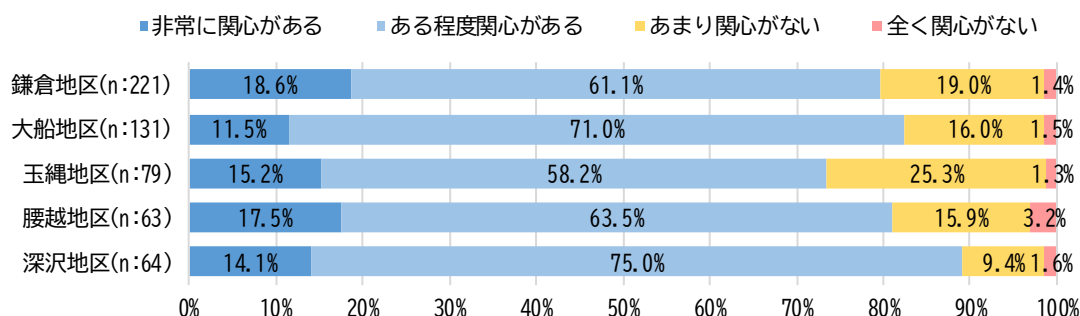
【年齢層別】

年齢層によらず「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」の合計値は70%以上となっています。
特に30～39歳と50～59歳の年齢層では、他の年齢層に比べて関心が高くなっています。



【居住地別】

「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」の合計値は、深沢地区が89.1%と他の地区に比べて高くなっており、玉縄地区では73.4%と他の地区に比べて低くなっています。



問 18-a 本市の脱炭素化やエネルギー問題に関心がある方にお聞きします。その理由を教えてください。（複数回答）

【年齢層別】

40～49 歳では「災害時に安定したエネルギー確保が必要だから」が最も多く回答されており、それ以外の年齢層では「地球温暖化問題の対策に貢献すべきだから」が最も多く回答されています。

30～39 歳と 40～49 歳では「市民や子供たちの環境への関心が高まるから」の回答率が他の年齢層に比べて高くなっています。

	18～29歳 (n:27)	30～39歳 (n:47)	40～49歳 (n:63)	50～59歳 (n:93)	60～69歳 (n:81)	70歳以上 (n:149)
地球温暖化問題の対策に貢献すべきだから	77.8%	70.2%	63.5%	81.7%	82.7%	80.5%
災害時に安定したエネルギー確保が必要だから	55.6%	59.6%	69.8%	65.6%	60.5%	62.4%
将来のエネルギー資源確保が必要だから	59.3%	48.9%	60.3%	61.3%	60.5%	61.1%
鎌倉市の環境を次の世代まで残したいから	48.1%	57.4%	55.6%	60.2%	54.3%	58.4%
市民や子供たちの環境への関心が高まるから	22.2%	42.6%	38.1%	26.9%	28.4%	25.5%
エネルギー施策を通じて、まちづくりや地域コミュニティの活性化が期待できるから	11.1%	14.9%	9.5%	15.1%	9.9%	14.8%
市のエネルギー施策により、地域の産業振興が期待できるから	14.8%	10.6%	6.3%	14.0%	9.9%	10.1%
これから自宅に太陽光発電システムや省エネ機器などを導入したいと思っているから	7.4%	12.8%	11.1%	10.8%	7.4%	11.4%
先進的なエネルギー計画の策定により、市を全国にアピールできるから	7.4%	8.5%	11.1%	11.8%	4.9%	9.4%
その他	0.0%	2.1%	1.6%	0.0%	0.0%	4.0%
とくに理由はない・答えたくない	0.0%	2.1%	1.6%	0.0%	2.5%	0.7%

【居住地別】

居住地によらず「地球温暖化問題の対策に貢献すべきだから」が最も多く回答されています。

鎌倉地区では「市民や子供たちの環境への関心が高まるから」の回答率が他の居住地に比べて高くなっています。

	鎌倉地区 (n:176)	大船地区 (n:108)	玉縄地区 (n:58)	腰越地区 (n:51)	深沢地区 (n:57)
地球温暖化問題の対策に貢献すべきだから	80.1%	76.9%	67.2%	86.3%	82.5%
災害時に安定したエネルギー確保が必要だから	66.5%	58.3%	62.1%	66.7%	59.6%
将来のエネルギー資源確保が必要だから	60.8%	61.1%	58.6%	62.7%	54.4%
鎌倉市の環境を次の世代まで残したいから	58.0%	61.1%	53.4%	56.9%	56.1%
市民や子供たちの環境への関心が高まるから	35.2%	25.9%	24.1%	27.5%	29.8%
エネルギー施策を通じて、まちづくりや地域コミュニティの活性化が期待できるから	13.6%	9.3%	15.5%	15.7%	14.0%
市のエネルギー施策により、地域の産業振興が期待できるから	12.5%	9.3%	15.5%	3.9%	8.8%
これから自宅に太陽光発電システムや省エネ機器などを導入したいと思っているから	13.1%	5.6%	10.3%	9.8%	12.3%
先進的なエネルギー計画の策定により、市を全国にアピールできるから	8.0%	9.3%	8.6%	13.7%	8.8%
その他	2.3%	2.8%	0.0%	0.0%	1.8%
とくに理由はない・答えたくない	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%

問 18-b 本市の脱炭素化やエネルギー問題に関心がない方にお聞きします。その理由を教えてください。(複数回答)

【年齢層別】

10～29 歳では「投資額の割に効果が少ないから」と「エネルギー問題より他に政策的に大切な課題があるから」、「とくに理由はない・答えたくない」が最も多く回答されています。

30～39 歳では、「投資額の割に効果が少ないから」と「エネルギー問題より他に政策的に大切な課題があるから」、「エネルギー問題は国の問題で地域には関係ないから」が最も多く回答されています。

40～49 歳では「投資額の割に効果が少ないから」が最も多く回答されています。

50～59 歳では「鎌倉市では再生可能エネルギーの導入が難しいから」が最も多く回答されています。

60～69 歳では「投資額の割に効果が少ないから」が最も多く回答されています。

70 歳以上では、「とくに理由はない・答えたくない」が最も多く回答されており、次いで「エネルギー問題より他に政策的に大切な課題があるから」が多く回答されています。

	18～29歳 (n:8)	30～39歳 (n:6)	40～49歳 (n:20)	50～59歳 (n:15)	60～69歳 (n:24)	70歳以上 (n:39)
投資額の割に効果が少ないから	37.5%	33.3%	45.0%	26.7%	29.2%	12.8%
エネルギー問題より他に政策的に大切な課題があるから	37.5%	33.3%	30.0%	26.7%	16.7%	23.1%
とくに理由はない・答えたくない	37.5%	16.7%	5.0%	26.7%	20.8%	28.2%
危機感を感じていないから	25.0%	0.0%	30.0%	0.0%	16.7%	15.4%
鎌倉市では再生可能エネルギーの導入が難しいから	0.0%	16.7%	10.0%	33.3%	16.7%	7.7%
エネルギー施策は地球温暖化問題などに効果が少ないから	0.0%	16.7%	10.0%	13.3%	20.8%	5.1%
その他	0.0%	0.0%	10.0%	20.0%	8.3%	12.8%
エネルギー問題は国の問題で地域には関係ないから	12.5%	33.3%	0.0%	6.7%	0.0%	7.7%
脱炭素化やエネルギー問題に取り組む意味がわからないから	0.0%	16.7%	10.0%	6.7%	4.2%	2.6%

【居住地別】

鎌倉地区では、「エネルギー問題より他に政策的に大切な課題があるから」が最も多く回答されています。

大船地区では「投資額の割に効果が少ないから」と「とくに理由はない・答えたくない」が最も多く回答されています。

玉縄地区では「投資額の割に効果が少ないから」が最も多く回答されています。

腰越地区では「その他」が最も多く回答されており、再生可能エネルギーや行政への疑問等が理由として挙げられていました。

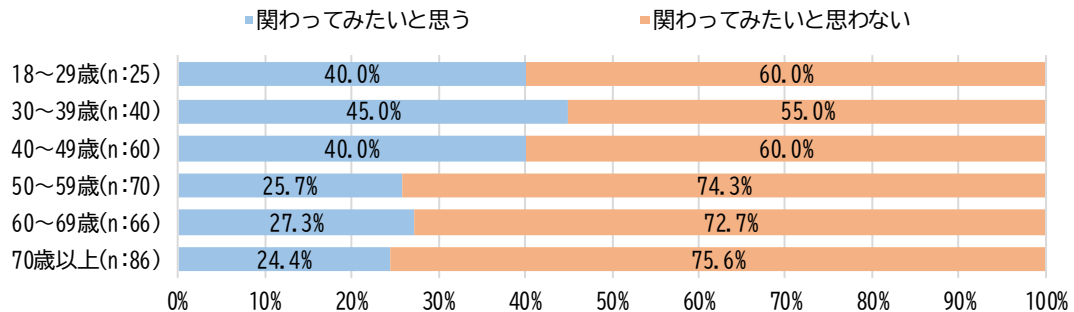
深沢地区では「エネルギー問題より他に政策的に大切な課題があるから」が最も多く回答されており、次いで「投資額の割に効果が少ないから」が多く回答されています。

	鎌倉地区 (n:45)	大船地区 (n:23)	玉縄地区 (n:21)	腰越地区 (n:12)	深沢地区 (n:7)
投資額の割に効果が少ないから	17.8%	39.1%	33.3%	16.7%	42.9%
エネルギー問題より他に政策的に大切な課題があるから	28.9%	17.4%	19.0%	8.3%	57.1%
とくに理由はない・答えたくない	22.2%	39.1%	14.3%	8.3%	14.3%
危機感を感じていないから	17.8%	13.0%	23.8%	8.3%	14.3%
鎌倉市では再生可能エネルギーの導入が難しいから	13.3%	17.4%	4.8%	16.7%	14.3%
エネルギー施策は地球温暖化問題などに効果がないから	6.7%	8.7%	4.8%	25.0%	28.6%
その他	6.7%	4.3%	9.5%	50.0%	0.0%
エネルギー問題は国の問題で地域には関係ないから	2.2%	8.7%	9.5%	8.3%	14.3%
脱炭素化やエネルギー問題に取り組む意味がわからないから	8.9%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%

問 21 「Liqid」に参加して一緒に環境の未来を考えてみたいと思いますか。(単数回答)

【年齢層別】

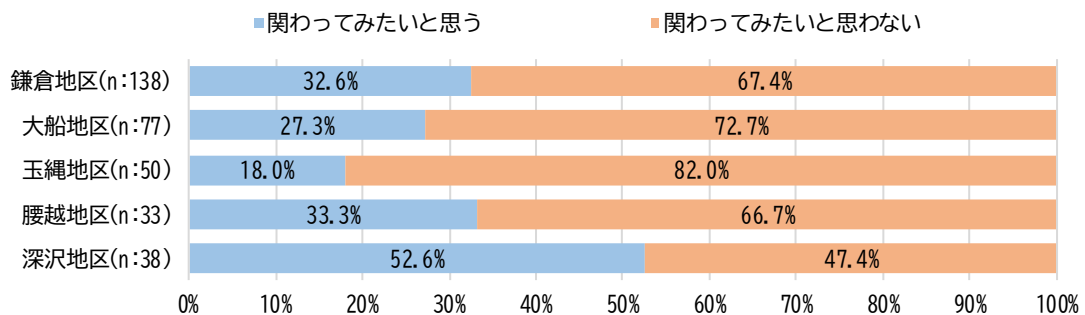
10～29 歳、30～39 歳、40～49 歳では、「関わってみたいと思う」の回答率が 40%以上である一方で、50～59 歳、60～69 歳、70 歳以上では 30%未満となっており、若い年齢層の関心が高くなっています。



【居住地別】

深沢地区では「関わってみたいと思う」の回答率が 52.6%と他の地区に比べて高くなっています。

一方で、玉縄地区は「関わってみたいと思う」の回答率が 18.0%と他の地区に比べて低くなっています。

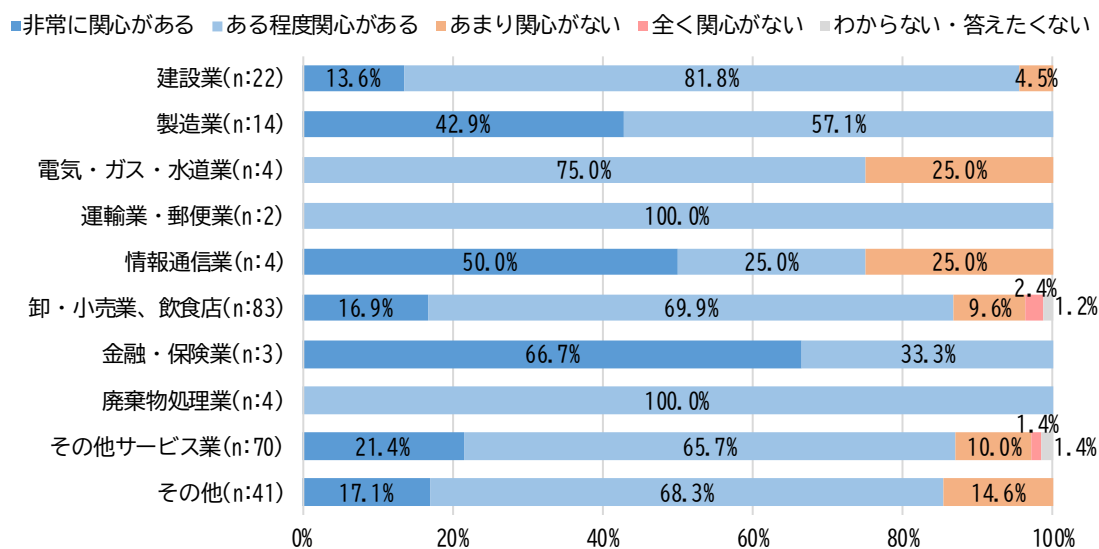


参考：事業者アンケートのクロス集計

問4 貴事業所は環境問題に関心がありますか（単数回答）

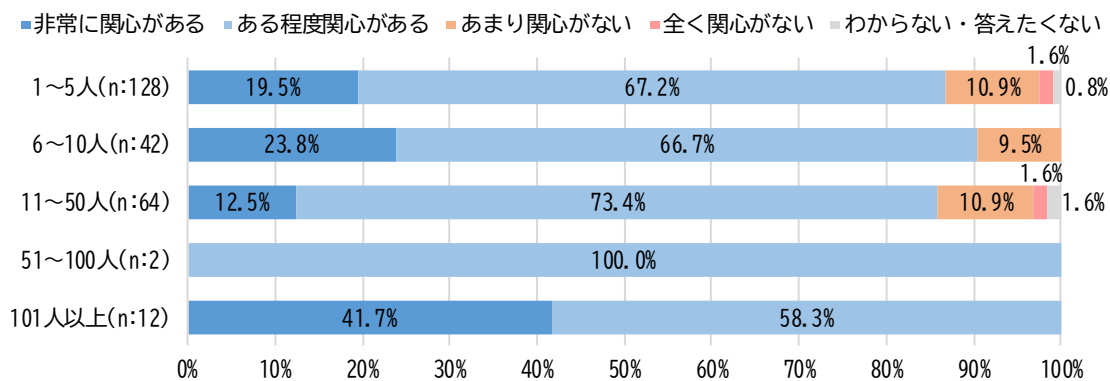
【業種別】

業種によらず、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」の合計値は70%以上となっています。



【従業員数別】

従業員数によらず、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」の合計値は80%以上となっています。



問5 本市の環境保全の施策のうち、重要だと思うものを教えてください（複数回答）

【業種別】

建設業や製造業、電気・ガス・水道業、情報通信業では「気候変動への適応」が多く回答されています。

卸・小売業、飲食店では「きれいなまちの維持」が最も多く回答されています。

	建設業 (n:22)	製造業 (n:14)	電気・ガス・水道業 (n:4)	運輸業・郵便業 (n:2)	情報通信業 (n:4)	卸・小売業、飲食店 (n:84)	金融・保険業 (n:4)	廃棄物処理業 (n:4)	その他サービス業 (n:72)	その他 (n:41)
気候変動への適応	59.1%	71.4%	75.0%	50.0%	75.0%	58.3%	75.0%	50.0%	65.3%	56.1%
きれいなまちの維持	59.1%	42.9%	50.0%	50.0%	75.0%	59.5%	50.0%	75.0%	65.3%	56.1%
森林、緑地、河川、海岸など自然環境の保全	54.5%	64.3%	25.0%	100.0%	75.0%	58.3%	50.0%	25.0%	56.9%	51.2%
歴史的・文化的な景観の保全	54.5%	42.9%	25.0%	50.0%	50.0%	56.0%	50.0%	25.0%	54.2%	53.7%
ごみの発生抑制	45.5%	57.1%	75.0%	50.0%	75.0%	42.9%	75.0%	75.0%	44.4%	51.2%
脱炭素化の推進	27.3%	57.1%	0.0%	50.0%	50.0%	35.7%	100.0%	25.0%	38.9%	41.5%
自然生態系の保全	36.4%	50.0%	0.0%	50.0%	75.0%	34.5%	50.0%	25.0%	33.3%	41.5%
大気・水質・土壌の保全	22.7%	42.9%	75.0%	0.0%	75.0%	25.0%	75.0%	25.0%	36.1%	41.5%
騒音、振動対策	36.4%	28.6%	50.0%	0.0%	50.0%	27.4%	25.0%	25.0%	33.3%	36.6%
環境教育	22.7%	14.3%	0.0%	50.0%	75.0%	9.5%	50.0%	50.0%	20.8%	24.4%
その他	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	25.0%	5.6%	4.9%
とくにない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	2.8%	2.4%

【従業員数別】

従業員数 1～5 人や 6～10 人の事業所では「気候変動への適応」や「きれいなまちの維持」、「森林、緑地、河川、海岸など自然環境の保全」が多く回答されています。

従業員数 11～50 人の事業所では、「気候変動への適応」、「きれいなまちの維持」、「歴史的・文化的な景観の保全」が多く回答されています。

従業員数 51～100 人では「ごみの発生抑制」などが回答されています。

従業員数 101 人以上では「気候変動への適応」が最も多く回答されており、次いで「脱炭素化の推進」や「ごみの発生抑制」が多く回答されています。

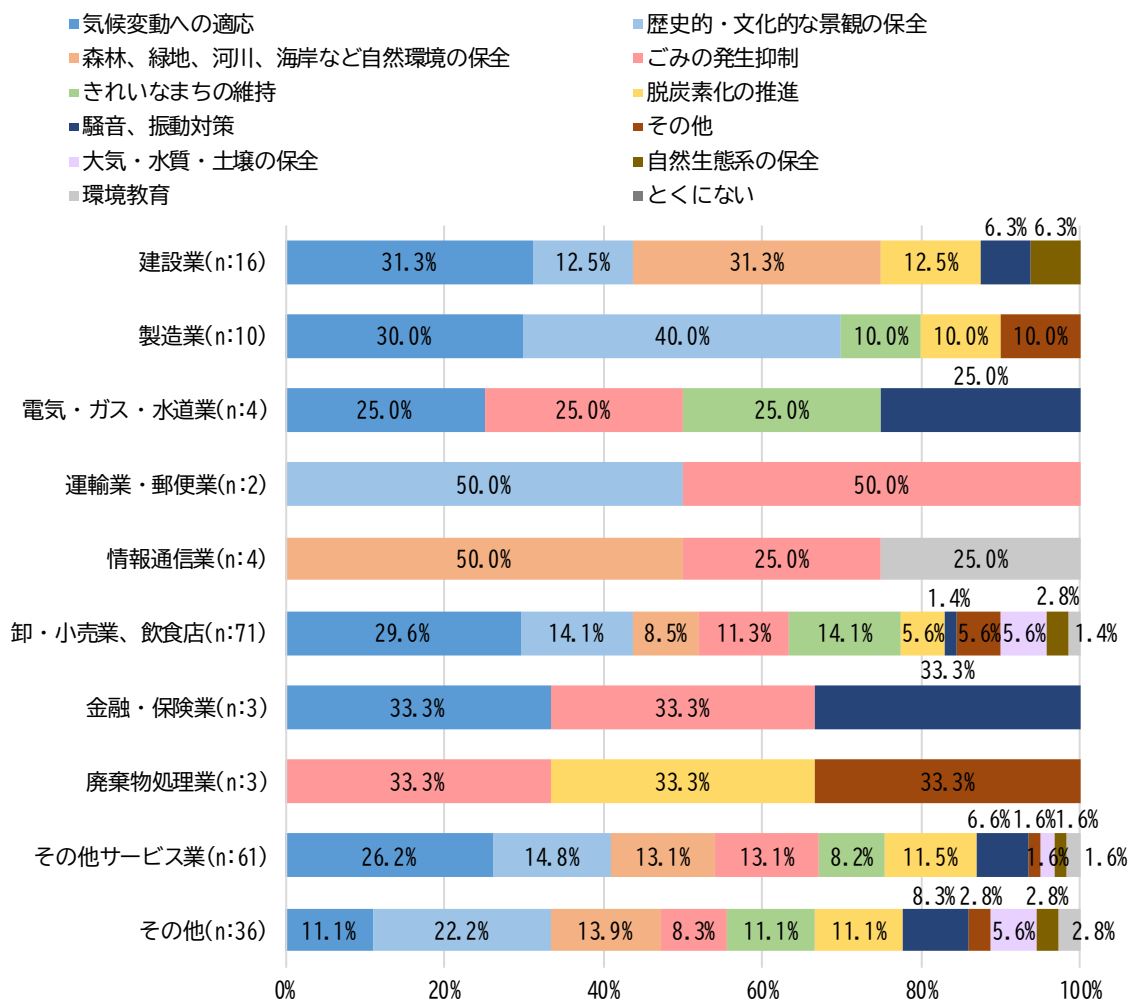
	1～5人 (n:130)	6～10人 (n:44)	11～50人 (n:64)	51～100人 (n:2)	101人以上 (n:12)
気候変動への適応	 56.2%	 61.4%	 68.8%	0.0%	 83.3%
きれいなまちの維持	 63.1%	 56.8%	 59.4%	 50.0%	 50.0%
森林、緑地、河川、海岸など自然環境の保全	 60.8%	 52.3%	 50.0%	0.0%	 41.7%
歴史的・文化的な景観の保全	 54.6%	 47.7%	 53.1%	 50.0%	 50.0%
ごみの発生抑制	 51.5%	 36.4%	 42.2%	 100.0%	 58.3%
脱炭素化の推進	 35.4%	 27.3%	 45.3%	 50.0%	 58.3%
自然生態系の保全	 36.9%	 40.9%	 32.8%	0.0%	 41.7%
大気・水質・土壌の保全	 33.8%	 29.5%	 34.4%	0.0%	 41.7%
騒音、振動対策	 29.2%	 22.7%	 42.2%	0.0%	 33.3%
環境教育	 14.6%	 13.6%	 23.4%	 50.0%	 50.0%
その他	 3.8%	 11.4%	 4.7%	 50.0%	0.0%
とくにない	0.8%	 2.3%	 3.1%	0.0%	0.0%

問5 本市の環境保全の施策のうち、最も重要だと思うものを教えてください
(単数回答)

【業種別】

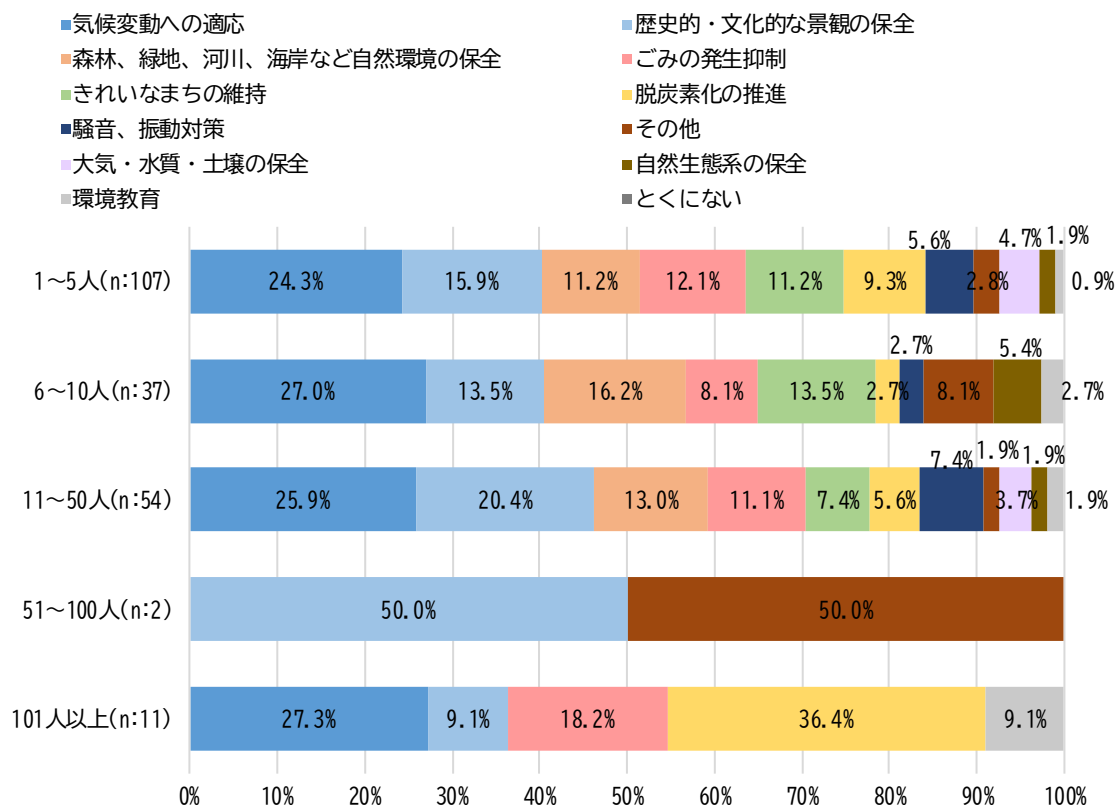
建設業や卸・小売業、飲食店、その他サービス業では「気候変動の適応」の割合が最も高くなっています。

製造業では「歴史的・文化的な景観の保全」の割合が最も高くなっています。



【従業員数別】

従業員数 51～100 人以上の事業所を除き、「気候変動への適応」の割合が最も高くなっています。



問6 貴事業所では環境保全の取組をどのように考えていますか（複数回答）

【業種別】

製造業、卸・小売業、飲食店、金融業・保険業、その他サービス業では「社会的な責任（CSR）から必要」の割合が最も高くなっています。

	建設業 (n:22)	製造業 (n:14)	電気・ガス・水道業 (n:4)	運輸業・郵便業 (n:2)	情報通信業 (n:4)	卸・小売業、飲食店 (n:84)	金融・保険業 (n:4)	廃棄物処理業 (n:4)	その他サービス業 (n:72)	その他 (n:41)
社会的な責任（CSR）から必要	45.5%	71.4%	25.0%	50.0%	50.0%	47.6%	75.0%	50.0%	58.3%	70.7%
省エネ等によるコストダウンにつながる	9.1%	35.7%	50.0%	50.0%	75.0%	27.4%	25.0%	25.0%	29.2%	24.4%
取組は重要だと思うが、費用面や労務面から取り組むことが難しい	50.0%	7.1%	25.0%	0.0%	0.0%	42.9%	50.0%	100.0%	23.6%	17.1%
法令や条例の順守のため必要	9.1%	35.7%	25.0%	50.0%	50.0%	16.7%	50.0%	25.0%	20.8%	17.1%
今後の企業経営や業績の観点から重要	13.6%	42.9%	0.0%	50.0%	25.0%	13.1%	25.0%	25.0%	12.5%	4.9%
企業のPRとイメージアップにつながる	9.1%	28.6%	25.0%	50.0%	25.0%	8.3%	25.0%	25.0%	5.6%	9.8%
取組は重要だと思うが、費用対効果などでメリットがなければ取り組む必要はない	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.0%	0.0%	0.0%	8.3%	4.9%
わからない・答えたくない	18.2%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	50.0%	11.1%	9.8%
優秀な人材の育成や確保につながる	4.5%	7.1%	0.0%	0.0%	25.0%	3.6%	25.0%	0.0%	5.6%	2.4%
取引先や関連企業等との取り決めや要請から必要	9.1%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	1.4%	4.9%
新たな事業活動の開拓につながる	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	2.8%	9.8%
取り組む必要を感じない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	2.8%	4.9%

【従業員数別】

従業員数によらず、「社会的な責任（CSR）から必要」の回答率が最も高くなっており、特に従業員数101人以上の事業所では91.7%の事業所が「社会的な責任（CSR）から必要」と回答しています。

	1～5人 (n:130)	6～10人 (n:44)	11～50人 (n:64)	51～100人 (n:2)	101人以上 (n:12)
社会的な責任（CSR）から必要	 47.7%	 72.7%	 56.3%	 50.0%	 91.7%
省エネ等によるコストダウンにつながる	 23.1%	 22.7%	 31.3%	 50.0%	 58.3%
取組は重要だと思うが、費用面や労務面から取り組むことが難しい	 24.6%	 18.2%	 26.6%	 0.0%	 8.3%
法令や条例の順守のため必要	 20.0%	 13.6%	 17.2%	 0.0%	 58.3%
今後の企業経営や業績の観点から重要	 10.8%	 9.1%	 20.3%	 0.0%	 33.3%
企業のPRとイメージアップにつながる	 6.2%	 11.4%	 17.2%	 50.0%	 8.3%
取組は重要だと思うが、費用対効果などでメリットがなければ取り組む必要はない	 5.4%	 9.1%	 3.1%	 50.0%	 0.0%
わからない・答えたくない	 4.6%	 6.8%	 7.8%	 0.0%	 0.0%
優秀な人材の育成や確保につながる	 3.8%	 2.3%	 7.8%	 0.0%	 8.3%
取引先や関連企業等との取り決めや要請から必要	 2.3%	 2.3%	 6.3%	 50.0%	 16.7%
新たな事業活動の開拓につながる	 1.5%	 2.3%	 7.8%	 50.0%	 8.3%
取り組む必要を感じない	 3.1%	 0.0%	 1.6%	 0.0%	 0.0%
その他	 3.1%	 0.0%	 0.0%	 0.0%	 0.0%

問7 貴事業所で実施している環境関連の取組はどれですか（複数回答）

【業種別】

業種によらず「節電の取組」や「ごみの削減分別・リサイクル」を実施している割合が高くなっています。

	建設業 (n:22)	製造業 (n:14)	電気・ガス・水道業 (n:4)	運輸業・郵便業 (n:2)	情報通信業 (n:4)	卸・小売業、飲食店 (n:84)	金融・保険業 (n:4)	廃棄物処理業 (n:4)	その他サービス業 (n:72)	その他 (n:41)
ごみの削減分別・リサイクル	54.5%	64.3%	75.0%	100.0%	75.0%	69.0%	75.0%	100.0%	62.5%	75.6%
節電の取組	31.8%	57.1%	75.0%	100.0%	75.0%	60.7%	50.0%	50.0%	68.1%	73.2%
熱中症への対策	31.8%	35.7%	0.0%	50.0%	0.0%	28.6%	25.0%	75.0%	34.7%	31.7%
節水の取組	9.1%	35.7%	75.0%	50.0%	0.0%	27.4%	50.0%	50.0%	29.2%	34.1%
排水の配慮	9.1%	50.0%	75.0%	50.0%	0.0%	36.9%	0.0%	100.0%	15.3%	22.0%
省エネ機器の導入	22.7%	35.7%	25.0%	100.0%	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	29.2%	17.1%
環境に配慮した製品・原材料などの調達	22.7%	28.6%	0.0%	50.0%	25.0%	11.9%	0.0%	25.0%	15.3%	9.8%
自社の緑化（敷地内・壁面・屋上等）をしている	13.6%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	11.9%	0.0%	25.0%	15.3%	19.5%
従業員の移動における公共交通の利用推奨	0.0%	14.3%	0.0%	50.0%	25.0%	10.7%	0.0%	25.0%	20.8%	12.2%
風水害の対策	9.1%	21.4%	0.0%	50.0%	25.0%	4.8%	0.0%	25.0%	18.1%	22.0%
電気自動車や低燃費車の導入	0.0%	7.1%	0.0%	50.0%	25.0%	14.3%	25.0%	25.0%	9.7%	7.3%
再生可能エネルギーの活用	13.6%	35.7%	25.0%	0.0%	25.0%	8.3%	25.0%	25.0%	6.9%	7.3%
地域の美化活動の主催や参加	4.5%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	11.9%	25.0%	0.0%	11.1%	12.2%
環境負荷の見える化	0.0%	42.9%	0.0%	50.0%	25.0%	2.4%	25.0%	25.0%	1.4%	2.4%
自然環境保護活動の主催や参加	0.0%	21.4%	0.0%	0.0%	25.0%	3.6%	0.0%	0.0%	1.4%	4.9%
環境保全団体・NP0などへの支援や寄付	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	25.0%	2.4%	0.0%	25.0%	1.4%	2.4%
とくに取組は行っていない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	2.8%	4.9%
その他	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%

【従業員数別】

従業員数によらず「節電の取組」や「ごみの削減分別・リサイクル」を実施している割合が高くなっています。

従業員数 51～100 人や 101 人以上では「省エネ機器の導入」や「再生可能エネルギーの活用」「環境負荷の見える化」が他の従業員数の事業者に比べて回答率が高くなっています。

	1～5人 (n:130)	6～10人 (n:44)	11～50人 (n:64)	51～100人 (n:2)	101人以上 (n:12)
ごみの削減分別・リサイクル	 66.2%	 84.1%	 57.8%	 50.0%	 91.7%
節電の取組	 62.3%	 50.0%	 68.8%	 50.0%	 75.0%
熱中症への対策	 24.6%	 36.4%	 40.6%	 0.0%	 33.3%
節水の取組	 33.1%	 20.5%	 25.0%	 100.0%	 33.3%
排水の配慮	 28.5%	 29.5%	 23.4%	 0.0%	 25.0%
省エネ機器の導入	 21.5%	 22.7%	 28.1%	 100.0%	 50.0%
環境に配慮した製品・原材料などの調達	 10.0%	 15.9%	 15.6%	 50.0%	 50.0%
自社の緑化（敷地内・壁面・屋上等）をしている	 10.0%	 18.2%	 18.8%	 50.0%	 0.0%
従業員の移動における公共交通の利用推奨	 8.5%	 18.2%	 21.9%	 0.0%	 8.3%
風水害の対策	 10.0%	 9.1%	 18.8%	 50.0%	 25.0%
電気自動車や低燃費車の導入	 10.0%	 11.4%	 12.5%	 0.0%	 16.7%
再生可能エネルギーの活用	 8.5%	 13.6%	 9.4%	 50.0%	 25.0%
地域の美化活動の主催や参加	 10.8%	 6.8%	 10.9%	 50.0%	 16.7%
環境負荷の見える化	 2.3%	 2.3%	 6.3%	 50.0%	 41.7%
自然環境保護活動の主催や参加	 2.3%	 4.5%	 3.1%	 0.0%	 25.0%
環境保全団体・NPOなどへの支援や寄付	 2.3%	 0.0%	 3.1%	 0.0%	 16.7%
とくに取組は行っていない	 3.8%	 2.3%	 1.6%	 0.0%	 0.0%
その他	 0.8%	 2.3%	 1.6%	 0.0%	 0.0%

問8 環境マネジメントシステムを構築していますか（複数回答）

【業種別】

業種によらず「環境マネジメントシステムのことをよく知らない、わからない」が特に多く回答されています。

製造業や電気・ガス・水道業、金融・保険業などでは環境マネジメントシステムを構築している事業者もあります。

	建設業 (n:22)	製造業 (n:14)	電気・ガス・水道業 (n:4)	運輸業・郵便業 (n:2)	情報通信業 (n:4)	卸・小売業・飲食店 (n:84)	金融・保険業 (n:4)	廃棄物処理業 (n:4)	その他のサービス業 (n:72)	その他 (n:41)
環境マネジメントシステムのことをよく知らない、わからない	54.5%	28.6%	50.0%	50.0%	25.0%	61.9%	75.0%	50.0%	59.7%	63.4%
環境マネジメントシステムを、今後も構築する予定はない	9.1%	7.1%	25.0%	0.0%	25.0%	14.3%	0.0%	0.0%	18.1%	12.2%
環境マネジメントシステムを今後構築したいと考えている	22.7%	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	13.9%	14.6%
「ISO14001」に基づく環境マネジメントシステムを構築している	0.0%	28.6%	25.0%	0.0%	25.0%	3.6%	25.0%	0.0%	2.8%	0.0%
その他の環境マネジメントシステムを構築している	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	25.0%	1.2%	0.0%	0.0%	2.8%	4.9%
「かまくらエコアクション21」に基づく環境マネジメントシステムを構築している	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「エコアクション21」に基づく環境マネジメントシステムを構築している	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%

【従業員数別】

従業員数 101 人以上の事業者では、「ISO14001」に基づく環境マネジメントシステムを構築している」が 41.7%、「かまくらエコアクション 21」に基づく環境マネジメントシステムを構築している」が 8.3%、「その他の環境マネジメントシステムを構築している」が 16.7%と環境マネジメントシステムを構築している事業者が 60%程度います。

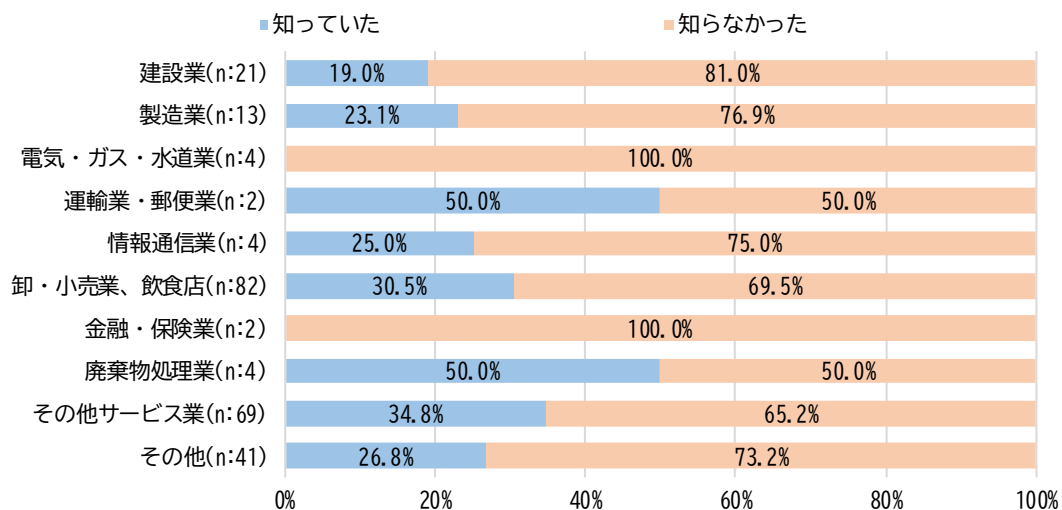
その他の従業員数の事業者では「環境マネジメントシステムのことをよく知らない、わからない」が最も多く回答されています。

	1～5人 (n:130)	6～10人 (n:44)	11～50人 (n:64)	51～100人 (n:2)	101人以上 (n:12)
環境マネジメントシステムのことをよく知らない、わからない	 58.5%	 65.9%	 57.8%	 50.0%	 25.0%
環境マネジメントシステムを、今後も構築する予定はない	 16.9%	 6.8%	 14.1%	 0.0%	 8.3%
環境マネジメントシステムを今後構築したいと考えている	 6.9%	 13.6%	 17.2%	 50.0%	 8.3%
「ISO14001」に基づく環境マネジメントシステムを構築している	 2.3%	 2.3%	 4.7%	 0.0%	 41.7%
その他の環境マネジメントシステムを構築している	 0.0%	 4.5%	 4.7%	 0.0%	 16.7%
「かまくらエコアクション 21」に基づく環境マネジメントシステムを構築している	 0.0%	 2.3%	 0.0%	 0.0%	 8.3%
「エコアクション21」に基づく環境マネジメントシステムを構築している	 0.0%	 0.0%	 1.6%	 0.0%	 0.0%

問9 本市は人口 10 万人以上 50 万人未満の自治体の中で、リサイクル率が全国トップです。このことをご存じでしたか（単数回答）

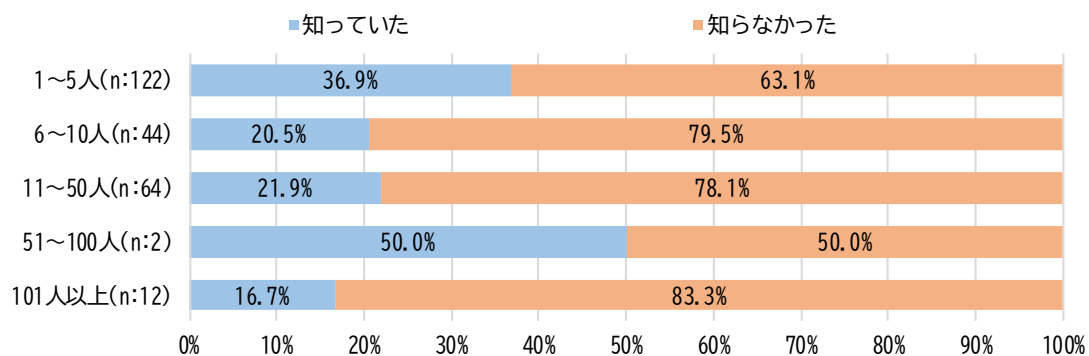
【業種別】

製造業の 23.1%、卸・小売業、飲食店の 30.5%、その他サービス業の 34.8%が「知っていた」と回答しています。



【従業員数別】

従業員数 101 人以上の事業者では、「知らなかった」が 83.3%と他の従業員数の事業者に比べて高くなっています。

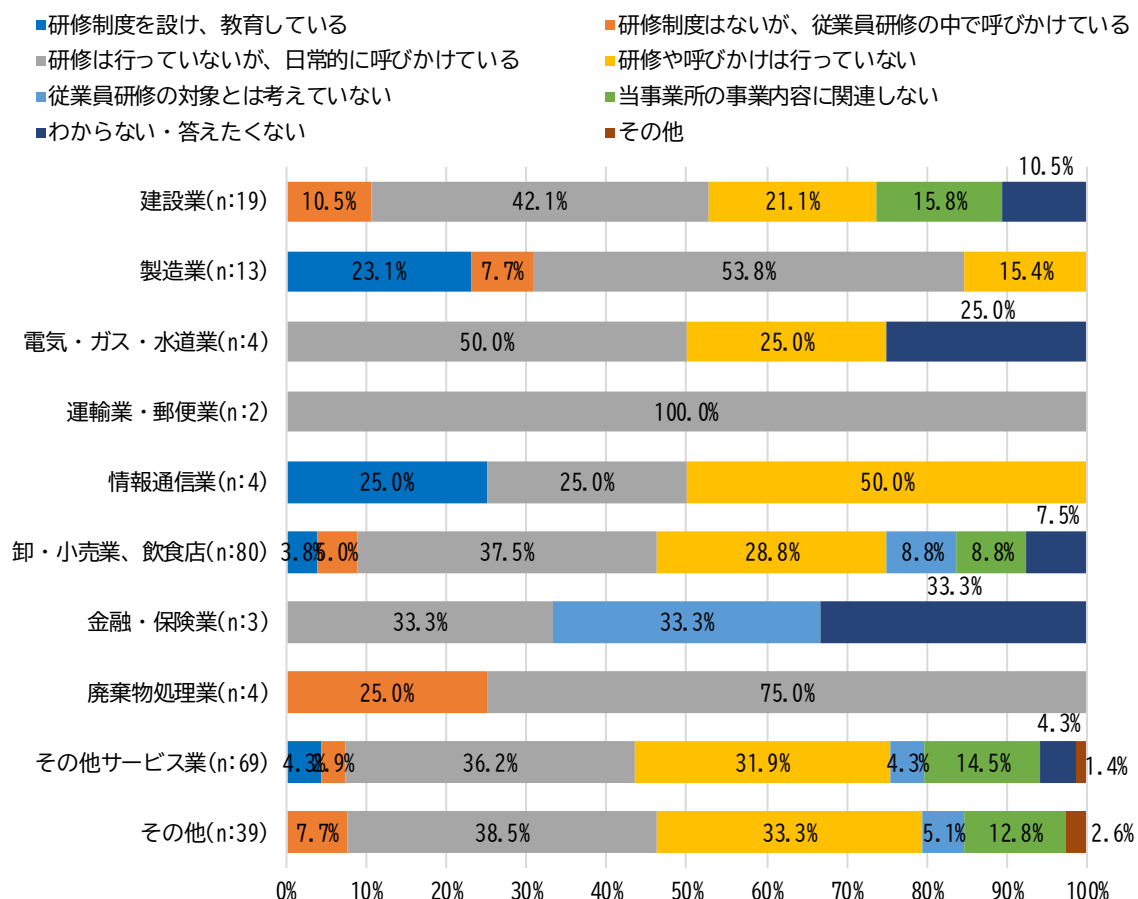


問 10 環境保全に関する従業員教育について、貴事業所の取組状況や考え方に当てはまるものはどれですか。(単数回答)

【業種別】

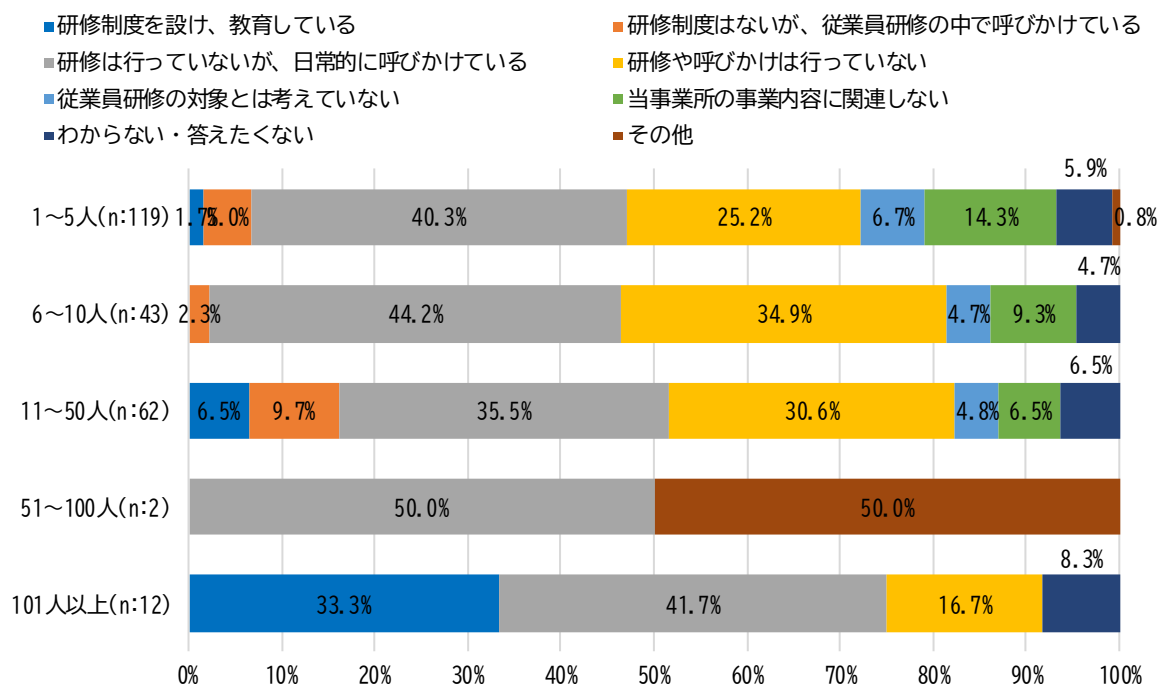
製造業では「研修制度を設け、教育している」が23.1%、「研修制度はないが、従業員研修の中で呼びかけている」が7.7%と他の業種に比べて、従業員教育が実施されている傾向にあります。

卸・小売業、飲食店やその他サービス業では「研修は行っていないが、日常的に呼びかけている」が最も多く回答されています。



【従業員数別】

従業員数 101 人以上の事業者では、「研修制度を設け、教育している」が 33.3%と従業員教育が実施されている傾向にあります。



問 11 環境保全の取組によってどのような効果が得られましたか（複数回答）

【業種別】

製造業では「コストの削減」が 50.0%、「従業員の環境意識の向上」や「従業員の働く環境の向上」が 35.7%と多く回答されています。

卸・小売業、飲食店では「とくに効果を感じない」が 28.6%と最も多く回答されており、次いでコストの削減」が 21.4%となっています。

金融・保険業や製造業、卸・小売業、飲食店などでは「地域住民との関係の構築」といった回答も見られます。

	建設業 (n:22)	製造業 (n:14)	電気・ガス・水道業 (n:4)	運輸業・郵便業 (n:2)	情報通信業 (n:4)	卸・小売業、飲食店 (n:84)	金融・保険業 (n:4)	廃棄物処理業 (n:4)	その他サービス業 (n:72)	その他 (n:41)
コストの削減	13.6%	50.0%	0.0%	100.0%	50.0%	21.4%	0.0%	75.0%	29.2%	39.0%
とくに効果を感じない	31.8%	7.1%	50.0%	0.0%	50.0%	28.6%	25.0%	25.0%	20.8%	14.6%
従業員の環境意識の向上	9.1%	35.7%	25.0%	100.0%	50.0%	14.3%	0.0%	25.0%	22.2%	22.0%
環境保全の取組を行っていない	13.6%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	14.3%	25.0%	0.0%	13.9%	12.2%
従業員の働く環境の向上	13.6%	35.7%	0.0%	0.0%	25.0%	9.5%	25.0%	0.0%	9.7%	14.6%
地域住民との関係の構築	9.1%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	11.9%	25.0%	0.0%	6.9%	22.0%
企業イメージの向上	9.1%	14.3%	25.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	25.0%	6.9%	4.9%
製品やサービス等の品質向上	4.5%	21.4%	0.0%	50.0%	0.0%	6.0%	0.0%	0.0%	4.2%	4.9%
事業所周辺の生活環境の向上	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	2.8%	12.2%
取引先からの業務受託機会の向上	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%

【従業員数別】

従業員数によらず、「コストの削減」が最も多く回答されています。

従業員数 101 人以上の事業者では、「コストの削減」が 58.3%、「従業員の環境意識の向上」が 50.0% と特に多く回答されています。

	1～5人 (n:130)	6～10人 (n:44)	11～50人 (n:64)	51～100人 (n:2)	101人以上 (n:12)
コストの削減	 25.4%	 27.3%	 29.7%	 50.0%	 58.3%
とくに効果を感じない	 24.6%	 25.0%	 23.4%	 0.0%	 8.3%
従業員の環境意識の向上	 13.8%	 27.3%	 23.4%	 50.0%	 50.0%
環境保全の取組を行っていない	 13.8%	 11.4%	 12.5%	 0.0%	 16.7%
従業員の働く環境の向上	 10.8%	 18.2%	 9.4%	 50.0%	 16.7%
地域住民との関係の構築	 10.8%	 15.9%	 9.4%	 0.0%	 16.7%
企業イメージの向上	 3.8%	 11.4%	 12.5%	 50.0%	 0.0%
製品やサービス等の品質向上	 4.6%	 6.8%	 4.7%	 50.0%	 16.7%
事業所周辺の生活環境の向上	 3.1%	 9.1%	 6.3%	 0.0%	 0.0%
取引先からの業務受託機会の向上	 1.5%	 0.0%	 1.6%	 0.0%	 0.0%
その他	 0.8%	 0.0%	 0.0%	 0.0%	 0.0%

問 12 環境保全の取組を実施する上で課題と感じていることはありますか（複数回答）

【業種別】

建設業では「労務上の負担の増大」が31.8%、「コストの削減」と「人材や人手を確保できないこと」が27.3%と多く回答されています。

製造業では「人材や人手を確保できないこと」が42.9%、「環境保全の取組に関する知識やノウハウ不足」が35.7%と多く回答されています。

卸・小売業、飲食店では「労務上の負担の増大」と「環境保全の取組に関する知識やノウハウ不足」、「コストの削減」、「人材や人手を確保できないこと」が同率で22.6%となっています。

その他サービス業では「労務上の負担の増大」が31.9%、「環境保全の取組に関する知識やノウハウ不足」が26.4%となっています。

	建設業 (n:22)	製造業 (n:14)	電気・ガス・水道業 (n:4)	運輸業・郵便業 (n:2)	情報通信業 (n:4)	卸・小売業、飲食店 (n:84)	金融・保険業 (n:4)	廃棄物処理業 (n:4)	その他サービス業 (n:72)	その他 (n:41)
労務上の負担の増大	31.8%	21.4%	25.0%	0.0%	25.0%	22.6%	25.0%	25.0%	31.9%	24.4%
環境保全の取組に関する知識やノウハウ不足	18.2%	35.7%	25.0%	50.0%	0.0%	22.6%	0.0%	25.0%	26.4%	26.8%
コストの削減	27.3%	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%	22.6%	25.0%	75.0%	22.2%	19.5%
人材や人手を確保できないこと	27.3%	42.9%	50.0%	50.0%	0.0%	22.6%	25.0%	75.0%	11.1%	19.5%
取組によるメリットや効果を把握できない	4.5%	21.4%	50.0%	0.0%	0.0%	15.5%	0.0%	25.0%	16.7%	9.8%
課題はない	9.1%	7.1%	0.0%	0.0%	25.0%	7.1%	0.0%	0.0%	15.3%	9.8%
わからない・答えたくない	4.5%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	10.7%	25.0%	0.0%	6.9%	7.3%
取組の実施に関する情報が得ることがむずかしい	4.5%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	6.0%	0.0%	25.0%	6.9%	9.8%
実施していない・実施するつもりはない	4.5%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	6.0%	0.0%	0.0%	8.3%	4.9%
社内の意識が低い	9.1%	7.1%	0.0%	50.0%	25.0%	3.6%	0.0%	25.0%	5.6%	0.0%
一緒に取り組める企業、機関が見当たらない	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	5.6%	4.9%

【従業員数別】

従業員数 1～5 人の事業者では、「環境保全の取組に関する知識やノウハウ不足」と「コストの削減」が 19.2%と多く回答されています。

従業員数 6～10 人の事業者では、「労務上の負担の増大」が 29.5%、「環境保全の取組に関する知識やノウハウ不足」が 25.0%と多く回答されています。

従業員数 11～50 人の事業者では、「労務上の負担の増大」が 48.4%、「人材や人手を確保できないこと」が 39.1%と多く回答されています。

従業員数 51～100 人の事業者では、「コストの削減」が 100%となっています。

従業員数 101 人以上の事業者では「労務上の負担の増大」と「環境保全の取組に関する知識やノウハウ不足」、「人材や人手を確保できないこと」が同率で 41.7%と最も多く回答されています。

	1～5人 (n:130)	6～10人 (n:44)	11～50人 (n:64)	51～100人 (n:2)	101人以上 (n:12)
労務上の負担の増大	 13.8%	 29.5%	 48.4%	 50.0%	 41.7%
環境保全の取組に関する知識やノウハウ不足	 19.2%	 25.0%	 29.7%	 50.0%	 41.7%
コストの削減	 19.2%	 13.6%	 29.7%	 100.0%	 25.0%
人材や人手を確保できないこと	 11.5%	 18.2%	 39.1%	 50.0%	 41.7%
取組によるメリットや効果を把握できない	 11.5%	 13.6%	 17.2%	 50.0%	 25.0%
課題はない	 14.6%	 11.4%	 1.6%	 0.0%	 0.0%
わからない・答えたくない	 10.8%	 9.1%	 4.7%	 0.0%	 0.0%
取組の実施に関する情報が得ることがむずかしい	 3.8%	 13.6%	 7.8%	 0.0%	 8.3%
実施していない・実施するつもりはない	 8.5%	 4.5%	 4.7%	 0.0%	 0.0%
社内の意識が低い	 0.8%	 4.5%	 12.5%	 0.0%	 16.7%
一緒に取り組める企業、機関が見あたらない	 6.9%	 2.3%	 0.0%	 0.0%	 0.0%

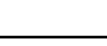
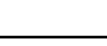
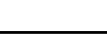
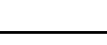
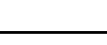
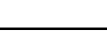
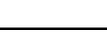
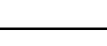
問 12-a 問 12 で「一緒に取り組める企業、機関が見あたらない」に○を付けた方にお聞きます。他企業や団体との連携に向けてどのような、行政の支援があるとよいと思いますか？（複数回答）

【業種別】

建設業では「環境に関する取組の優良事例の表彰・紹介」、「取り組みたい企業等とマッチングする仕組み」、「他企業等との交流・情報交換のイベント実施」という回答がありました。

卸・小売業、飲食店では「取り組みたい企業等とマッチングする仕組み」と「取組を行っている企業等の登録・認定制度」という回答がありました。

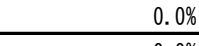
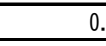
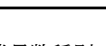
その他サービス業では「環境に関する取組の優良事例の表彰・紹介」、「他企業等との交流・情報交換のイベント実施」、「産学官の連携拠点の設置」といった回答がありました。

	建設業 (n:2)	卸・小売業、飲食店 (n:2)	その他サービス業 (n:4)	その他 (n:2)
環境に関する取組の優良事例の表彰・紹介	 50.0%	 0.0%	 50.0%	 0.0%
とくにない・わからない	 50.0%	 0.0%	 25.0%	 50.0%
取り組みたい企業等とマッチングする仕組み	 50.0%	 50.0%	 0.0%	 0.0%
他企業等との交流・情報交換のイベント実施	 50.0%	 0.0%	 25.0%	 0.0%
取組を行っている企業等の登録・認定制度	 0.0%	 50.0%	 0.0%	 0.0%
複数事業者が参加できる環境講座の開催	 0.0%	 0.0%	 0.0%	 50.0%
産学官の連携拠点の設置	 0.0%	 0.0%	 25.0%	 0.0%
その他	 0.0%	 0.0%	 25.0%	 0.0%

※問 12 で一緒に取り組める企業、機関が見あたらないに○をつけた事業者がある業種のみを集計しています。

【従業員数別】

従業員数 1～5 人の事業者では、「環境に関する取組の優良事例の表彰・紹介」が 33.3%、「取り組みたい企業等とマッチングする仕組み」と「他企業等との交流・情報交換のイベント実施」が 22.2%となっています。

	1～5人 (n:9)	6～10人 (n:1)
環境に関する取組の優良事例の表彰・紹介	 33.3%	 0.0%
とくにない・わからない	 22.2%	 100.0%
取り組みたい企業等とマッチングする仕組み	 22.2%	 0.0%
他企業等との交流・情報交換のイベント実施	 22.2%	 0.0%
取組を行っている企業等の登録・認定制度	 11.1%	 0.0%
複数事業者が参加できる環境講座の開催	 11.1%	 0.0%
産学官の連携拠点の設置	 11.1%	 0.0%
その他	 11.1%	 0.0%

※問 12 で一緒に取り組める企業、機関が見あたらないに○をつけた事業者がある従業員数種別のみを集計しています。

問 12-b 問 12 で「一緒に取り組める企業、機関が見あたらない」に○を付けた方にお聞きます。どのような業種の企業や団体と一緒に取り組みたいですか？
(複数回答)

【業種別】

建設業では同業種との連携・協働を希望する回答がありました。

卸・小売業、飲食店では「大学・研究機関」、「廃棄物処理業」、「製造業」及び同業種との連携・協働を希望する回答がありました。

その他サービス業では「大学・研究機関」、「市民団体」、「廃棄物処理業」、「製造業」、「情報通信業」及び「その他サービス業」との連携・協働を希望する回答がありました。

	建設業 (n:2)	卸・小売業、飲食店 (n:2)	その他サービス業 (n:4)	その他 (n:2)
大学・研究機関	0.0%	100.0%	50.0%	0.0%
市民団体	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%
廃棄物処理業	0.0%	50.0%	25.0%	50.0%
建設業	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
製造業	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%
情報通信業	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
卸・小売業、飲食店	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
その他サービス業	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
電気・ガス・水道業	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
運輸業・郵便業	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
金融・保険業	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない・答えたくない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【従業員数別】

従業員数 1～5 人の事業者では、「大学・研究機関」と「市民団体」が 44.4%と同率で最も多く回答されています。

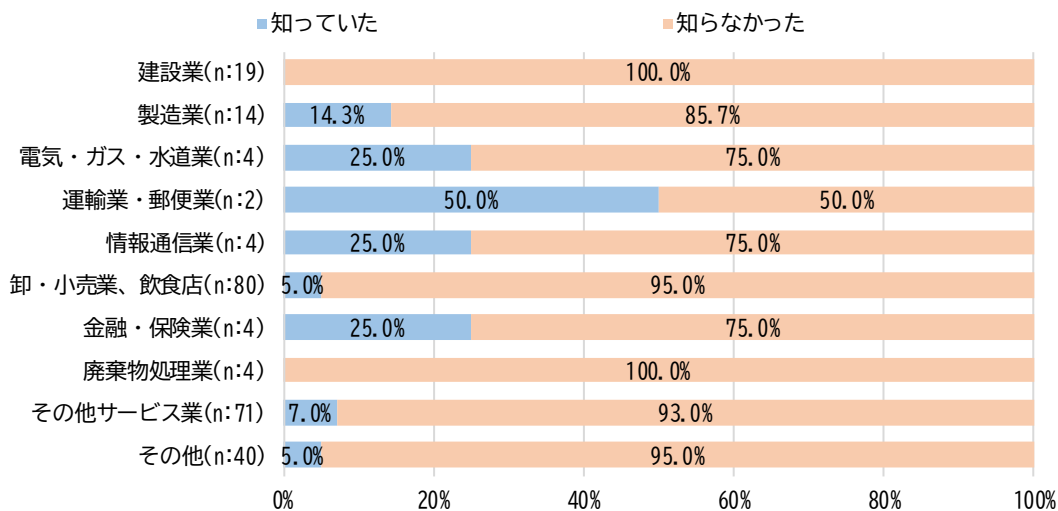
	1～5人 (n:9)	6～10人 (n:1)
大学・研究機関	44.4%	0.0%
市民団体	44.4%	0.0%
廃棄物処理業	22.2%	100.0%
建設業	22.2%	0.0%
製造業	22.2%	0.0%
情報通信業	11.1%	0.0%
卸・小売業、飲食店	11.1%	0.0%
その他サービス業	11.1%	0.0%
電気・ガス・水道業	0.0%	0.0%
運輸業・郵便業	0.0%	0.0%
金融・保険業	0.0%	0.0%
わからない・答えたくない	0.0%	0.0%
その他	0.0%	0.0%

問 13 本市では、事業所向けに環境の取組を支援する制度を設けています。以下の取組についてご存じでしたか（単数回答）

【業種別】

①エコアクション 21 普及アドバイザー派遣

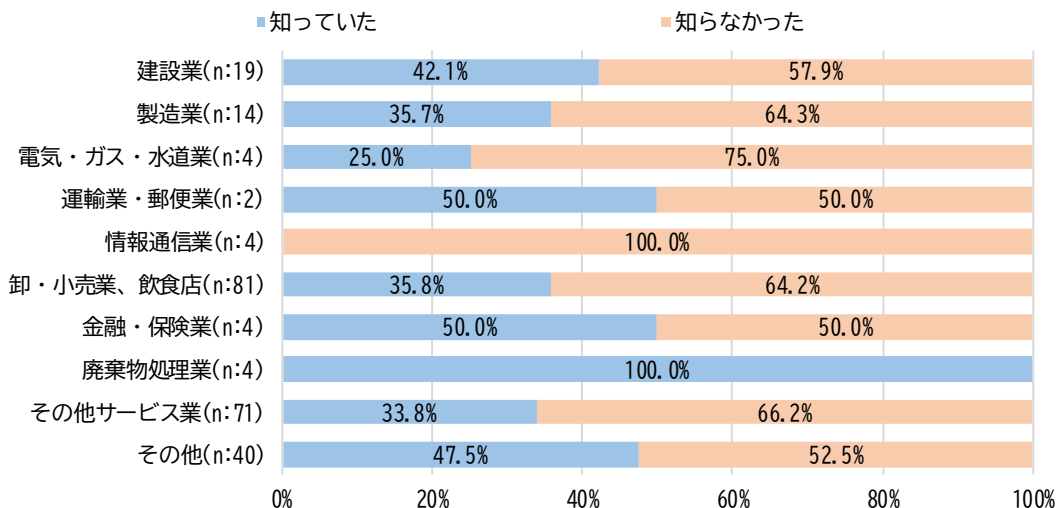
建設業や廃棄物処理業では「知らなかった」が 100%となっているなど、取組はあまり知られていません。



②事業系生ごみ処理機の購入補助

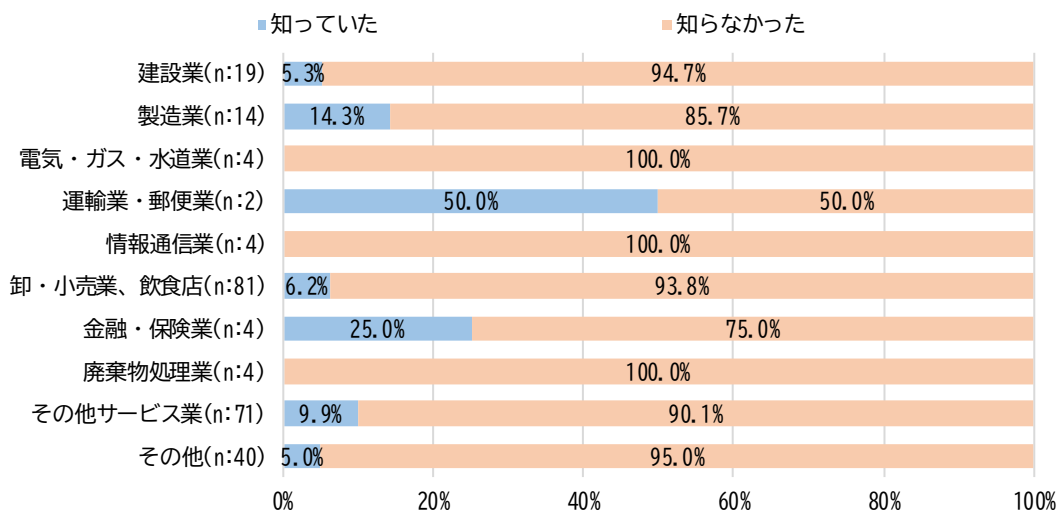
廃棄物処理業では 100%が「知っていた」と回答しています。

製造業では 35.7%が、卸・小売業、飲食店では 35.8%が、その他サービス業では 33.8%が「知っていた」と回答しています。



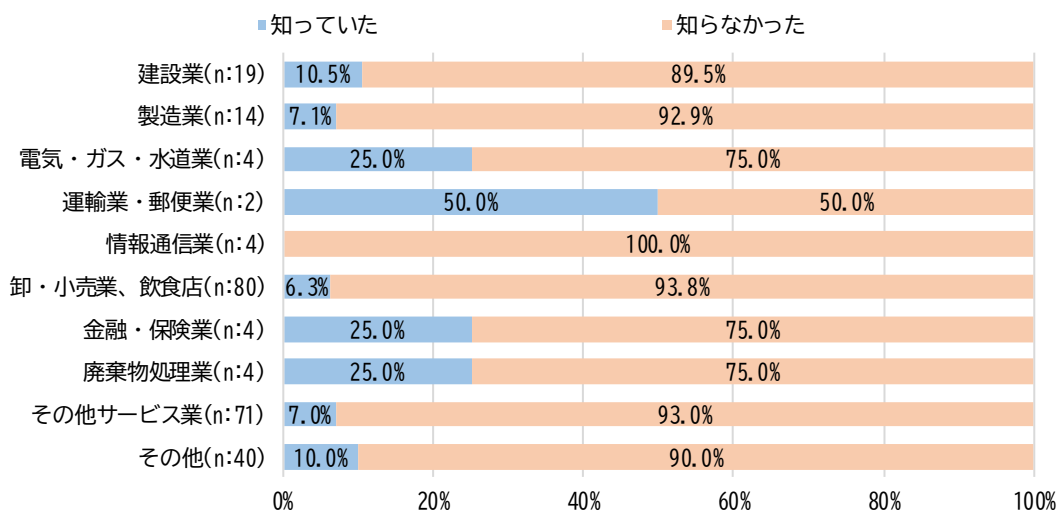
③防音・防臭・防煙設備の補助

製造業では14.3%が、卸・小売業、飲食店では6.2%が、その他サービス業では9.9%が「知っていた」と回答しています。



④雨水活用施設の補助

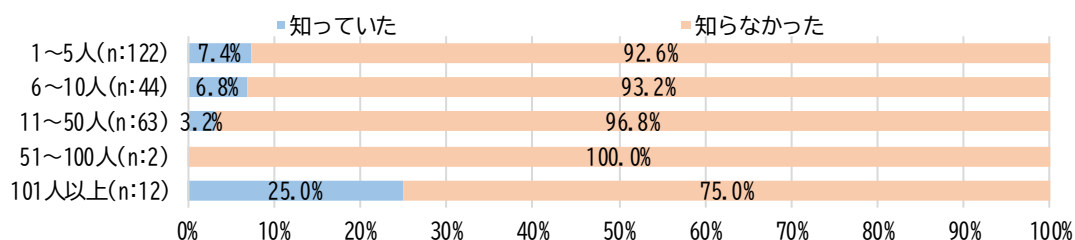
製造業では7.1%が、卸・小売業、飲食店では6.3%が、その他サービス業では7.0%が「知っていた」と回答しています。



【従業員数別】

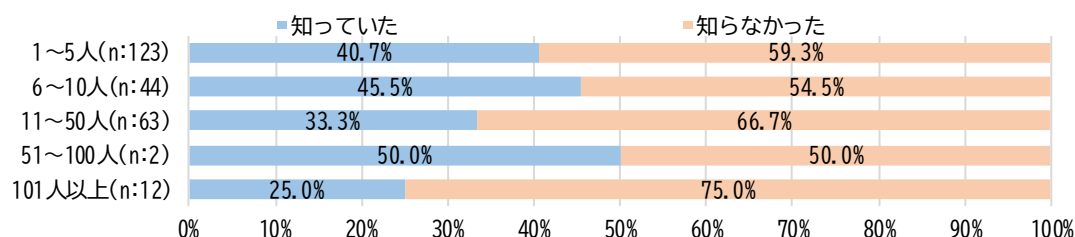
①エコアクション 21 普及アドバイザー派遣

従業員数 101 人以上の事業者では 25.0%が「知っていた」と回答し、回答率が他の従業員数の事業者に比べて高くなっています。



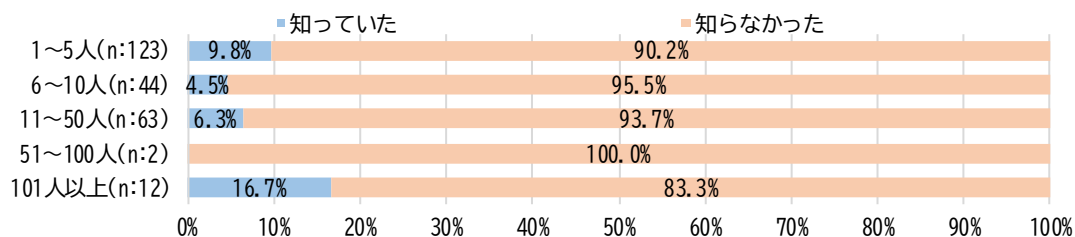
②事業系生ごみ処理機の購入補助

従業員数 1～5 人、6～11 人の事業者では、40%以上が「知っていた」と回答している一方で、101 人以上の事業者では「知っていた」が 25.0%となっています。



③防音・防臭・防煙設備の補助

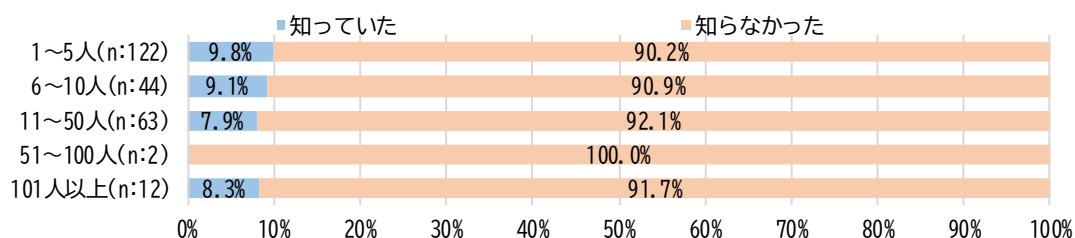
従業員数 101 人以上の事業者では 16.7%が「知っていた」と回答し、回答率が他の従業員数の事業者に比べて高くなっています。



④雨水活用施設の補助

従業員数 51～100 人の事業者では「知らなかった」が 100%となっています。

そのほかの従業員数の事業者では「知っていた」が 10%弱となっています。



問 14 電気・ガス・水道の省資源・省エネルギーについて具体的にどのような取組をしていますか（複数回答）

【業種別】

業種によらず「こまめに電気のスイッチを切る」、「過度な冷暖房の使用を控える」、「節水を心がける」、「LED 照明を導入する」の回答率が高くなっています。

	建設業 (n:22)	製造業 (n:14)	電気・ガス・水道業 (n:4)	運輸業・郵便業 (n:2)	情報通信業 (n:4)	卸・小売業・飲食店 (n:84)	金融・保険業 (n:4)	廃棄物処理業 (n:4)	その他サービス業 (n:72)	その他 (n:41)
こまめに電気のスイッチを切る	54.5%	64.3%	75.0%	100.0%	100.0%	67.9%	75.0%	100.0%	72.2%	80.5%
LED照明を導入する	72.7%	64.3%	25.0%	100.0%	50.0%	69.0%	100.0%	75.0%	54.2%	46.3%
節水を心がける	36.4%	42.9%	75.0%	100.0%	25.0%	58.3%	25.0%	50.0%	54.2%	63.4%
過度な冷暖房の使用を控える	50.0%	28.6%	75.0%	50.0%	75.0%	48.8%	75.0%	50.0%	56.9%	61.0%
省エネ性能の高い機器への更新	22.7%	35.7%	0.0%	50.0%	25.0%	21.4%	25.0%	25.0%	20.8%	17.1%
ガスの使用量を節約する	22.7%	21.4%	25.0%	50.0%	0.0%	28.6%	0.0%	25.0%	13.9%	17.1%
具体的な取組はしていない	4.5%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	6.0%	0.0%	0.0%	6.9%	2.4%
高効率なエネルギー設備の導入	0.0%	21.4%	0.0%	50.0%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	2.8%	2.4%
デマンドコントロールの導入	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	25.0%	1.2%	0.0%	0.0%	1.4%	4.9%
わからない・答えたくない	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%

【従業員数別】

従業員数によらず「こまめに電気のスイッチを切る」、「過度な冷暖房の使用を控える」、「節水を心がける」、「LED 照明を導入する」の回答率が高くなっています。

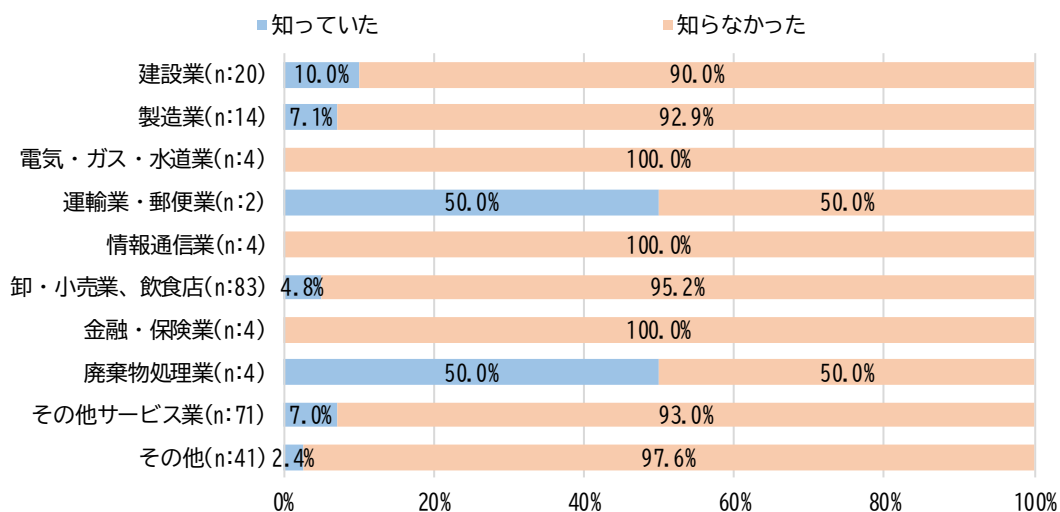
従業員数 51～100 人の事業者では、「デマンドコントロールの導入」、従業員数 101 人以上の事業者では「高効率なエネルギー設備の導入」や「デマンドコントロールの導入」、「高効率なエネルギー設備の導入」が他の従業員数の事業者に比べて回答率が高くなっています。

	1～5人 (n:130)	6～10人 (n:44)	11～50人 (n:64)	51～100人 (n:2)	101人以上 (n:12)
こまめに電気のスイッチを切る	71.5%	68.2%	75.0%	50.0%	66.7%
LED照明を導入する	63.1%	54.5%	57.8%	100.0%	75.0%
節水を心がける	56.9%	56.8%	53.1%	50.0%	25.0%
過度な冷暖房の使用を控える	59.2%	43.2%	51.6%	100.0%	50.0%
省エネ性能の高い機器への更新	20.8%	25.0%	15.6%	0.0%	50.0%
ガスの使用量を節約する	26.9%	13.6%	14.1%	50.0%	16.7%
具体的な取組はしていない	6.2%	2.3%	6.3%	0.0%	0.0%
高効率なエネルギー設備の導入	2.3%	0.0%	4.7%	0.0%	33.3%
デマンドコントロールの導入	0.0%	0.0%	3.1%	50.0%	33.3%
わからない・答えたくない	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%

問 15 鎌倉市では、今年度から中小企業向けに太陽光発電設備(1kW あたり 5 万円)と蓄電池導入(太陽光発電設備と同時に蓄電池を設置する場合、蓄電池の価格の 1/3)に関する重点対策事業費補助金を創設していることを知っていましたか(単数回答)

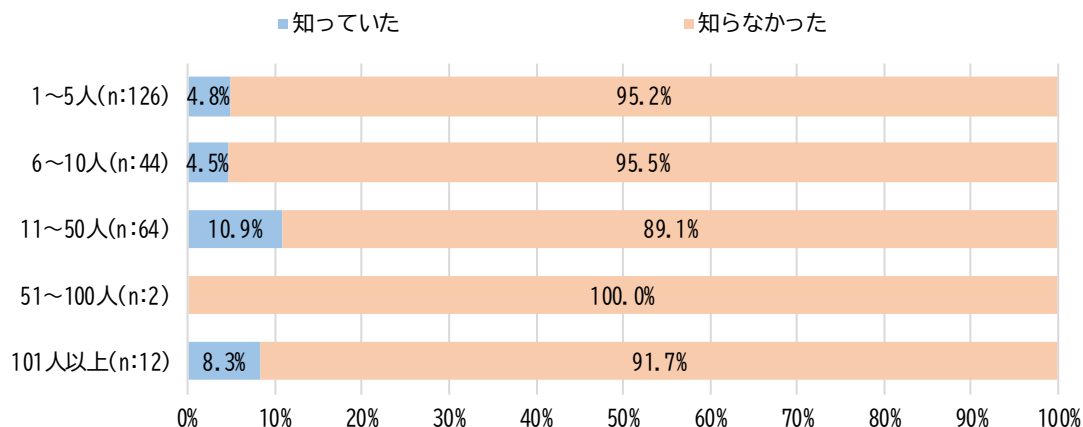
【業種別】

製造業と卸・小売業、飲食店、その他サービス業では「知っていた」が10%未満となっています。



【従業員数別】

従業員数 11～50 人と 101 人以上の事業者では「知っていた」が10%前後と他の従業員数の事業者に比べて高くなっています。

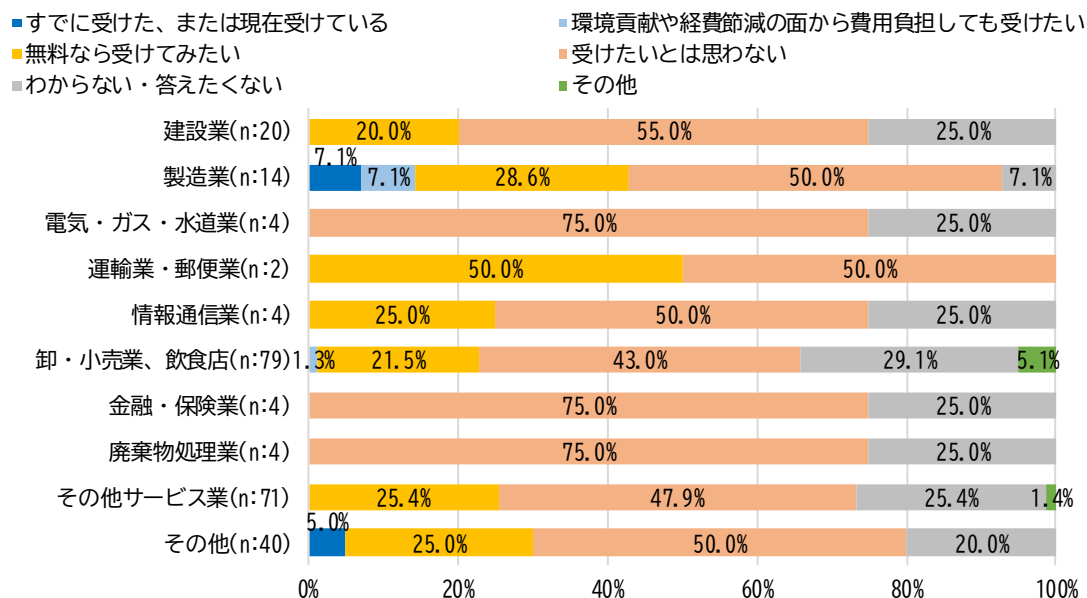


問 16 事業所の省資源や省エネルギーを進めるためのサポートとして、専門家による省エネルギー診断制度がありますが受けてみたいと思いますか（単数回答）

【業種別】

業種によらず「受けないとは思わない」が最も大きな割合を占めています。

製造業では「すでに受けた、または現在受けている」が7.1%、「環境貢献や経費節減の面から費用負担しても受けない」も7.1%の事業者から回答されています。

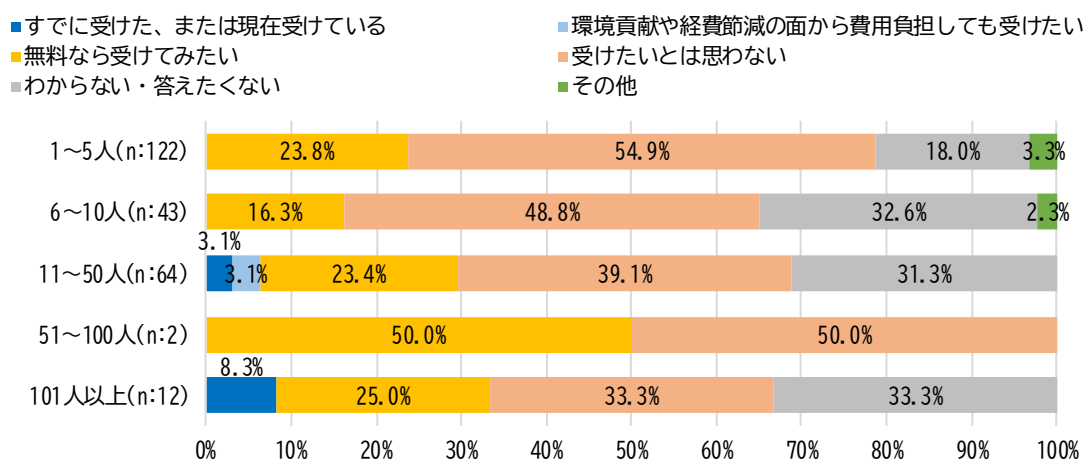


【従業員数別】

従業員数によらず「受けないとは思わない」が最も大きな割合を占めています。

従業員数 101 人以上の事業者では「すでに受けた、または現在受けている」が8.3%となっています。

「無料なら受けてみたい」も従業員数によらず回答されています。

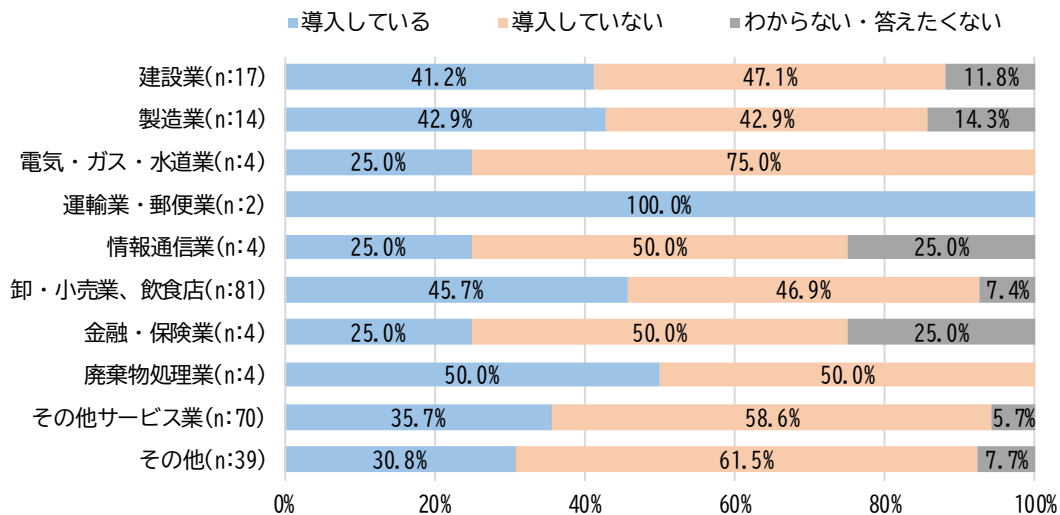


問 17 導入している再生可能エネルギー等設備・機器や省エネルギー機器等がありますか
(単数回答)

【業種別】

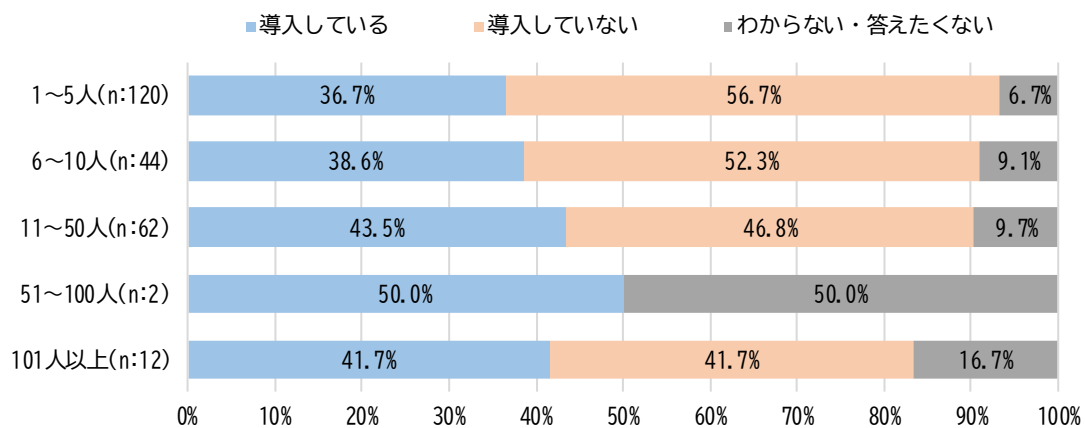
建設業や製造業では「導入している」が40%強を占めています。

卸・小売業、飲食店では「導入している」が45.7%となっています。



【従業員数別】

従業員数によらず30%以上の事業者が「導入している」と回答しています。



問 17-a 導入していると回答した事業者の方へ、どのような設備・機器を導入していますか（複数回答）

【業種別】

業種によらず、再生可能エネルギー等設備・機器や省エネルギー機器等を導入している事業者では、9割以上の事業者で LED 照明が導入済みとなっています。

太陽光発電設備は建設業、製造業、電気・ガス・水道業、卸・小売業、飲食店、その他サービス業で導入されています。

	建設業 (n:7)	製造業 (n:6)	電気・ガス・水道業 (n:1)	運輸業・郵便業 (n:2)	情報通信業 (n:1)	卸・小売業、飲食店 (n:37)	金融・保険業 (n:1)	廃棄物処理業 (n:2)	その他サービス業 (n:25)	その他 (n:12)
LED照明	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	96.0%	91.7%
高効率給湯・冷暖房	28.6%	16.7%	100.0%	50.0%	0.0%	10.8%	0.0%	50.0%	8.0%	16.7%
太陽光発電設備	14.3%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	8.1%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%
電気自動車	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	0.0%	50.0%	4.0%	16.7%
その他	14.3%	16.7%	0.0%	0.0%	100.0%	2.7%	0.0%	50.0%	4.0%	8.3%
燃料電池	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%
太陽熱利用システム	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%
ガスコジェネレーションシステム	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない・答えたくない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【従業員数別】

従業員数によらず、再生可能エネルギー等設備・機器や省エネルギー機器等を導入している事業者では、ほとんどの事業者で LED 照明が導入済みとなっています。

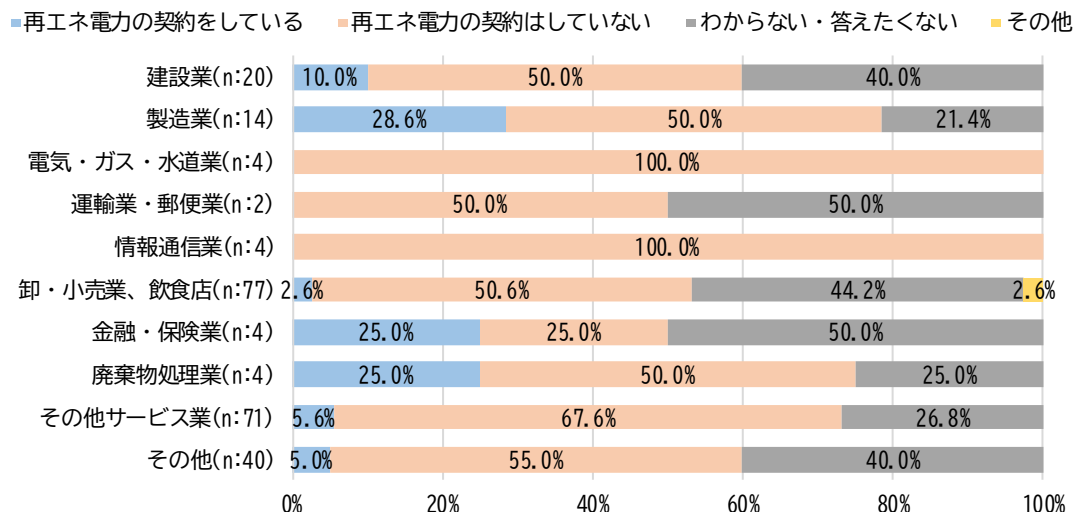
太陽光発電設備は従業員数 101 人以上の事業者で 40%が導入しており、従業員数が 1～5 人の小規模な事業者でも導入している事業者が 6.8%あります。

	1～5人 (n:44)	6～10人 (n:17)	11～50人 (n:27)	51～100人 (n:1)	101人以上 (n:5)
LED照明	100.0%	94.1%	96.3%	100.0%	100.0%
高効率給湯・冷暖房	13.6%	29.4%	3.7%	0.0%	40.0%
太陽光発電設備	6.8%	5.9%	11.1%	0.0%	40.0%
電気自動車	2.3%	11.8%	14.8%	0.0%	0.0%
その他	2.3%	17.6%	3.7%	100.0%	20.0%
燃料電池	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
太陽熱利用システム	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ガスコジェネレーションシステム	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない・答えたくない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問 18 貴事業所では、再エネ由来の電力プランの契約をしていますか（単数回答）

【業種別】

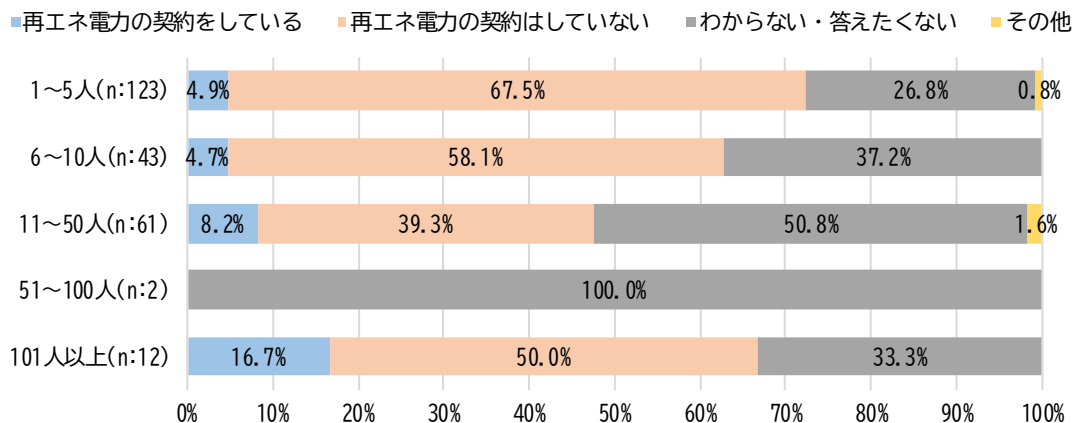
建設業、製造業、卸・小売業、飲食店、金融・保険業、廃棄物処理業、その他サービス業、その他では、再エネ由来の電力プランの契約をしている事業者があります。



【従業員数別】

従業員数 51～100 人の事業者を除いて、再エネ由来の電力プランの契約をしています。

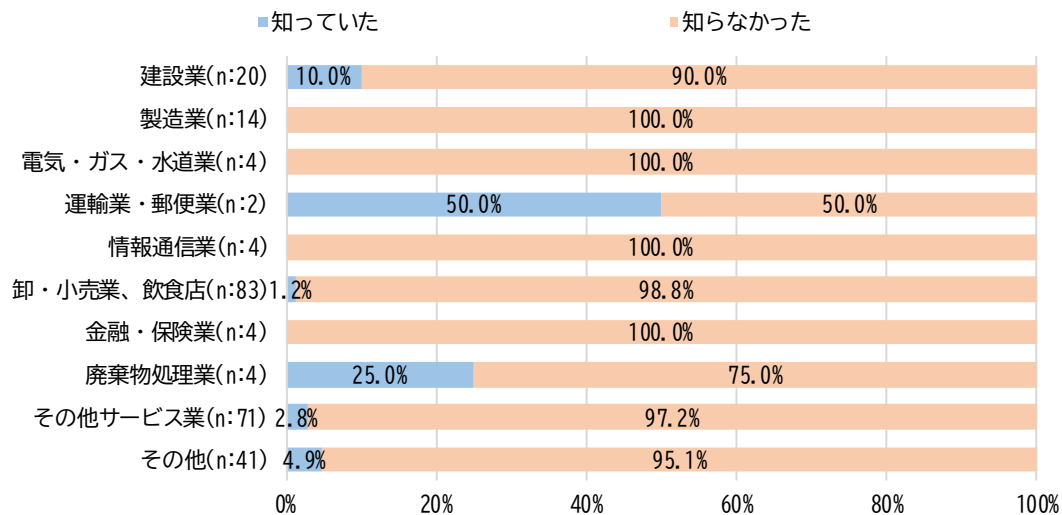
従業員数 101 人以上の事業者を再エネ由来の電力プランの契約をしている割合が 16.7%と他の従業員数の事業者に比べて高くなっています。



問 19 本市では、多くの公共施設で使用する電気を再生可能エネルギー100%の電気に切替えました。このことをご存じでしたか（単数回答）

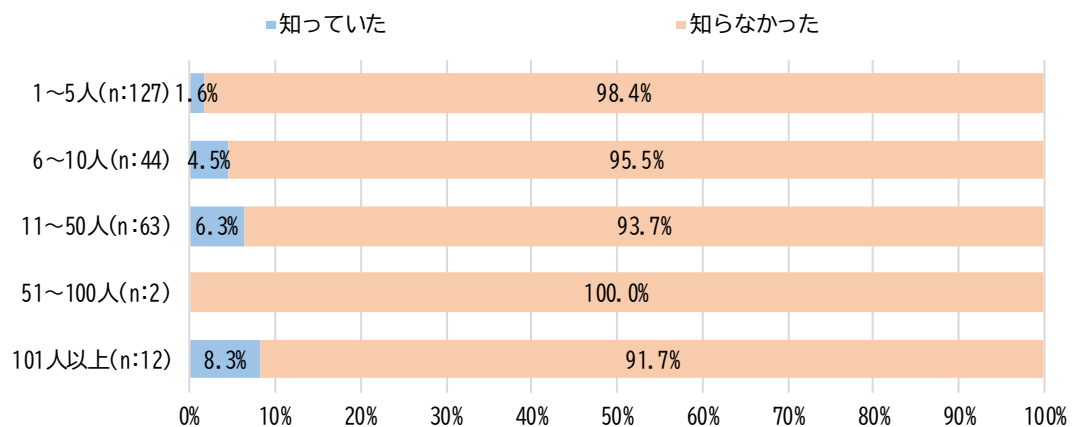
【業種別】

建設業、運輸業、卸・小売業、飲食店、廃棄物処理業、その他サービス業、その他で、「知っている」と回答した事業者がありました。



【従業員数別】

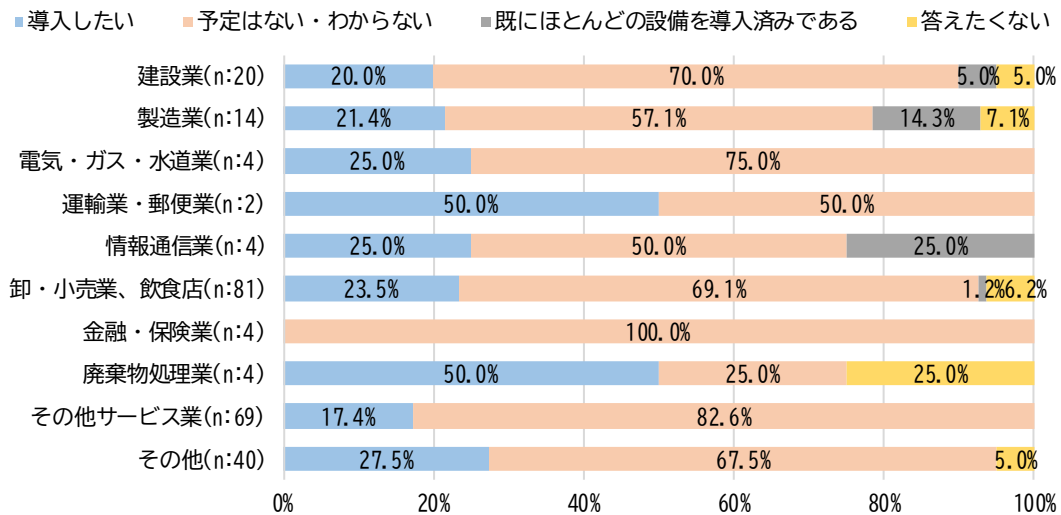
従業員数 51～100 人の事業者を除いて、「知っている」と回答した事業者がありました。



問 20 今後導入したい再生可能エネルギー等設備・機器や省エネルギー機器等がありますか（単数回答）

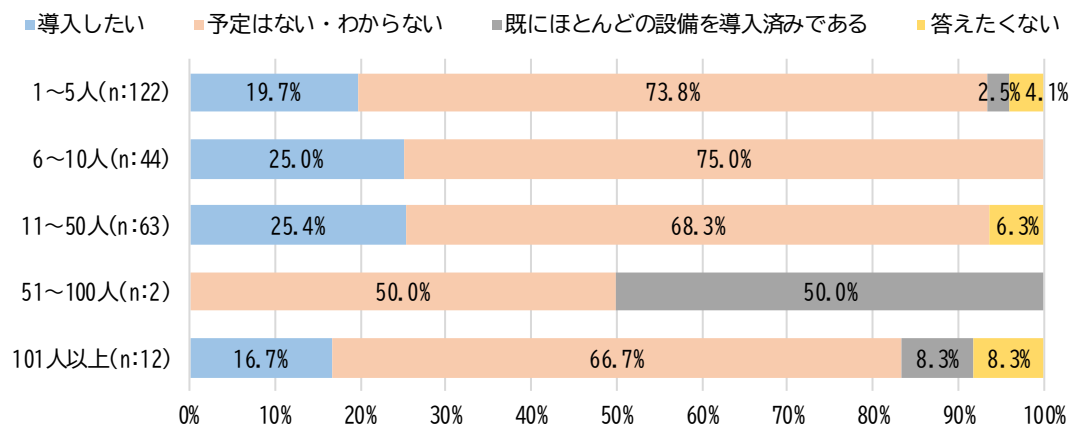
【業種別】

金融・保険業を除いて、「導入したい」という事業者がありました。



【従業員数別】

従業員数 51～100 人の事業者を除いて、「導入したい」という事業者がありました。



問 20-a 導入したいと回答した事業者の方へ、どのような設備・機器を導入したいですか
(複数回答)

【業種別】

製造業や電気・ガス・水道業などの業種で「LED 照明」を導入したい事業者がいます。

運輸業・郵便業を除いて「高効率給湯・冷暖房」を導入したいという事業者があります。

電気・ガス・水道業を除いて「太陽光発電」を導入したいという事業者があります。

	建設業 (n:4)	製造業 (n:3)	電気・ガス・水道業 (n:1)	運輸業・郵便業 (n:1)	情報通信業 (n:1)	卸・小売業、飲食店 (n:19)	廃棄物処理業 (n:2)	その他サービス業 (n:12)	その他 (n:11)
LED照明	0.0%	33.3%	100.0%	0.0%	0.0%	68.4%	50.0%	58.3%	63.6%
高効率給湯・冷暖房	25.0%	33.3%	100.0%	0.0%	100.0%	26.3%	100.0%	41.7%	45.5%
太陽光発電設備	75.0%	33.3%	0.0%	100.0%	100.0%	26.3%	100.0%	33.3%	18.2%
電気自動車	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	10.5%	50.0%	16.7%	36.4%
太陽熱利用システム	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	10.5%	50.0%	33.3%	18.2%
燃料電池	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	15.8%	0.0%	0.0%	18.2%
ガスコジェネレーションシステム	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%
答えたくない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※問 20 で導入したいに○をつけた事業者がある業種のみを集計しています。

【従業員数別】

従業員数 1～5 人、6～10 人、11～50 人の事業者で、「LED 照明」を導入したいという事業者があります。

従業員数によらず、「高効率給湯・冷暖房」、「太陽光発電設備」を導入したいという事業者が 30%以上あります。

	1～5人 (n:24)	6～10人 (n:11)	11～50人 (n:16)	101人以上 (n:2)
LED照明	66.7%	54.5%	43.8%	0.0%
高効率給湯・冷暖房	29.2%	45.5%	43.8%	50.0%
太陽光発電設備	33.3%	36.4%	31.3%	100.0%
電気自動車	16.7%	18.2%	31.3%	50.0%
太陽熱利用システム	20.8%	27.3%	12.5%	0.0%
燃料電池	16.7%	0.0%	12.5%	50.0%
ガスコジェネレーションシステム	4.2%	0.0%	6.3%	0.0%
答えたくない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※問 20 で導入したいに○をつけた事業者がある従業員数種別のみを集計しています。

問 20-b 予定はない・わからないと回答した事業者の方へ、導入予定のない理由を教えてください（複数回答）

【業種別】

建設業では「価格が高い」が最も多く、製造業では「価格が高い」と「採算がとれない」が最も多く回答されています。

卸・小売業、飲食店とその他サービス業では、「導入できる環境にない」が最も多く回答されています。

	建設業 (n:14)	製造業 (n:8)	電気・ガス・水道業 (n:3)	運輸業・郵便業 (n:1)	情報通信業 (n:2)	卸・小売業、飲食店 (n:56)	金融・保険業 (n:4)	廃棄物処理業 (n:1)	その他サービス業 (n:57)	その他 (n:27)
導入できる環境にない	21.4%	25.0%	33.3%	0.0%	0.0%	44.6%	0.0%	0.0%	36.8%	40.7%
価格が高い	35.7%	50.0%	33.3%	100.0%	50.0%	26.8%	0.0%	100.0%	35.1%	33.3%
採算がとれない	21.4%	50.0%	33.3%	100.0%	0.0%	17.9%	25.0%	100.0%	31.6%	18.5%
情報が少なく不安である	21.4%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	16.1%	0.0%	0.0%	26.3%	22.2%
とくに理由はない・答えたくない	21.4%	25.0%	33.3%	0.0%	50.0%	10.7%	75.0%	100.0%	14.0%	18.5%
補助や優遇措置がない、少ない	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	17.5%	18.5%
発電効率や熱効率などの性能が低い	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.9%	0.0%	100.0%	5.3%	3.7%
その他	21.4%	12.5%	33.3%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	3.5%	11.1%

【従業員数別】

従業員数 1～5 人、6～10 人の事業者では、「導入できる環境にない」が最も多く回答されており、次いで「価格が高い」が多く回答されています。

	1～5人 (n:90)	6～10人 (n:33)	11～50人 (n:43)	51～100人 (n:1)	101人以上 (n:8)
導入できる環境にない	41.1%	45.5%	20.9%	0.0%	25.0%
価格が高い	31.1%	27.3%	41.9%	0.0%	25.0%
採算がとれない	26.7%	21.2%	23.3%	0.0%	25.0%
情報が少なく不安である	14.4%	21.2%	25.6%	0.0%	25.0%
とくに理由はない・答えたくない	17.8%	12.1%	16.3%	0.0%	25.0%
補助や優遇措置がない、少ない	16.7%	9.1%	11.6%	0.0%	12.5%
発電効率や熱効率などの性能が低い	7.8%	3.0%	7.0%	0.0%	0.0%
その他	6.7%	9.1%	0.0%	100.0%	12.5%

問 20-c 予定はない・わからないと回答した事業者の方へ、どのようなことがあると導入できると思いますか（複数回答）

【業種別】

業種によらず「補助制度の拡充」や「導入メリットをわかりやすく伝えるパンフレット」を期待する意見が多いです。

	建設業 (n:14)	製造業 (n:8)	電気・ガス・水道業 (n:3)	運輸業・郵便業 (n:1)	情報通信業 (n:2)	卸・小売業、飲食店 (n:56)	金融・保険業 (n:4)	廃棄物処理業 (n:1)	その他サービス業 (n:57)	その他 (n:27)
補助制度の拡充	50.0%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	33.9%	25.0%	0.0%	49.1%	37.0%
導入メリットをわかりやすく伝えるパンフレット	21.4%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	26.8%	0.0%	0.0%	43.9%	37.0%
わからない・答えたくない	14.3%	37.5%	66.7%	100.0%	100.0%	30.4%	50.0%	100.0%	17.5%	11.1%
設備導入による税制優遇	14.3%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	16.1%	0.0%	0.0%	19.3%	11.1%
再エネに関わる電力会社や事業者の仲介・調整	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	12.3%	3.7%
支援制度や事例を説明するセミナー	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	7.0%	14.8%
省エネや脱炭素化に関する専門家の派遣	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%
脱炭素化の取組を表彰・認定する制度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.4%
脱炭素化に取り組む事業所間の連携支援	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【従業員数別】

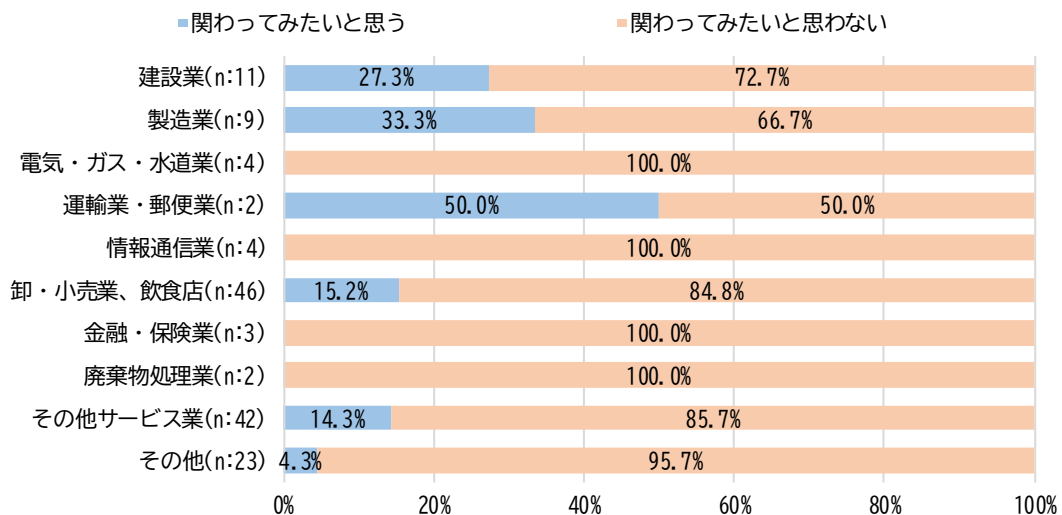
従業員数 51～100 人の事業者を除いて、「補助制度の拡充」、「導入メリットをわかりやすく伝えるパンフレット」が多く回答されています。

	1～5人 (n:90)	6～10人 (n:33)	11～50人 (n:43)	51～100人 (n:1)	101人以上 (n:8)
補助制度の拡充	 33.3%	 36.4%	 51.2%	0.0%	 75.0%
導入メリットをわかりやすく伝えるパンフレット	 27.8%	 30.3%	 39.5%	0.0%	 50.0%
わからない・答えたくない	 28.9%	 24.2%	 18.6%	100.0%	 12.5%
設備導入による税制優遇	 12.2%	 9.1%	 25.6%	0.0%	 37.5%
再エネに関わる電力会社や事業者の仲介・調整	 4.4%	 12.1%	 4.7%	0.0%	 12.5%
支援制度や事例を説明するセミナー	 5.6%	 6.1%	 11.6%	0.0%	0.0%
省エネや脱炭素化に関する専門家の派遣	 3.3%	0.0%	 2.3%	0.0%	0.0%
脱炭素化の取組を表彰・認定する制度	0.0%	 3.0%	 2.3%	0.0%	0.0%
脱炭素化に取り組む事業所間の連携支援	 1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問 22 「Liqlid」に参加して「鎌倉市環境基本計画」の策定に関わってみたいと思いますか（単数回答）

【業種別】

建設業や製造業、卸・小売業、飲食店とその他サービス業、その他で策定に「関わってみたい」という事業者があります。



【従業員数別】

従業員数 51～100 人の事業者を除いて、策定に「関わってみたい」という事業者があります。

